



平成29年度 小山町町民意識調査 分析結果まとめ

- 調査方法 : 往復郵便・留置記入方式
(質問と回答が一体となったアンケート用紙に回答を直接記入し、その用紙を返信用封筒でそのまま返信していただく調査方法)
- 調査対象 : 町内在住20歳以上の男女
(町内5地域よりバランスよく無作為抽出)
- 配布票数 : 1,500票
- 調査期間 : 平成29年6月1日 ~ 平成29年6月15日
- 回収結果 : 回収票数577通 ※回収率 38.5%

平成29年8月

目次

ページ

・基本事項集計結果（問1～問5）	1
・後期基本計画の目標（指標）に関する結果一覧表	2
・問6「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」	3
・問7「あなたは町の施策全般について、どの程度満足していますか」	4
・問8－（1）「自然環境が保全されている」	5
・問8－（2）「清らかで豊かな水資源が守られている」	6
・問8－（3）「ごみの減量化や資源化が進んでいる」	7
・問8－（4）「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした 美しいまちづくりができています」	8
・問8－（5）「安全な水道水が安定供給されている」	9
・問8－（6）「汚水（下水）が適切に処理されている」	10
・問8－（7）「計画的な土地利用が行われている」	11
・問8－（8）「道路網が便利で快適である」	12
・問8－（9）「小山町は快適な公共交通の整備に取り組んでいる」	13
・問8－（10）「誰もが住みやすい住環境が整っている」	14
・問8－（11）「公園・緑地が確保されている」	15
・問8－（12）「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」	16
・問8－（13）「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」	17
・問8－（14）「必要な時に適切な医療が受けられる」	18
・問8－（15）「地域（近所）において、自身や家族の悩み事などを 真剣に相談できる人間関係が構築されている」	19
・問8－（16）「高齢者が自立していきいきと暮らしている」	20
・問8－（17）「介護が必要な状態になった場合、 適切な公的サービスを受けることができる」	21
・問8－（18）「障がいのある人が社会参加し、自立している」	22
・問8－（19）「安心して子どもを産み育てる環境が整っている」	23
・問8－（20）「地域に安心できる防災の仕組みがある」	24

・問 8－(2 1)「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」	2 5
・問 8－(2 2)「消防・救急体制が整っている」	2 6
・問 8－(2 3)「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」	2 7
・問 8－(2 4)「生涯学習活動の機会や場が充実している」	2 8
・問 8－(2 5)「図書館が便利で使いやすい」	2 9
・問 8－(2 6)「伝統文化や郷土を大切にしている」	3 0
・問 8－(2 7)「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」	3 1
・問 8－(2 8)「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」	3 2
・問 8－(2 9)「生きる力を育む学校教育が行われている」	3 3
・問 8－(3 0)「子どもの教育について、 学校・家庭・地域の連携が取れている」	3 4
・問 8－(3 1)「地域間交流や国際交流が活発に行われている」	3 5
・問 8－(3 2)「普段の生活の中で、男女が平等である」	3 6
・問 8－(3 3)「企業誘致を活発に進めている」	3 7
・問 8－(3 4)「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」	3 8
・問 8－(3 5)「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」	3 9
・問 8－(3 6)「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」	4 0
・問 8－(3 7)「“金太郎生誕の地おやま”の PR が行われている」	4 1
・問 8－(3 8)「富士山須走口について情報発信が行われている」	4 2
・問 8－(3 9)「賑わいのある商業地づくりを行っている」	4 3
・問 8－(4 0)「周辺市町村との連携が進んでいる」	4 4
・問 8－(4 1)「町の財政運営が健全である」	4 5
・問 8－(4 2)「町民のための行政運営が行われている」	4 6
・問 8－(4 3)「地域コミュニティが活発である」	4 7
・問 8－(4 4)「町民が参加してまちづくりを進めている」	4 8
・問 8－(4 5)「役場からの必要な情報が伝わっている」	4 9

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 基本事項集計結果 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

問1 あなたの性別は。

男性：261人 (45.2%) 女性：315人 (54.6%) 無回答：1人 (0.2%)

問2 あなたの年齢は。

20代：35人 (6.1%) 50代：100人 (17.3%) 80代：3人 (0.5%)
30代：66人 (11.4%) 60代：167人 (29.0%) 無回答：2人 (0.4%)
40代：93人 (16.1%) 70代：111人 (19.2%)

問3 あなたのお住いの地区はどこですか。

成美地区：117人 (20.3%) 北郷地区：191人 (33.1%)
明倫地区：88人 (15.2%) 須走地区：110人 (19.1%)
足柄地区：69人 (12.0%) 無回答：2人 (0.3%)

問4 あなたは現在結婚されていますか。

結婚している（事実婚を含む）：439人 (76.1%)
結婚していない：83人 (14.4%)
結婚していたが、離婚・死別した：54人 (9.3%) 無回答：1人 (0.2%)

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。（別居を含む）

子どもがいる：463人 (80.2%)
子どもはいない：113人 (19.6%) 無回答：1人 (0.2%)

※各項目の分析について

問6以降の結果については、全体・地区別・男女（年齢）別に分析をしました。なお分析は、第4次小山町総合計画後期基本計画の目標（指標）に関するもの（次頁参照）のみとしています。

今回、同時に調査を行った「世界文化遺産富士山について」「町の雇用創出に関する取組について」「男女共同参画について」「健康・子育て・保健事業について」「町の農業・林業について」「マイナンバーカードについて」の結果につきましては、それぞれの所管課において、事業立案や各種計画の策定に活用されます。

担当・問合せ：小山町 町長戦略課

76-6133

後期基本計画の目標(指標)に関する結果一覧表

後期基本計画の施策(ナンバーとタイトル)		アンケートによる目標(指標)	H27 (前々回)	H28 (前回)	H29 (今回)	前回との比較	H31 (目標)
1-1	恵まれた環境の保全	町民アンケートによる目標(指標)					
1-2	清らかな水資源の保全と活用	「自然環境が保全されている」と回答する町民の割合	72%	70%	68%	↓	80%
1-3	ごみの減量化と適切な処理	「清らかな水資源が守られている」と回答する町民の割合	83%	84%	80%	↓	90%
1-4	人と自然が調和する景観の形成と環境美化の推進	「ごみの減量化や資源化が進んでいる」と回答する町民の割合	47%	61%	60%	↓	70%
1-5	安全な水の安定供給	「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができている」と回答する町民の割合	45%	48%	51%	↑	70%
1-6	適切な汚水処理の推進	「安全な水道水が安定供給されている」と回答する町民の割合	93%	94%	93%	↓	95%
1-7	活力ある土地利用の推進	「汚水(下水)が適切に処理されている」と回答する町民の割合	62%	62%	59%	↓	70%
1-8	便利で快適な道路網の整備	「計画的な土地利用が行われている」と回答する町民の割合	25%	32%	30%	↓	50%
1-9	公共交通の活性化	「道路網が便利で快適である」と回答する町民の割合	29%	31%	33%	↑	50%
1-10	良好な住環境の実現	町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」と回答する町民の割合	18%	26%	25%	↓	50%
1-11	公園・緑地整備の推進	「誰もが住みやすい住環境が整っている」と回答する町民の割合	23%	25%	22%	↓	50%
2-1	地域で支え合う福祉の推進	「公園・緑地が確保されている」と回答する町民の割合	42%	41%	38%	↓	50%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」と回答する町民の割合	59%	51%	52%	↑	65%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進	「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」と回答する町民の割合	33%	40%	37%	↓	50%
2-2	町民主体の健康づくりと地域医療の推進(参考)	「必要な時に適切な医療が受けられる」と回答する町民の割合	46%	46%	44%	↓	60%
2-3	高齢者福祉の推進	「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」と回答する町民の割合	-	25%	27%	↑	-
2-4	介護予防事業と介護給付事業の充実	「高齢者が自立していきいきと暮らしている」と回答する町民の割合	36%	34%	37%	↑	50%
2-5	障がい者福祉の充実	「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けられる」と回答する町民の割合	37%	38%	40%	↑	50%
2-6	子ども・子育て支援の充実	「障がいのある人が社会参加し、自立している」と回答する町民の割合	22%	27%	25%	↓	50%
2-7	災害に強いまちづくり	「安心して子どもを生み育てる環境が整っている」と回答する町民の割合	42%	44%	43%	↓	50%
2-8	交通事故・犯罪のないまちづくり	「地域に安心できる防災の仕組みがある」と回答する町民の割合	51%	53%	50%	↓	60%
2-9	消防・救急対策の推進	「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」と回答する町民の割合	72%	71%	71%	→	80%
2-10	消費者教育の推進	「消防・救急体制が整っている」と回答する町民の割合	70%	77%	77%	→	80%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」と回答する町民の割合	66%	69%	69%	→	80%
3-1	心豊かな生涯学習の推進	「生涯学習活動の機会や場が充実している」と回答する町民の割合	44%	49%	48%	↓	50%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	「図書館が便利で使いやすい」と回答する町民の割合	42%	42%	43%	↑	50%
3-2	地域文化の振興と健全な青少年の育成	「伝統文化や郷土を大切にしている」と回答する町民の割合	65%	54%	54%	→	70%
3-3	スポーツ・レクリエーション活動の振興	「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」と回答する町民の割合	64%	65%	65%	→	70%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」と回答する町民の割合	37%	43%	40%	↓	50%
3-4	生きる力を育む学校教育の充実	「生きる力を育む学校教育が行われている」と回答する町民の割合	44%	44%	45%	↑	50%
3-5	地域間交流・国際交流の推進	「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」と回答する町民の割合	51%	47%	49%	↑	55%
3-6	誰もが活躍できる男女共同参画の推進	「地域間交流や国際交流が活発に行われている」と回答する町民の割合	27%	33%	37%	↑	50%
3-7	三来拠点事業の推進	「普段の生活の中で、男女が平等である」と回答する町民の割合	46%	46%	42%	↓	55%
3-8	活気ある農業の振興	「企業誘致を活発に進めている」と回答する町民の割合	30%	42%	48%	↑	50%
3-9	適切な森林整備を通じた林業の活性化	「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)	24%	35%	37%	↑	50%
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」と回答する町民の割合(H27の数値は参考値)	24%	25%	27%	↑	50%
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」と回答する町民の割合	-	20%	20%	→	-
3-10	人が訪れ、消費が拡大する観光交流の振興(参考)	「“金太郎生誕の地おやま”のPRが行われている」と回答する町民の割合	-	47%	51%	↑	-
3-11	賑わいと活気があふれる商工業の振興	「富士山須走口について情報発信が行われている」と回答する町民の割合	-	32%	30%	↓	-
3-12	定住・移住の促進と婚活支援	「賑わいのある商業地づくりを行っている」と回答する町民の割合	6%	9%	11%	↑	50%
4-1	健全な財政運営の確立	―(総合戦略に掲げる指標のみで、町民アンケートによる指標はなし)					
4-2	効率的な行政運営の推進	「周市町村との連携が進んでいる」と回答する町民の割合	23%	26%	26%	→	50%
4-3	参加と協働によるまちづくり	「町の財政運営が健全である」と回答する町民の割合	28%	29%	28%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	「町民のための行政運営が行われている」と回答する町民の割合	30%	35%	32%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	「地域コミュニティが活発である」と回答する町民の割合	29%	33%	33%	→	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	「町民が参加してまちづくりを進めている」と回答する町民の割合	28%	29%	28%	↓	50%
4-4	参加と協働によるまちづくり	「役場からの必要な情報が伝わっている」と回答する町民の割合	56%	53%	50%	↓	70%

●アンケート実施期間：平成29年6月1日～平成29年6月15日

●アンケート発送数：1,500通 ⇒ 回収数：577通(最終便の到達は7月3日) ⇒ 回収率：38.5%

(参考・・・昨年度回収票数：565通 昨年度回収率：37.7%)

●前回よりも評価が上がったもの(↑)：15件

横ばいもの(→)：8件

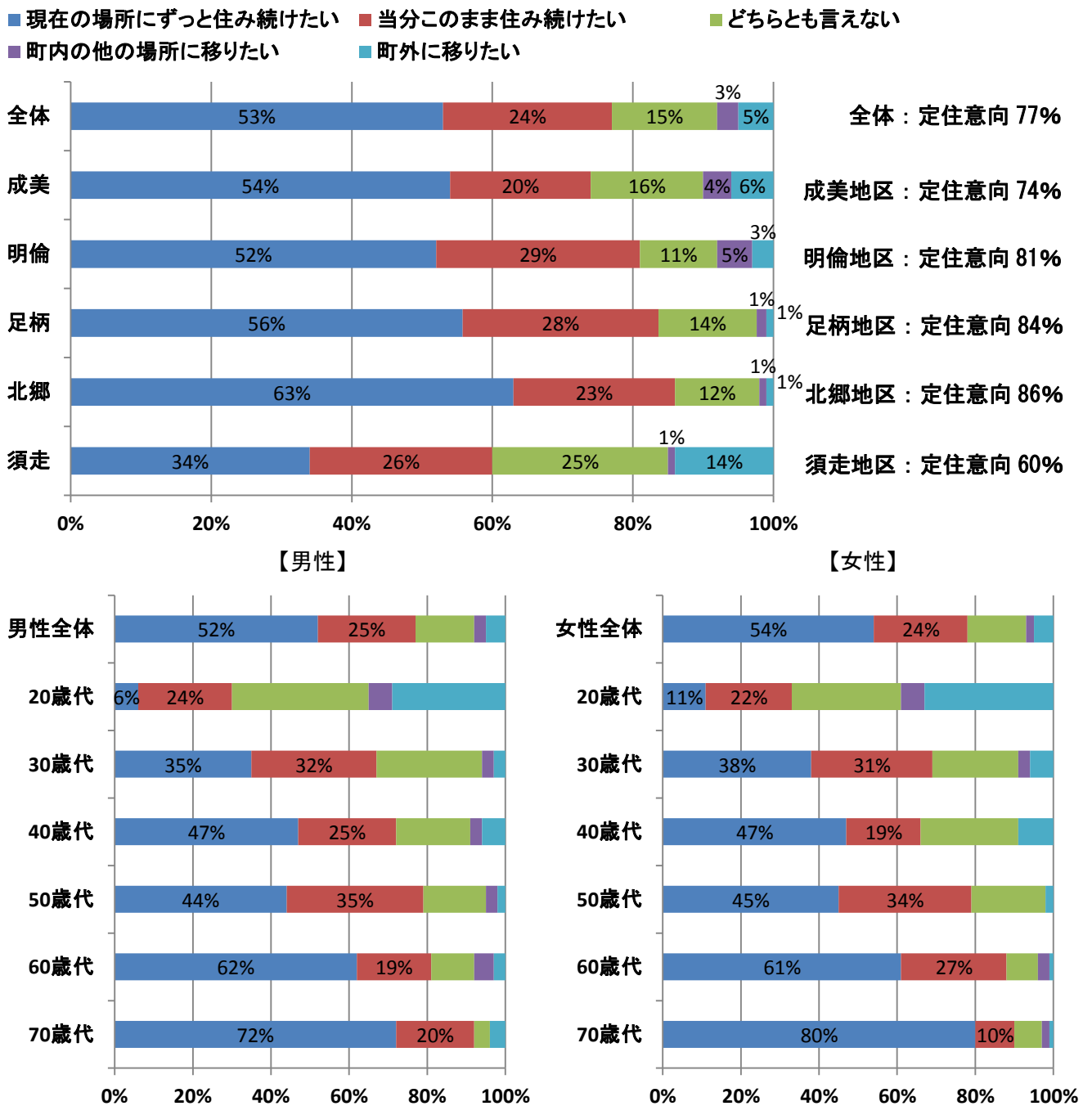
下がったもの(↓)：22件

問6 「あなたは今後とも小山町に住み続けたいと思いますか」

今回の調査で、「現在の場所にずっと住み続けたい」及び「当分このまま住み続けたい」と回答した町民の割合を、「今後とも小山町に住み続けたい」という「定住意向」がある人の割合とします。

定住意向がある人の割合 ⇒ 77%

上記の値は、前回調査時と同様の 77%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



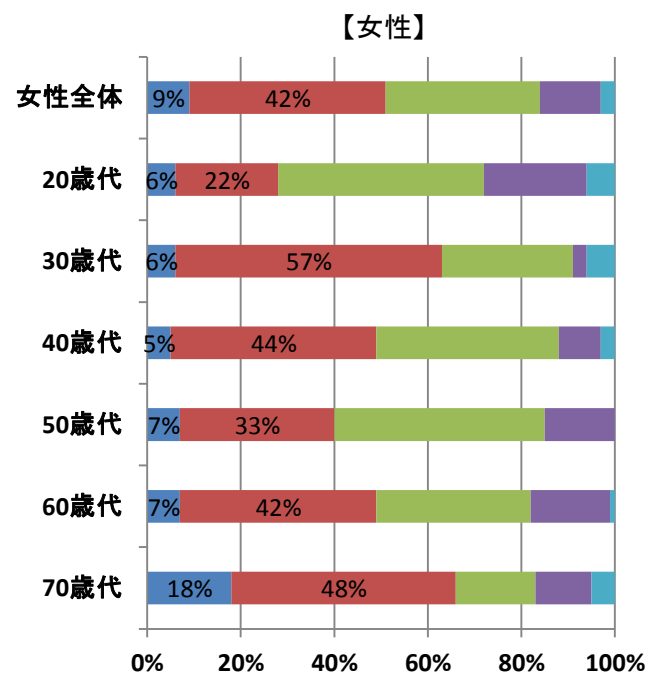
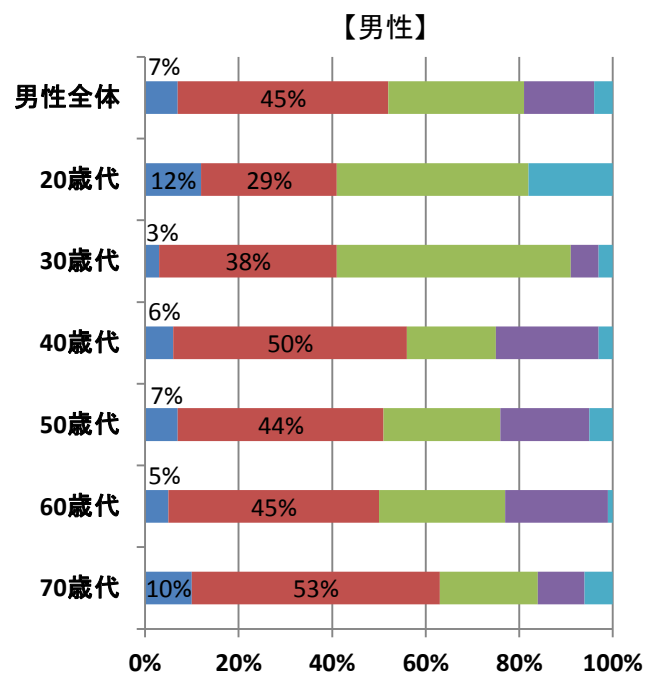
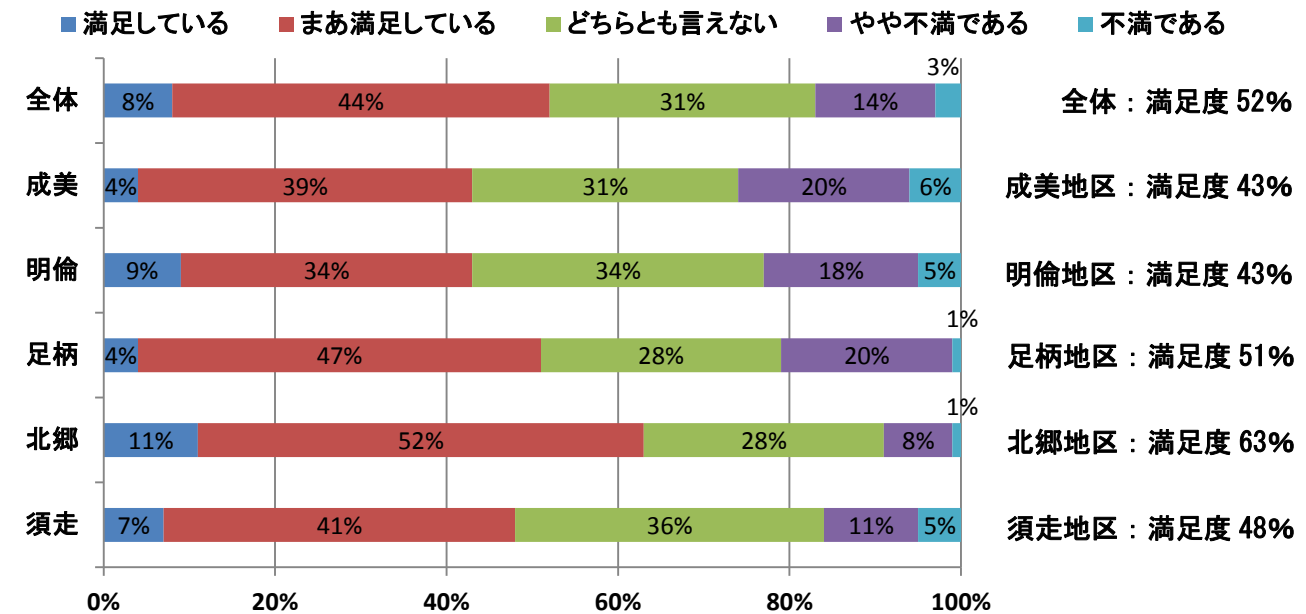
地区別の比較においては、須走を除く4地区での定住意向は高い傾向にあり、特に北郷地区の定住意向は非常に高いと言えます。男女（年齢）別の比較では、男女ともに年齢を重ねるごとに定住意向が高まる傾向にあります。しかし、男女ともに若者（特に20歳代）の定住意向は、非常に低い結果となっています。

問7 「あなたは、町の施策全体について、どの程度満足していますか。」

今回の調査で、「満足している」及び「まあ満足している」と回答した町民の割合を、町の施策全般に満足している人の割合とします。

町の施策全般に満足している人の割合 ⇒ 52%

上記の値は、前回の51%から今回の52%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



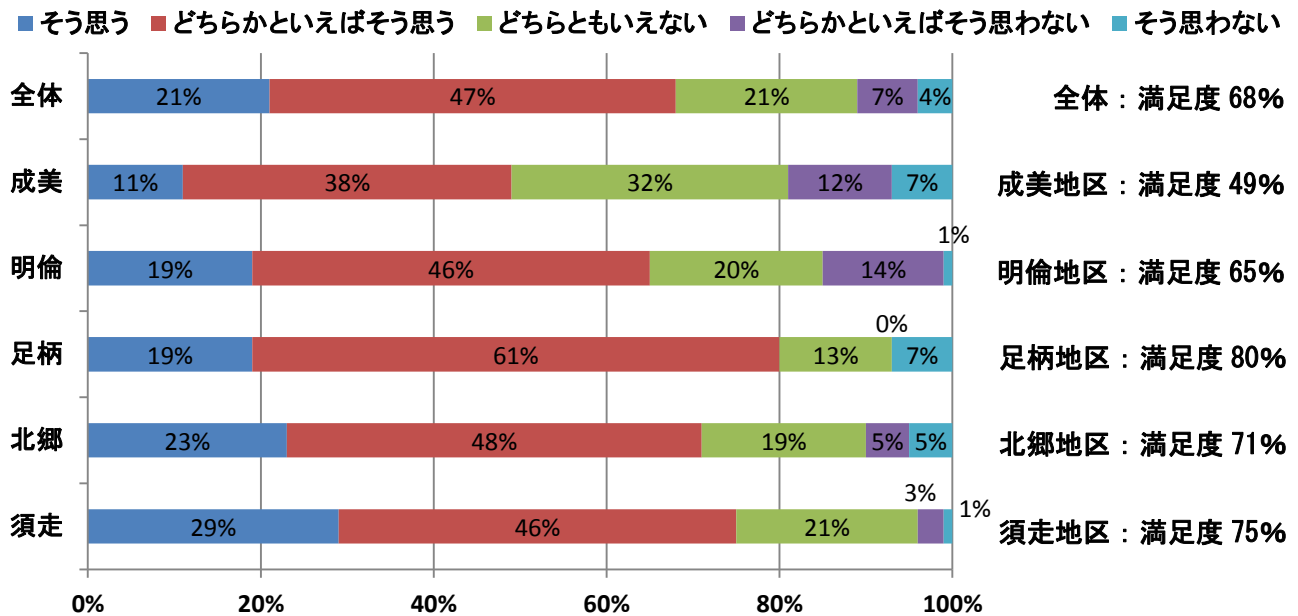
地区別で比較すると、成美地区と明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度がかなり高いといえます。また、男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代の満足度が非常に低く、30歳代女性と70歳代男女の満足度が高い傾向にあります。

【※問8の全ての質問において、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合を、『町民の満足度』としています。】

問8－（1） 「自然環境が保全されている」

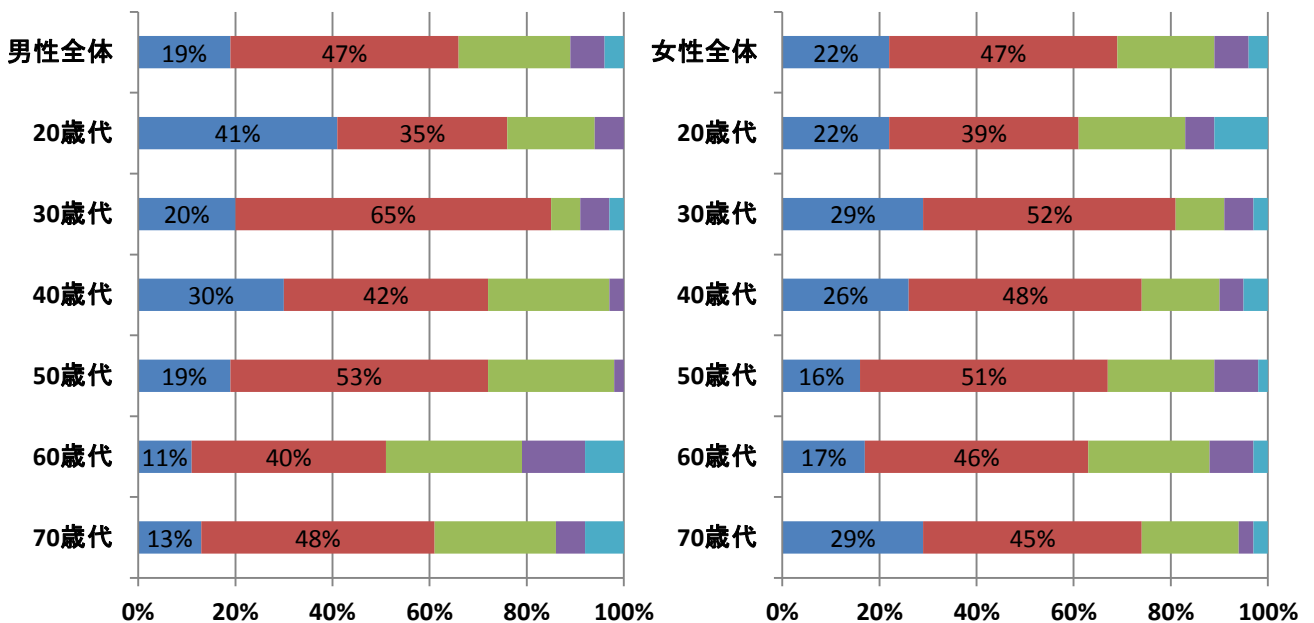
今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 68%

上記の値は、前回の70%から今回の68%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】

【女性】

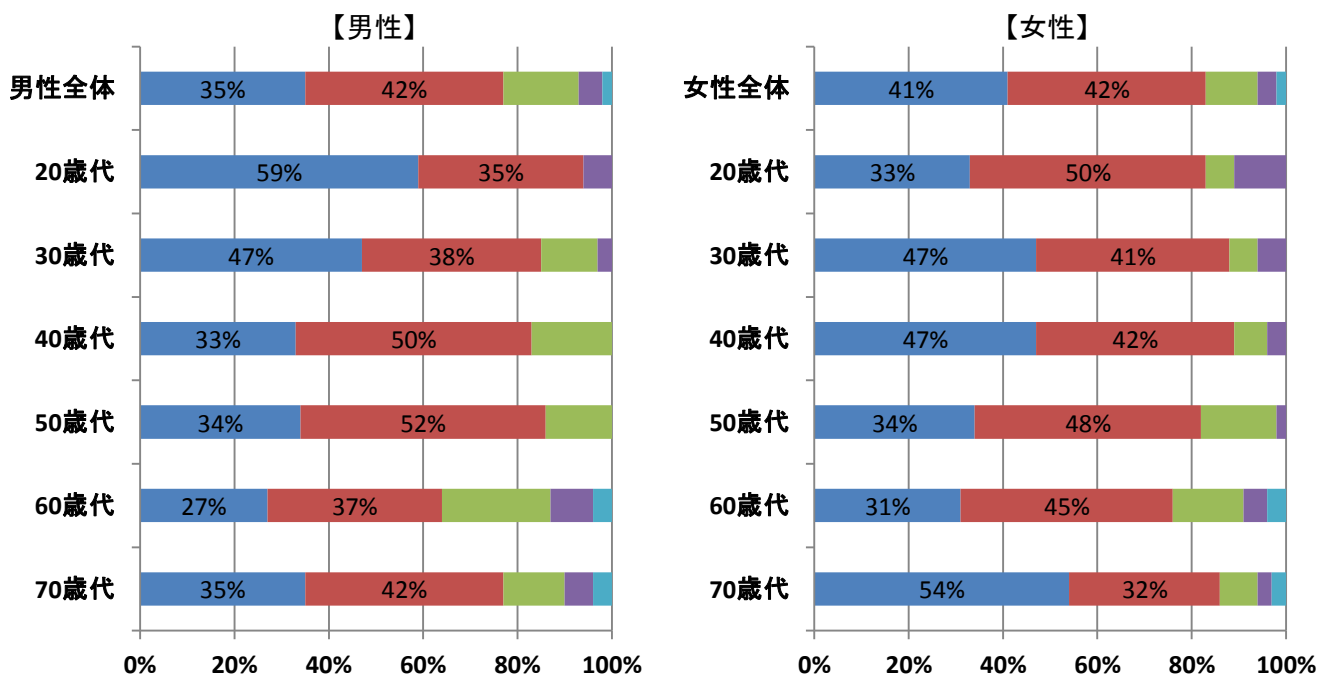
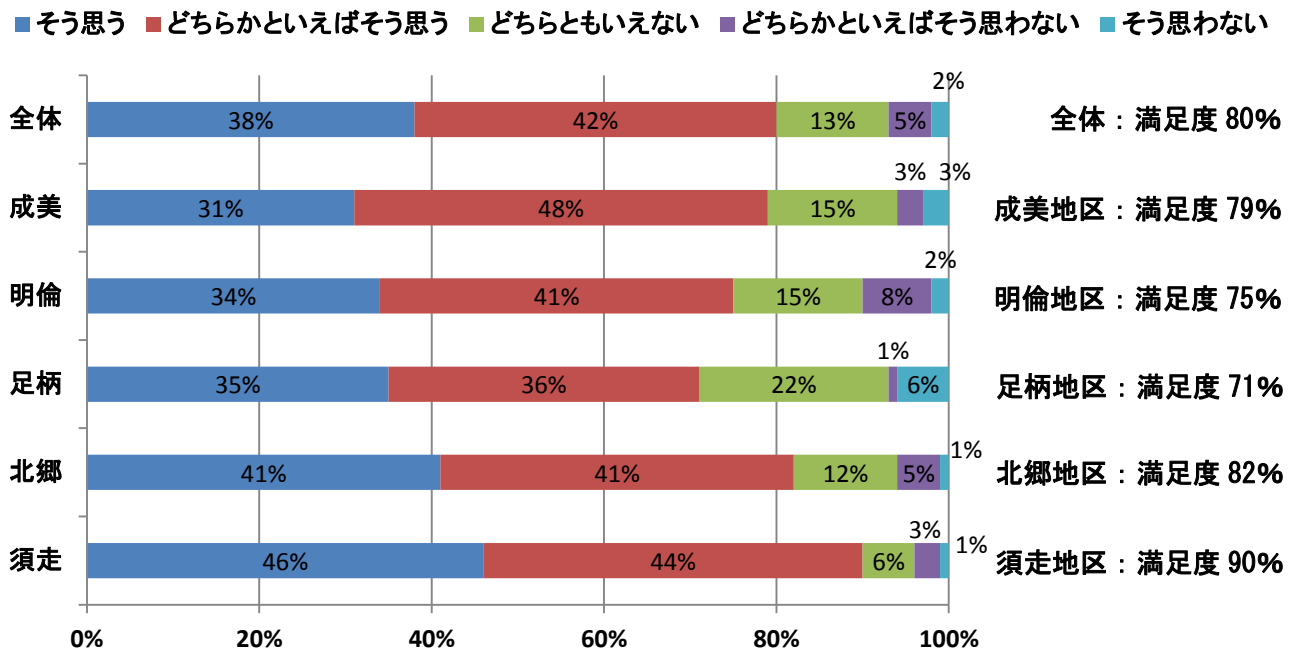


地区別の比較では、足柄の満足度が非常に高く、成美が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、20歳代や30歳代といった若い世代より、高齢者世代（特に60歳代）の満足度が低いという結果になっています。

問8－(2) 「清らかで豊かな水資源が守られている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 80%

上記の値は、前回の84%から今回の80%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

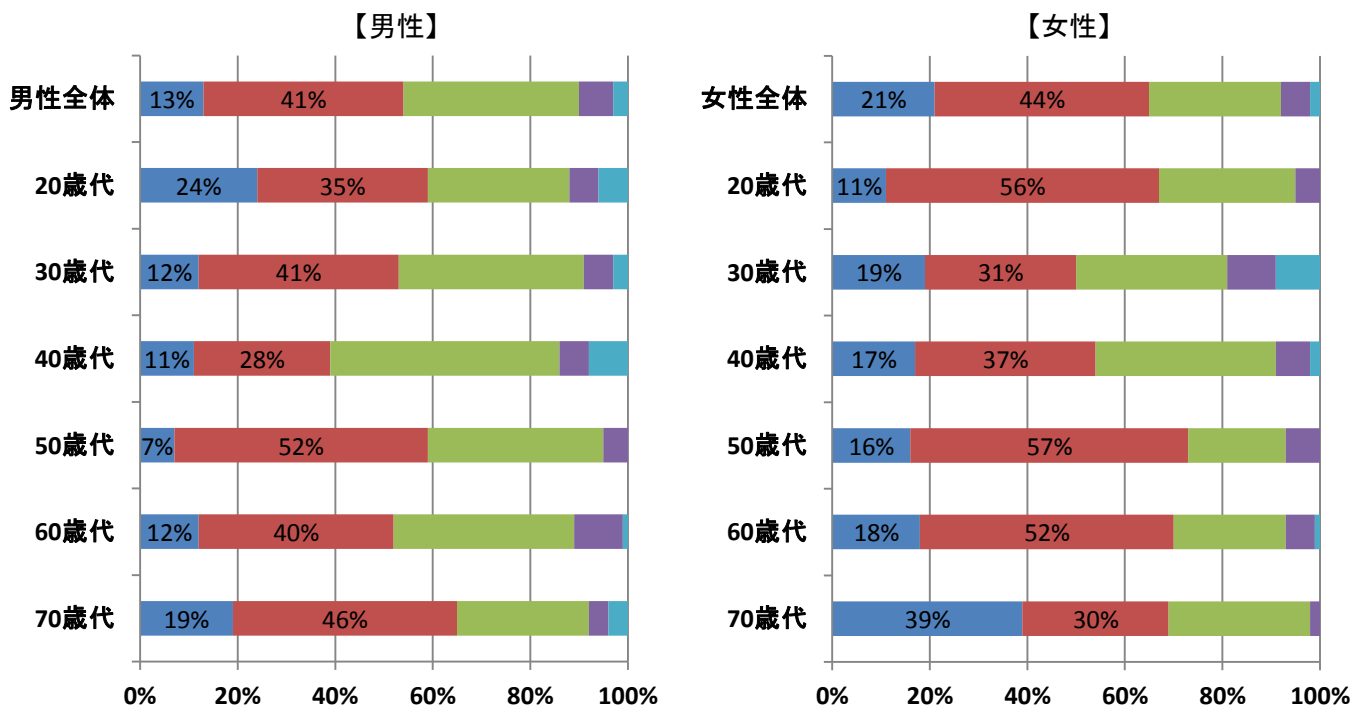
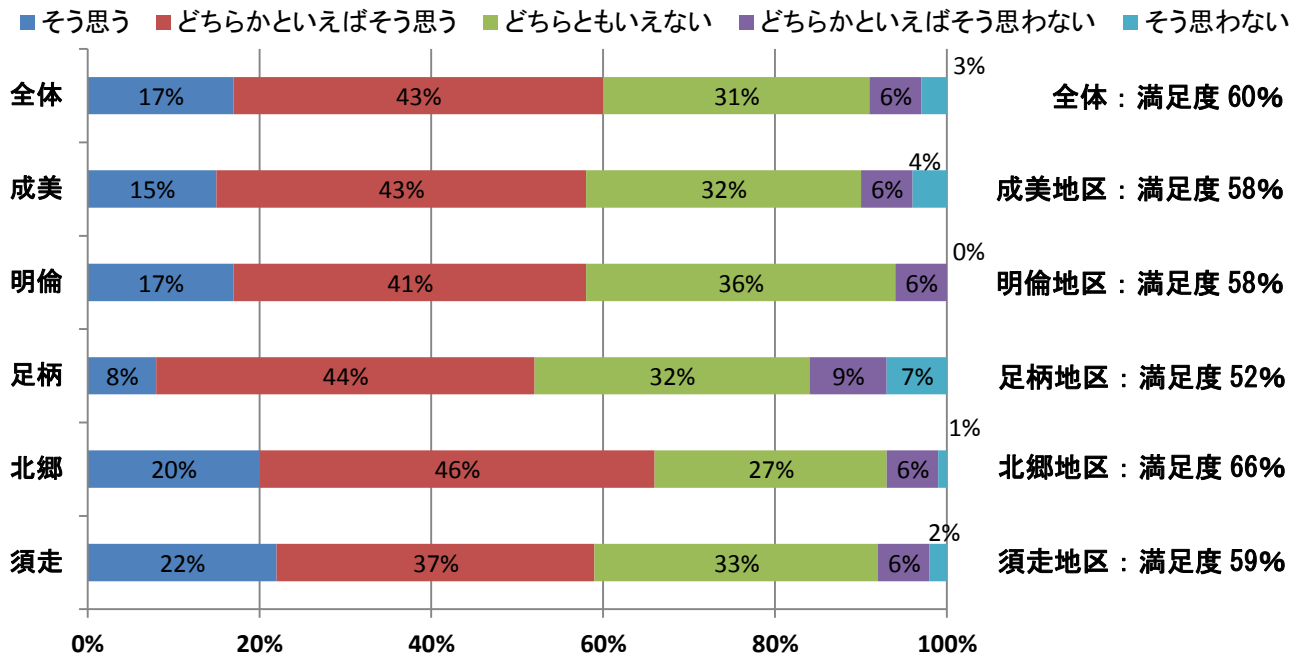


地区別の比較では、全体的に高い満足度となっていますが、特に須走の満足度は非常に高いといえます。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあり、更に20歳代や30歳代といった若い世代より、高齢者世代（特に60歳代）の満足度が低いという結果になっています。

問 8 - (3) 「ごみの減量化や資源化が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 60%

上記の値は、前回の61%から今回の60%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

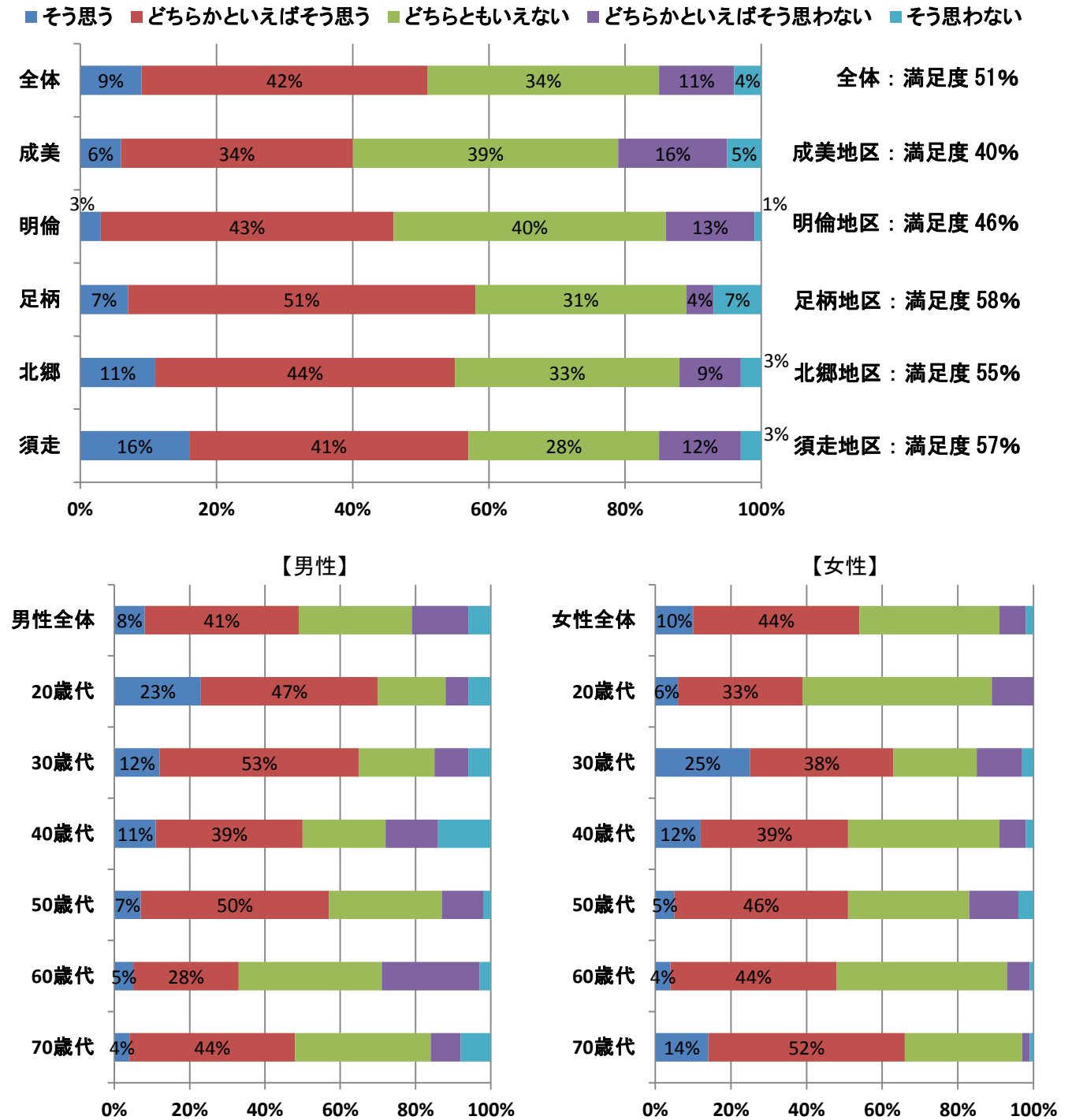


地区別の比較では、概ね60%前後の満足度となっていますが、足柄がやや低く、北郷がやや高い満足度となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあります。また、男女ともに30歳代と40歳代の満足度が低い傾向にあります。

問8－(4) 「富士山をはじめとした豊かな自然環境を活かした美しいまちづくりができています」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 51%

上記の値は、前回の48%から今回の51%に3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



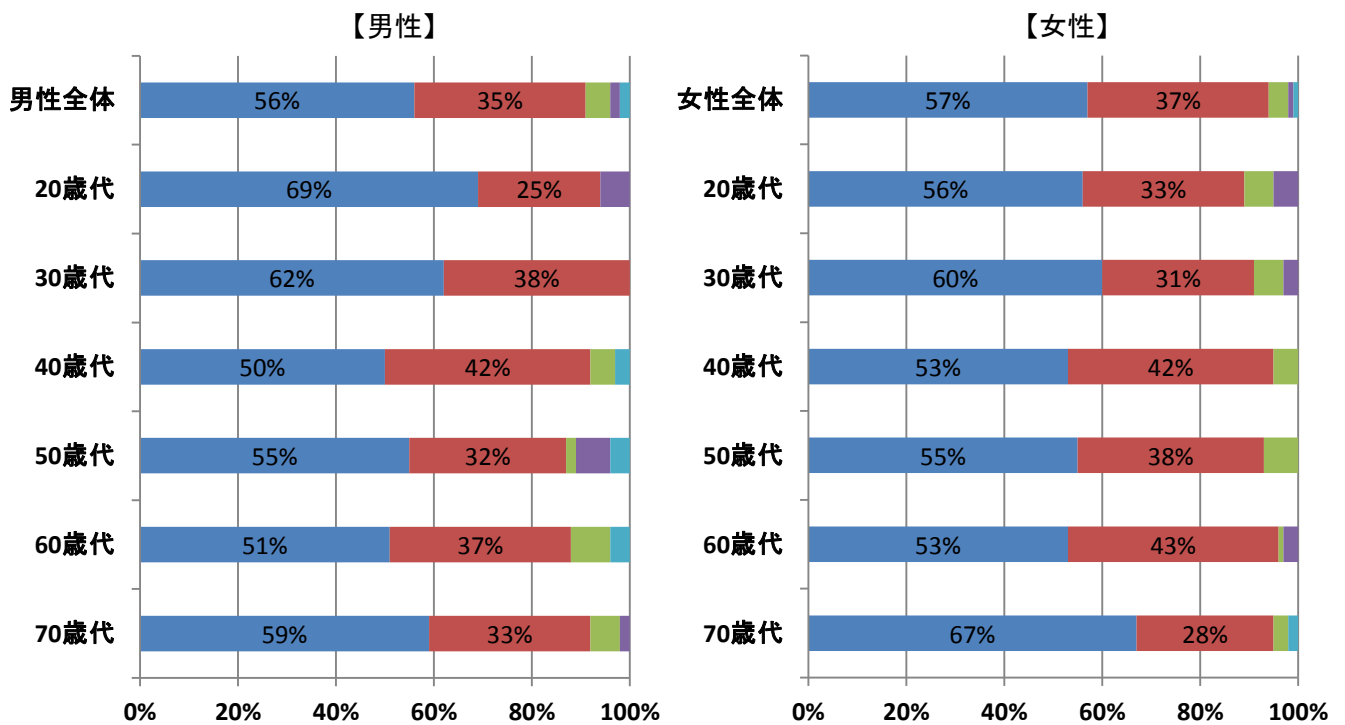
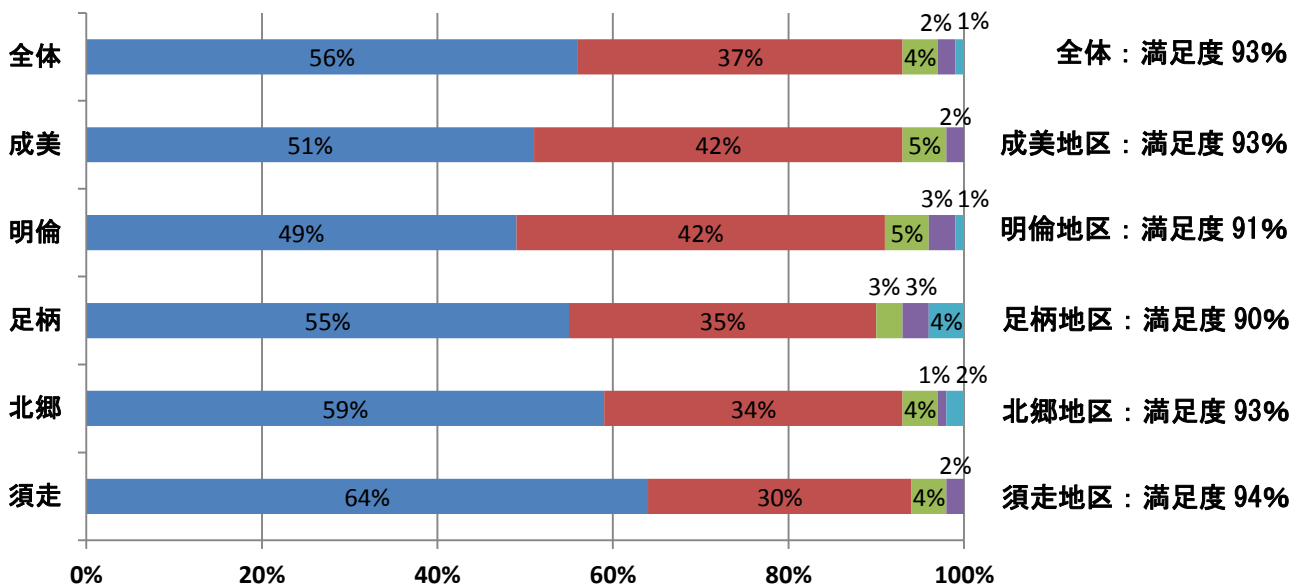
地区別の比較では、成美地区の満足度が低く、足柄地区、北郷地区、須走地区の満足度が高い傾向にあります。男女（年齢）別の比較では、かなりのばらつきが見られますが、中でも男性は60歳代、女性は20歳代の満足度が非常に低くなっています。

問8 - (5) 「安全な水道水が安定供給されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ **93%**

上記の値は、前回の94%から今回の93%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

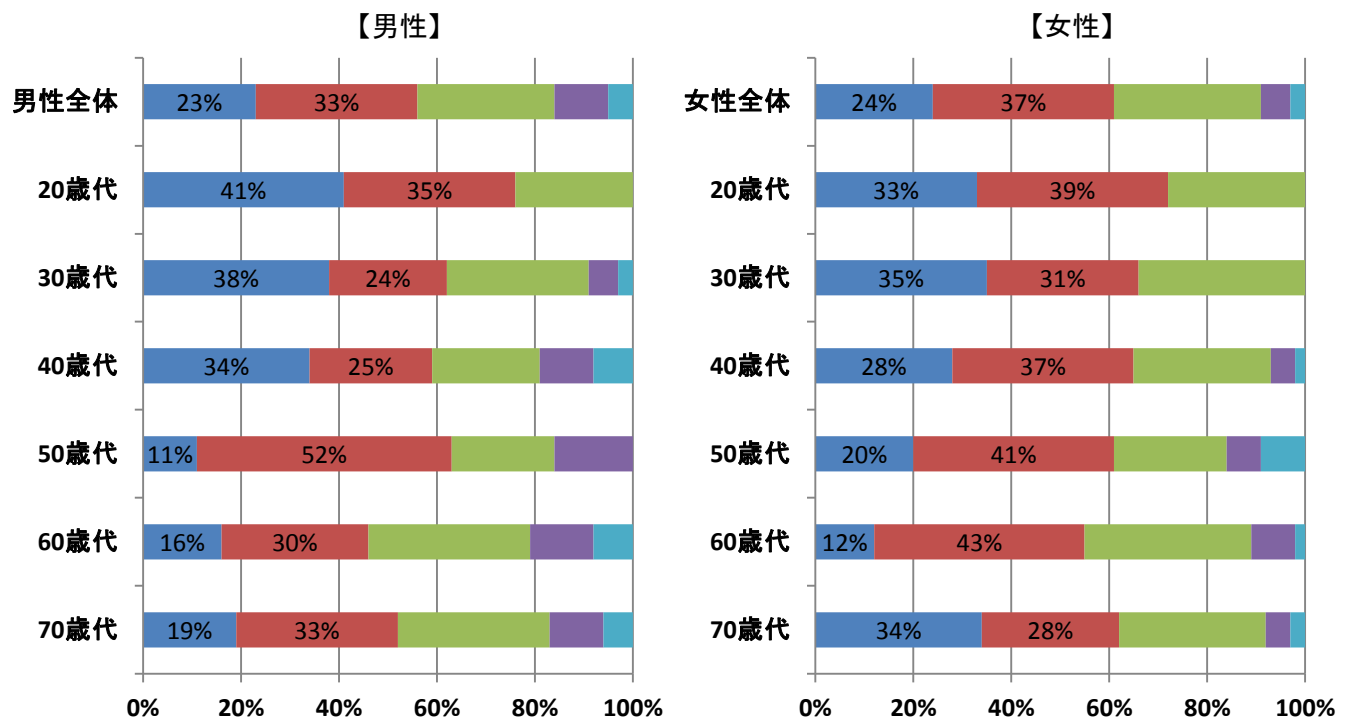
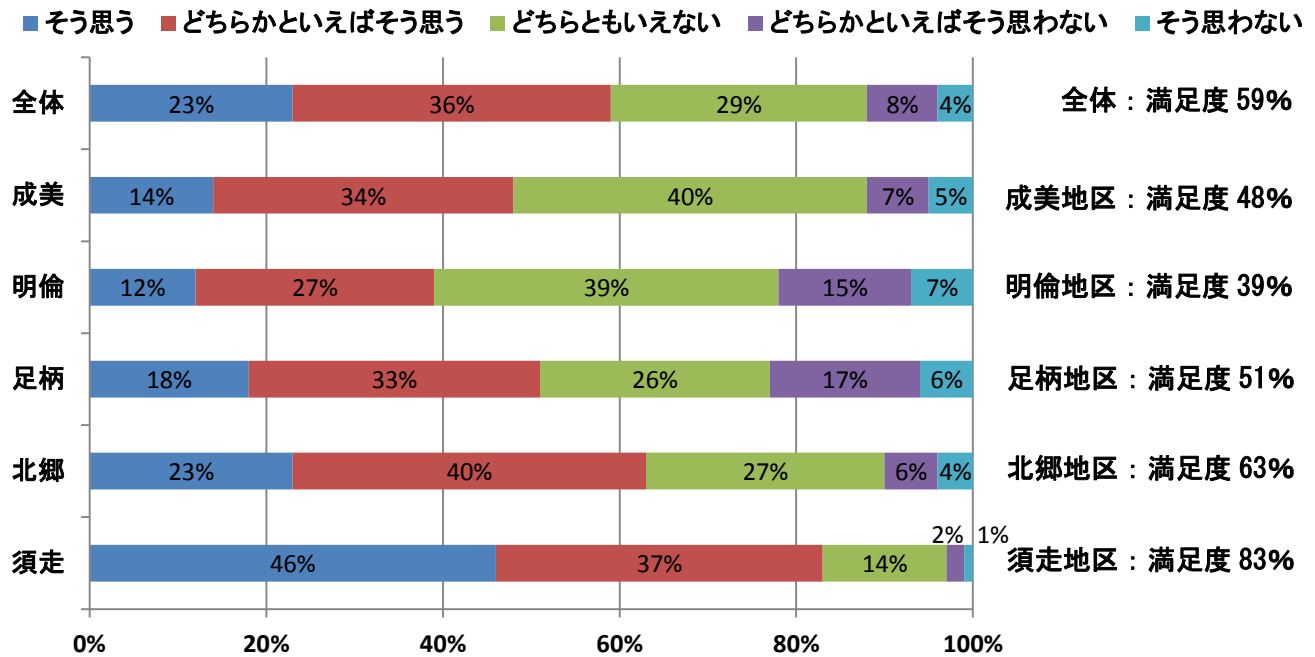


地区別及び男女（年齢）別の比較、全てにおいて非常に高い満足度となっていて、この質問に関しては、例年90%を超える高い満足度をキープし続けています。

問8－(6) 「汚水（下水）が適切に処理されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 59%

上記の値は、前回の62%から今回の59%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

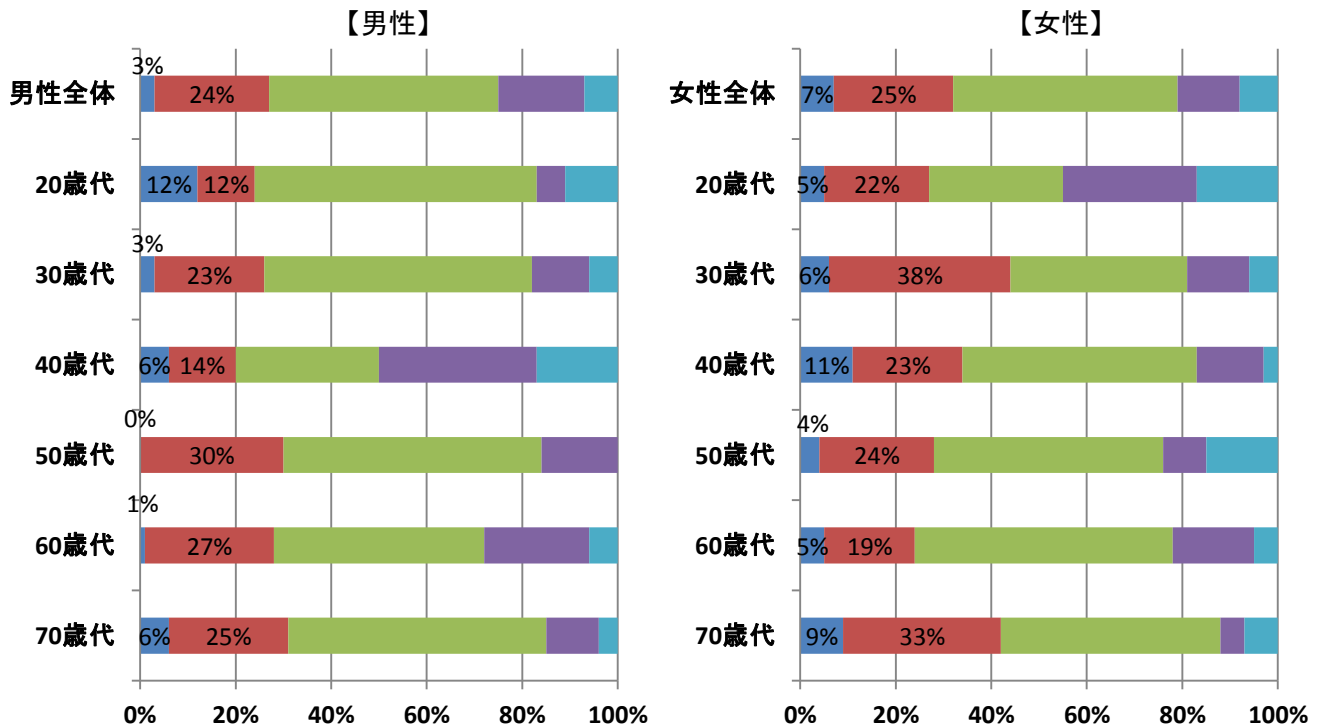
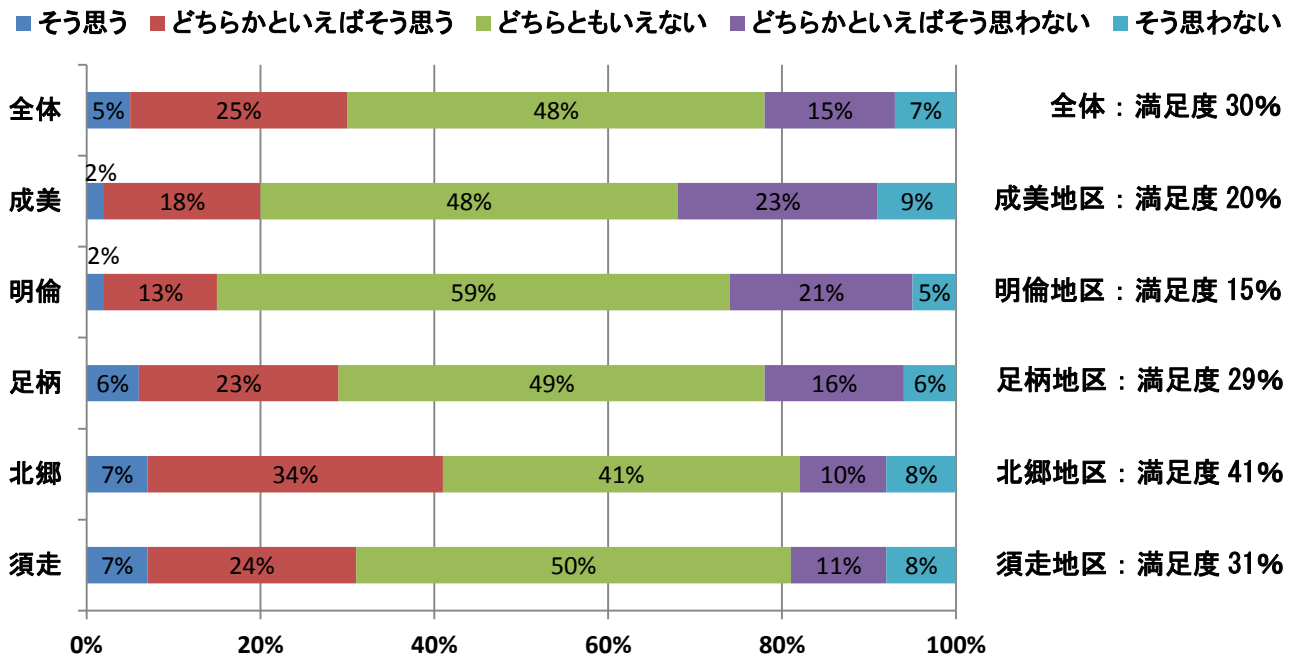


地区別の比較では、須走地区の満足度が非常に高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに20歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低い傾向が見られます。

問8－(7) 「計画的な土地利用が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 30%

上記の値は、前回の32%から今回の30%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

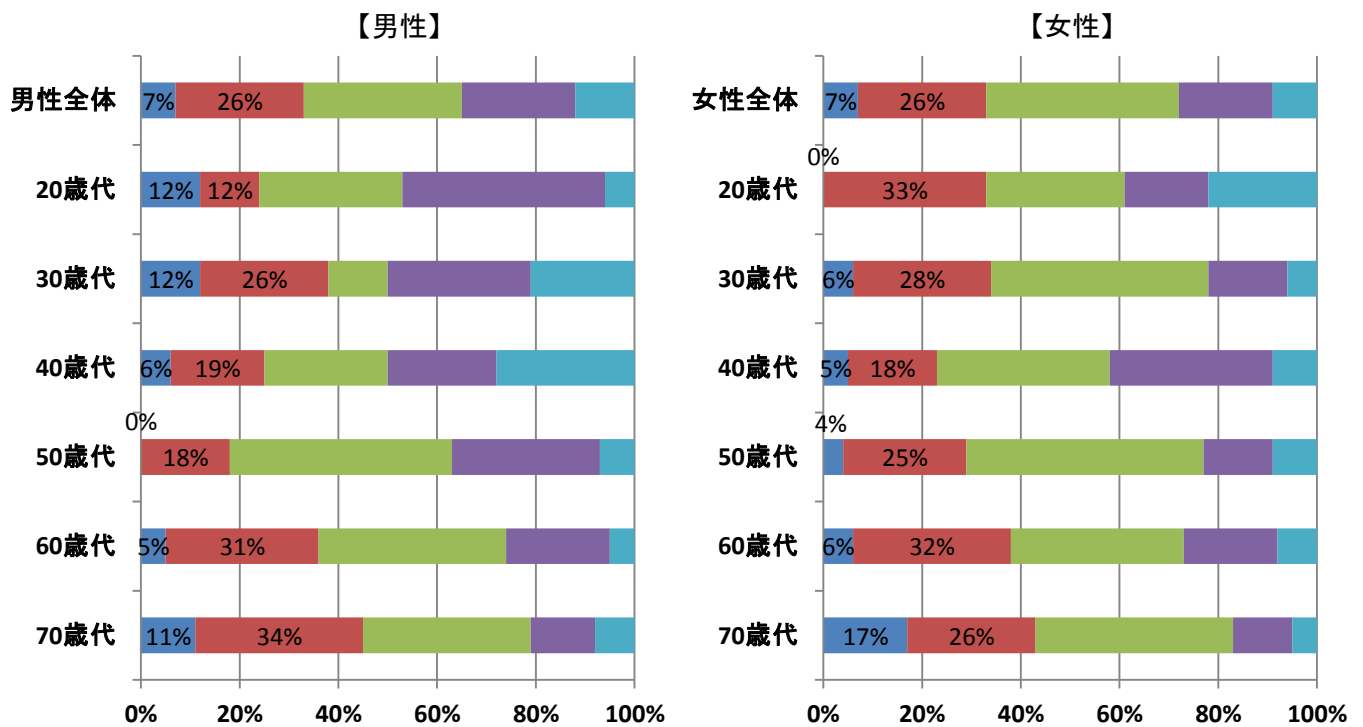
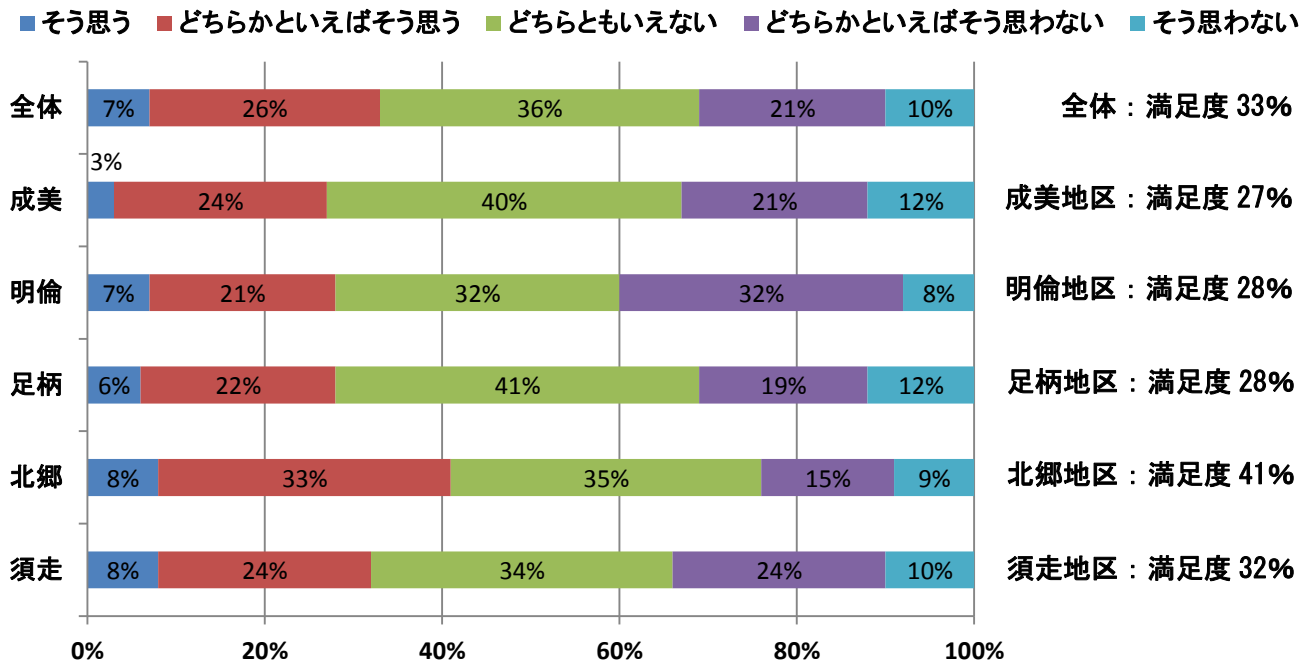


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度が低く、特に明倫地区は極端に低い結果となっています。男女（年齢）別の比較でも、全体的に満足度は低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が非常に高い傾向にあります。

問 8 - (8) 「道路網が便利で快適である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

上記の値は、前回の31%から今回の33%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

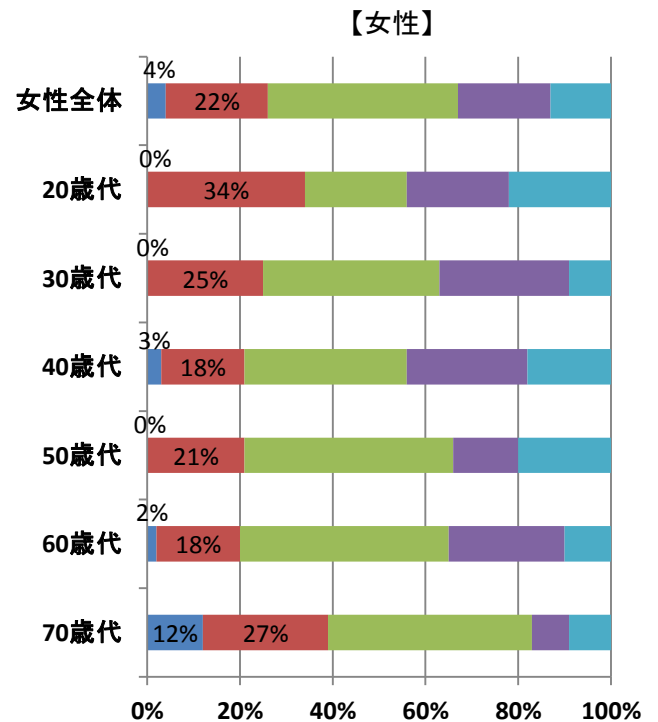
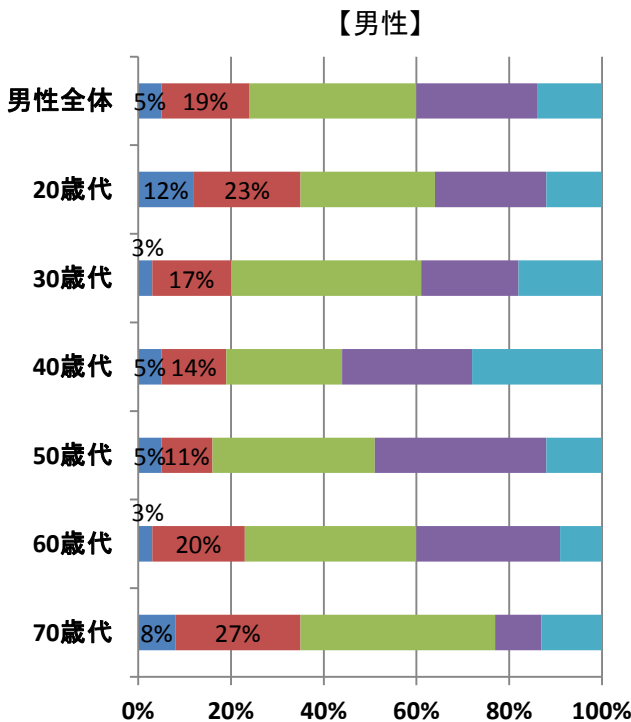
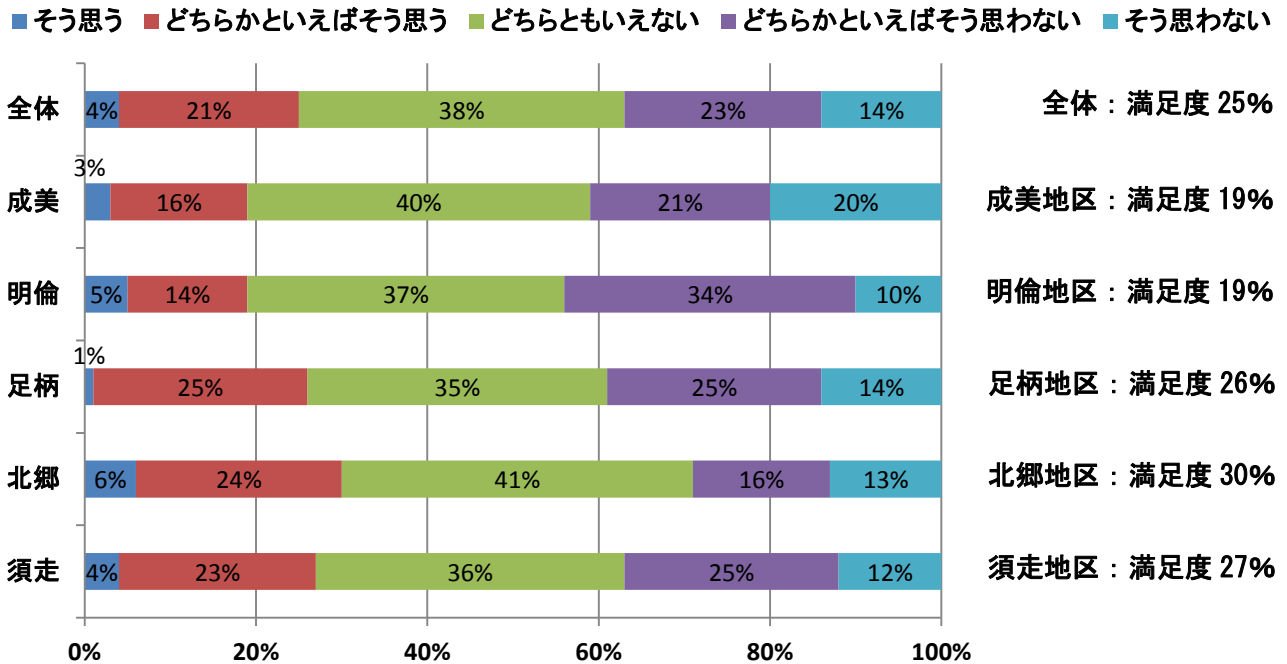


地区別の比較では、成美地区・明倫地区・足柄地区の満足度が低く、北郷地区が高い結果となっていますが、全体的には低い傾向にあるといえます。男女（年齢）別の比較では、男女ともに40歳代と50歳代の満足度が低い傾向にあります。

問 8 - (9) 町が「快適な公共交通の整備に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 25%

上記の値は、前回の26%から今回の25%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

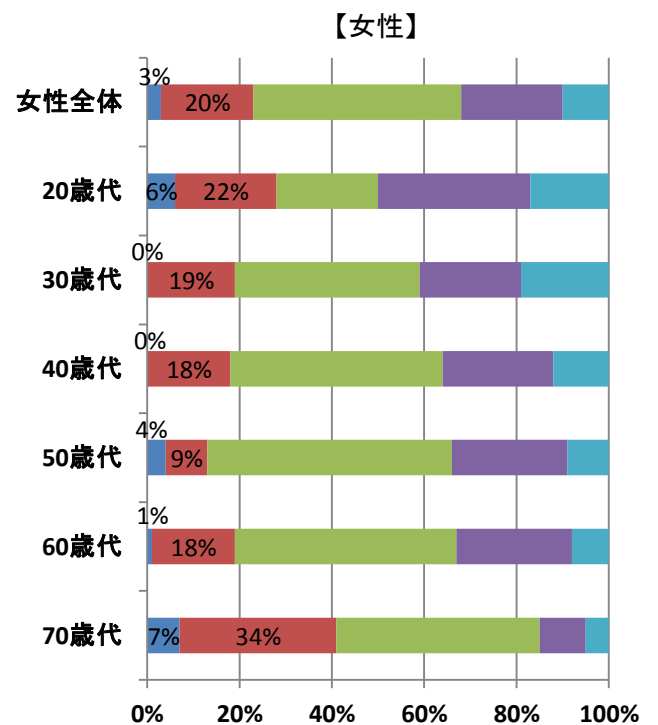
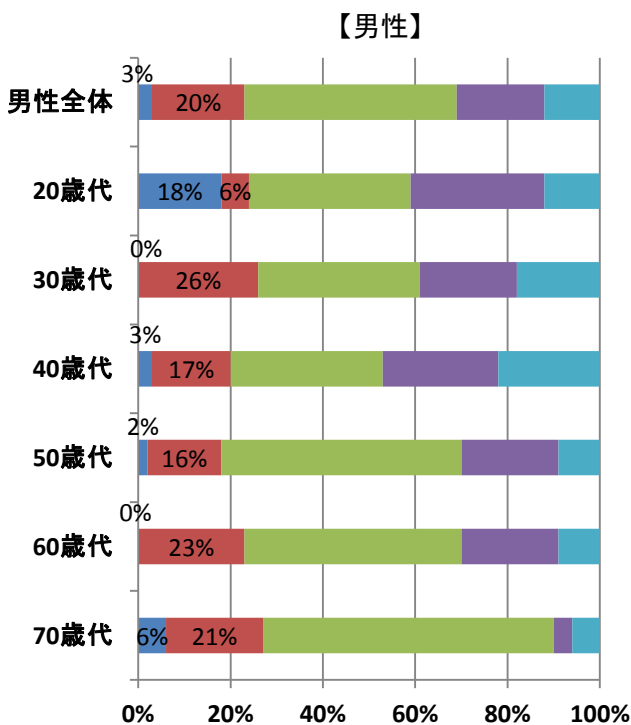
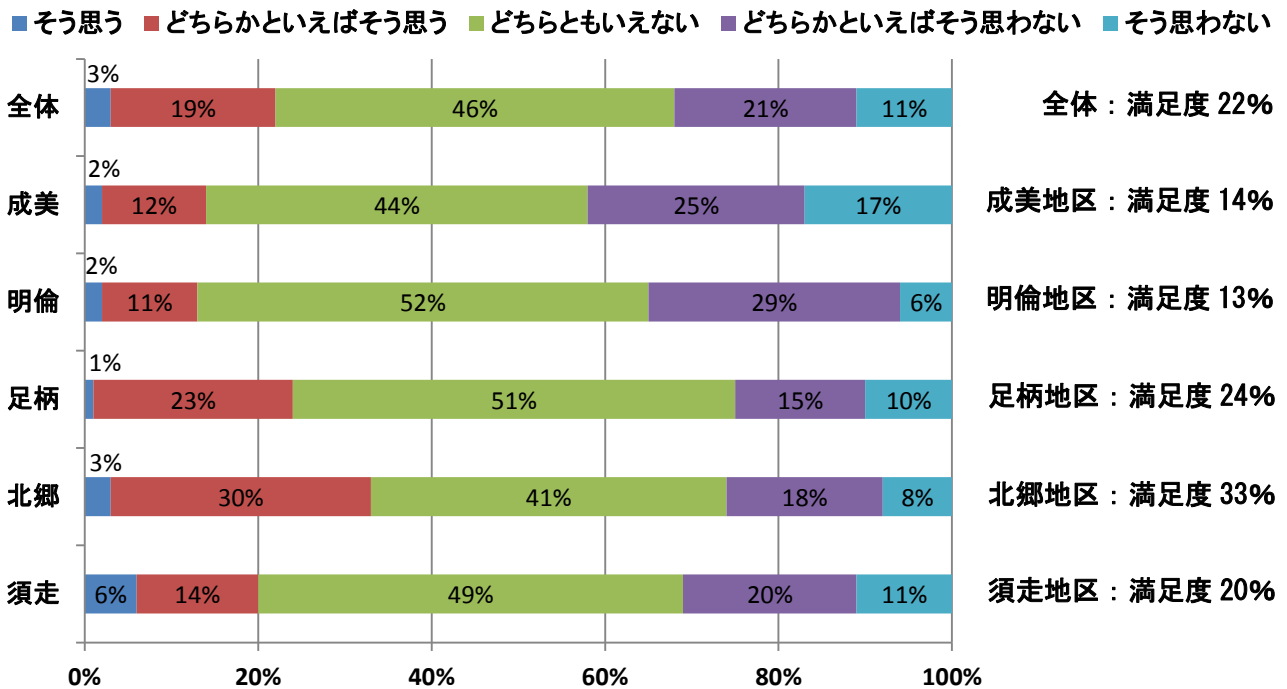


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度が低いですが、全体的に低い傾向にあると言えます。男女（年齢）別の比較も全体的に低く、特に30歳代から60歳代の満足度が低くなっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(10) 「誰もが住みやすい住環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 22%

上記の値は、前回の25%から今回の22%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

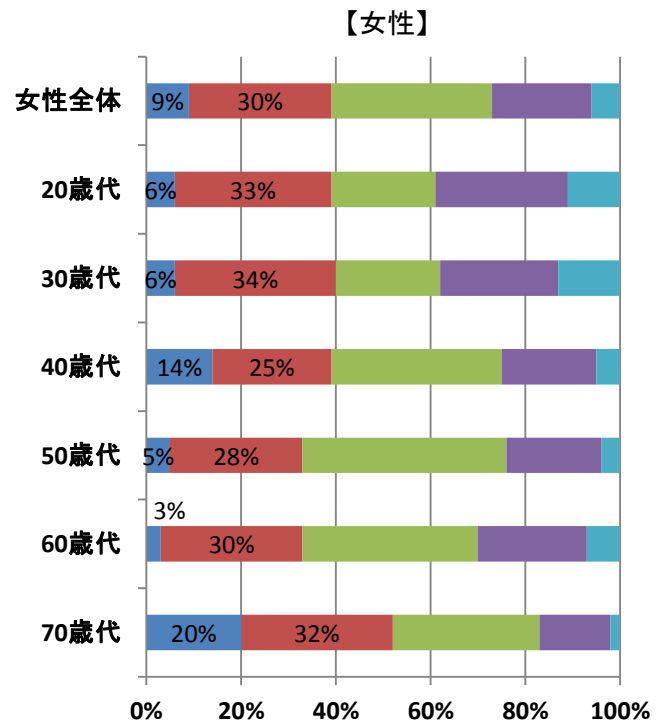
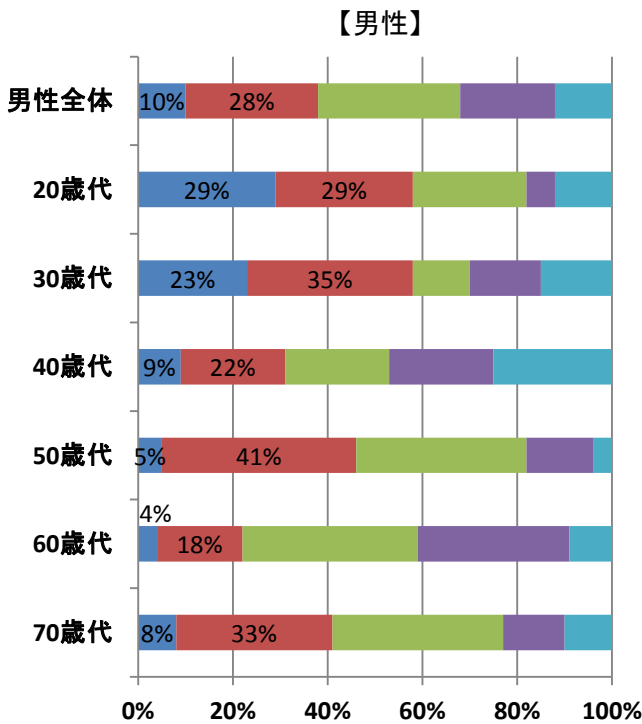
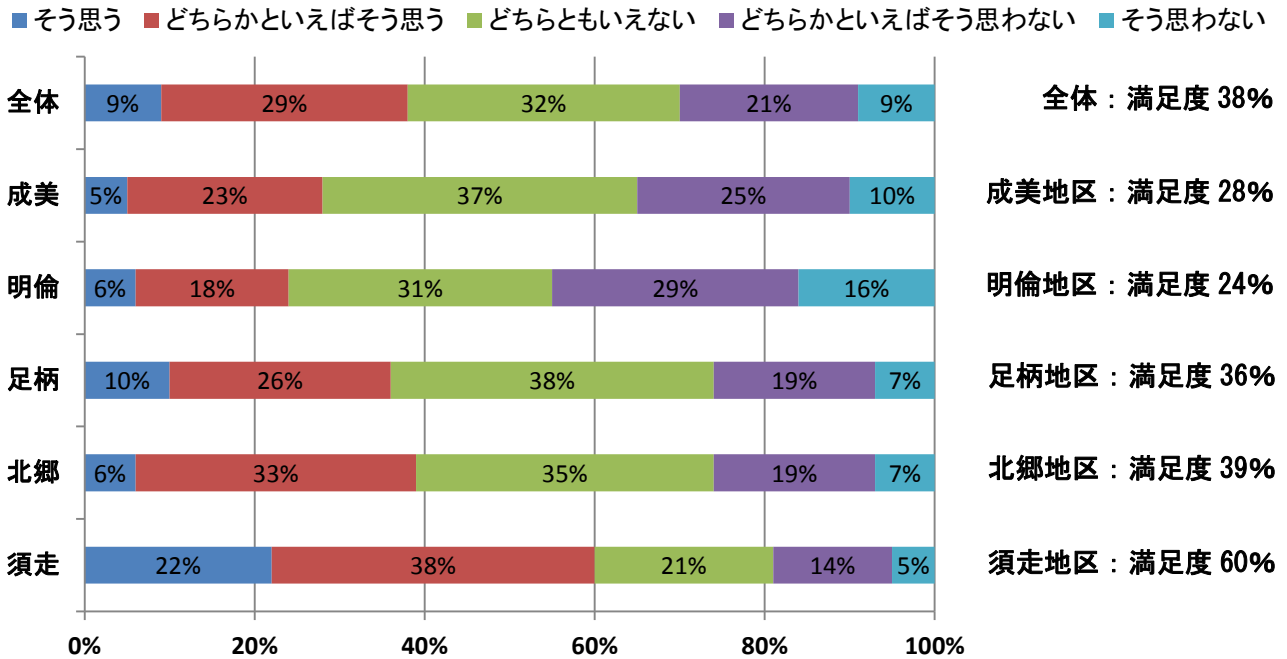


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度が非常に低く、北郷地区の満足度がやや高い結果となっていますが、全体的に低い傾向にあります。男女（年齢）別の比較も、満足度は全体的に低く、特に30歳代～50歳代の満足度が低い結果となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (1 1) 「公園・緑地が確保されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 38%

上記の値は、前回の41%から今回の38%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

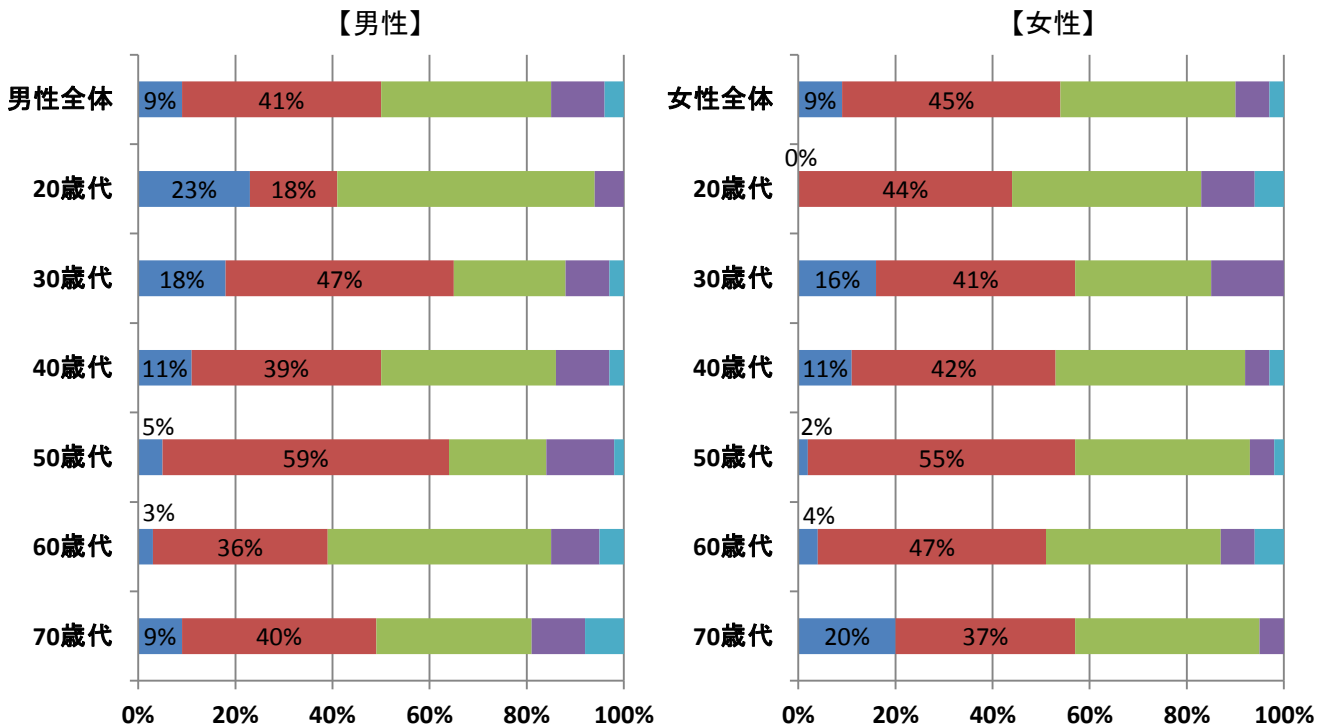
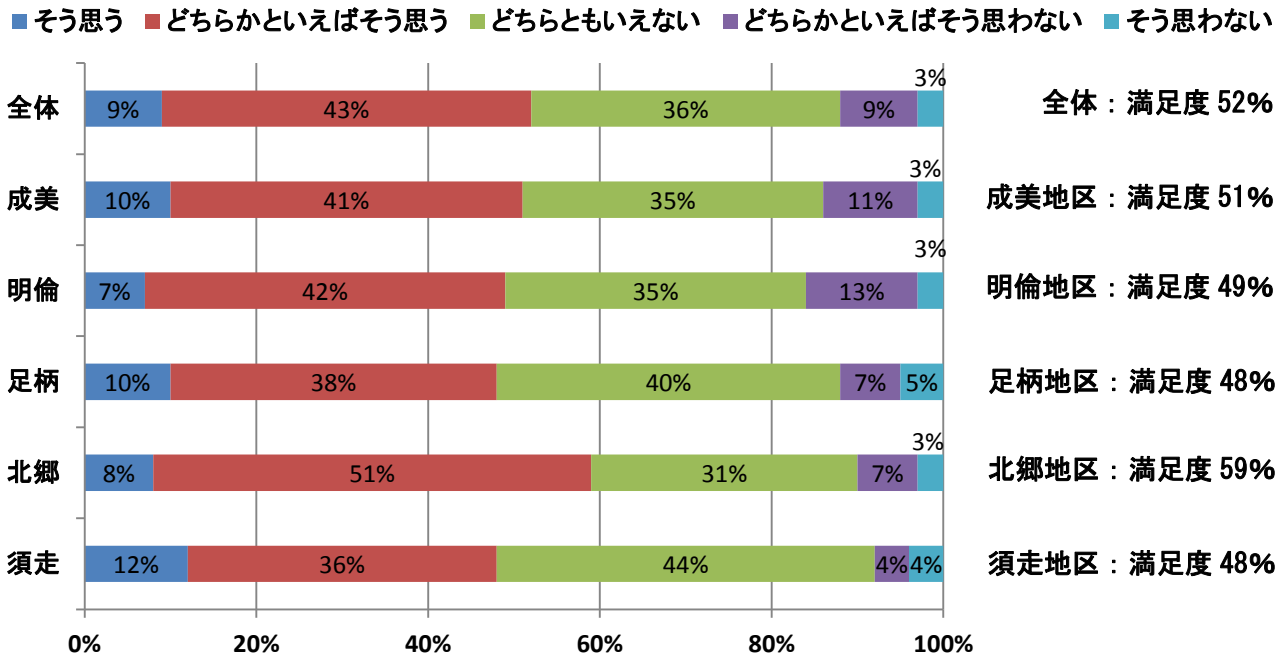


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度が低く、特に明倫地区の満足度は非常に低い結果となっています。それに比べ、須走地区の満足度はかなり高い結果といえます。男女（年齢）別の比較では、男性にはばらつきが見られますが、女性は全ての世代がほぼ平均値に近い傾向となっています。

問 8 - (1 2) 「町民が地域で互いに支え合って暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 52%

上記の値は、前回の 51%から今回の 52%に 1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

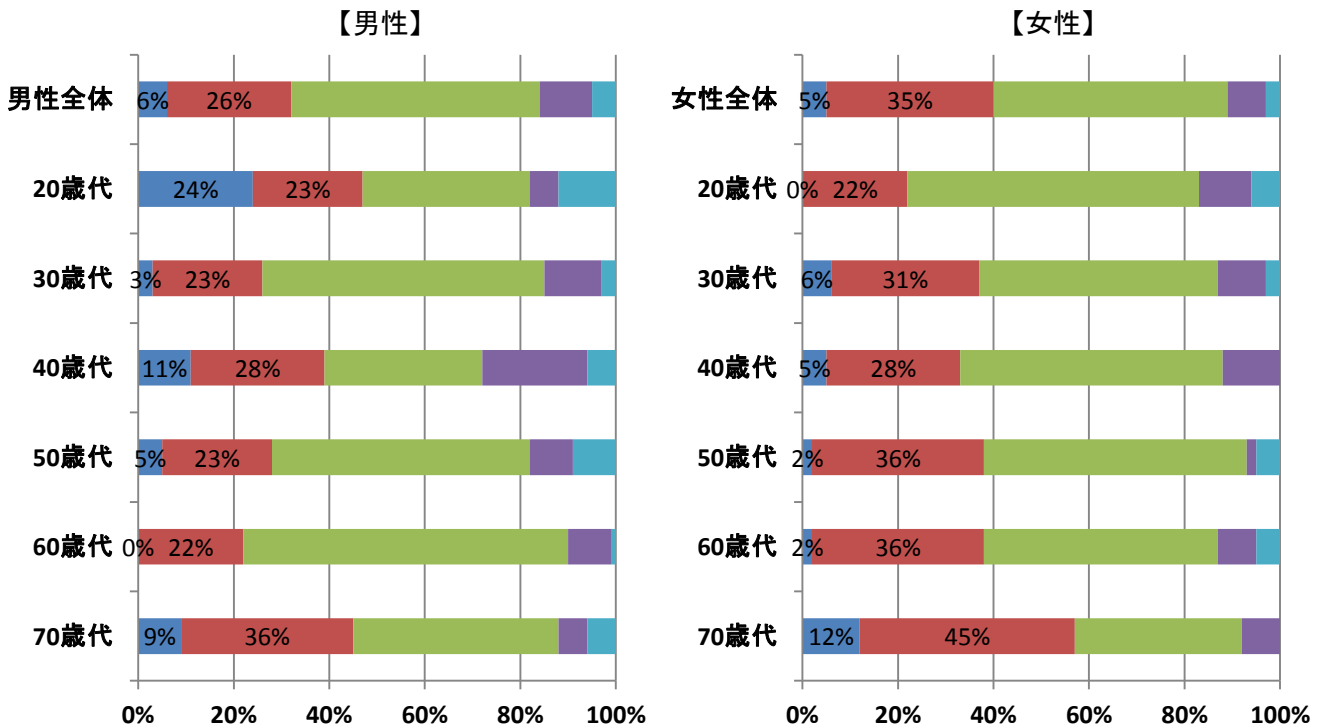
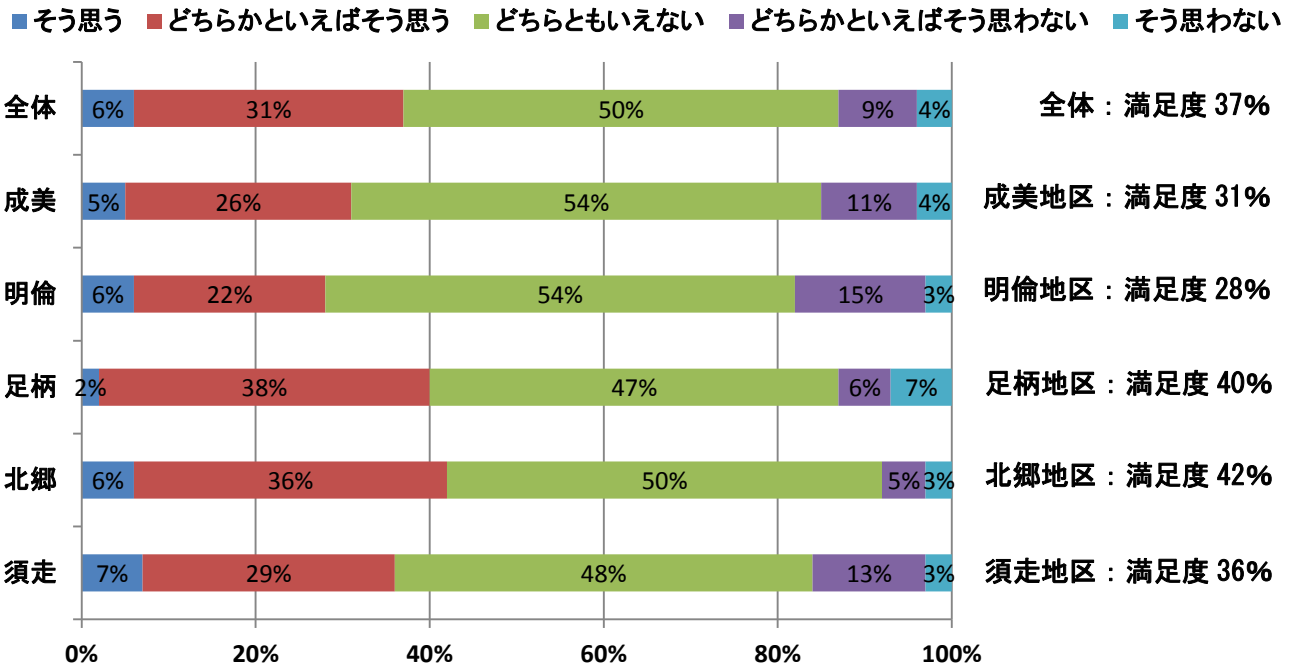


地区別の比較では、他の 4 地区に比べ、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、ばらつきはありますが、男女ともに 30 歳代～50 歳代の満足度が高い傾向が見られます。

問8- (13) 「みんなが主体的に健康づくりに取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回の40%から今回の37%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

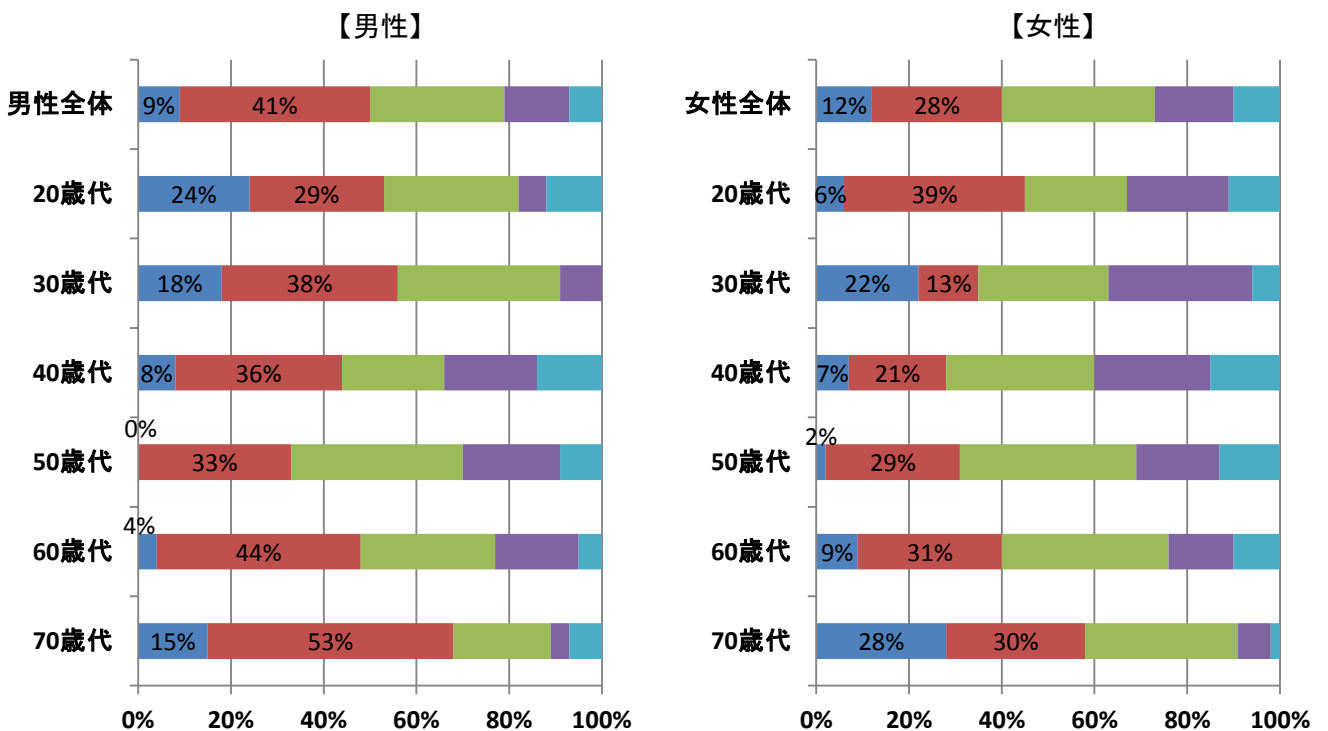
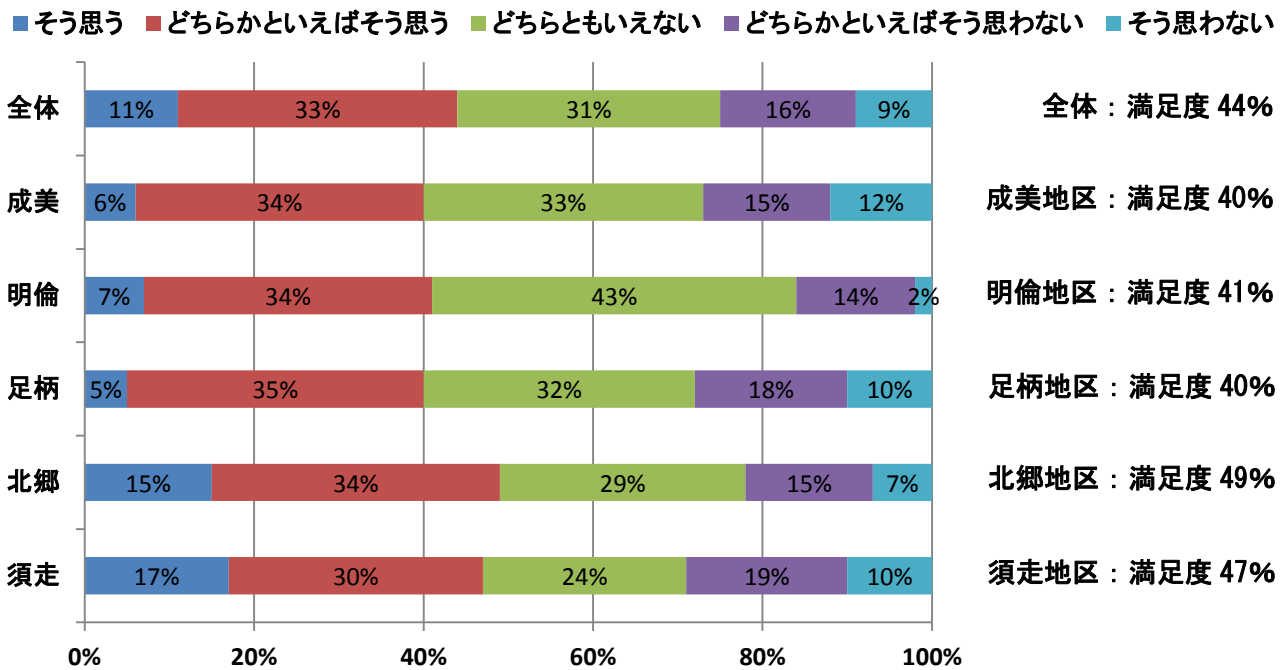


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は多少高い傾向にあり、更に女性は年齢を追うごとに満足度が上がっていく傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(14) 「必要な時に適切な医療が受けられる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 44%

上記の値は、前回の46%から今回の44%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

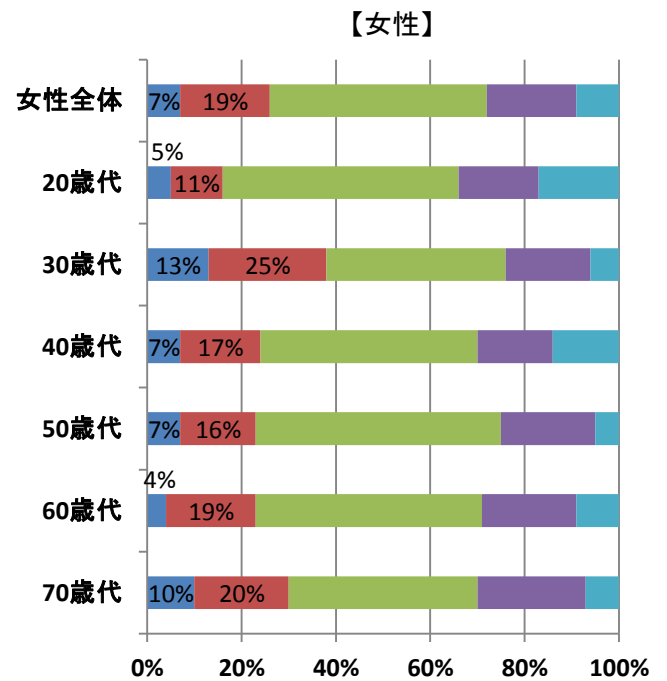
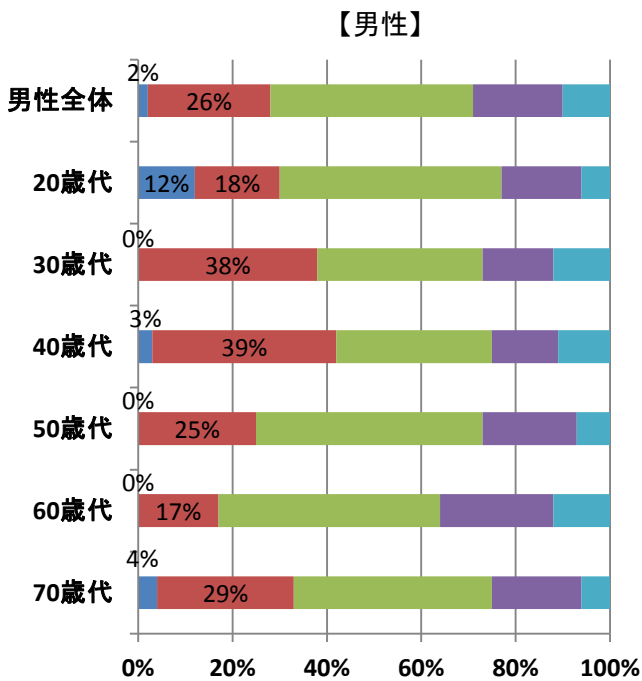
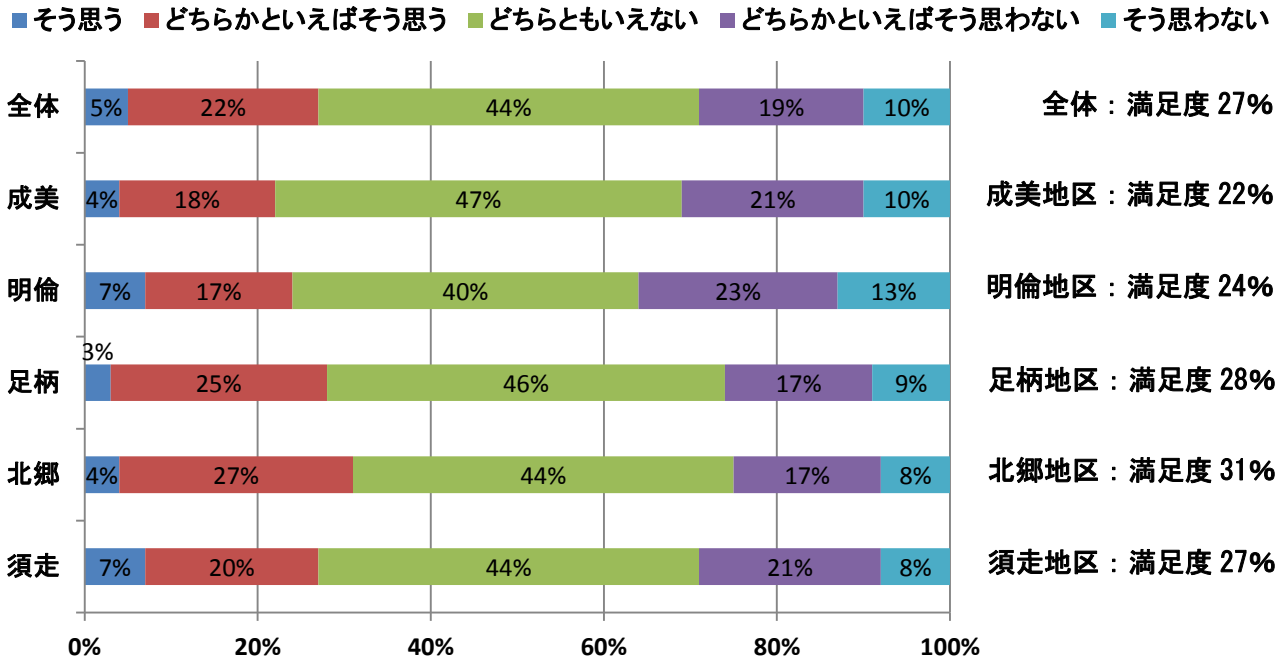


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が、他の3地区と比べて多少高い傾向にあると言えます。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっていて、40歳代・50歳代の満足度が低く、60歳代・70歳代にかけて満足度が上昇していく傾向にあります。

問8－(15) 「地域(近所)において、自身や家族の悩み事などを真剣に相談できる人間関係が構築されている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

上記の値は、前回の25%から今回の27%に2%増加しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

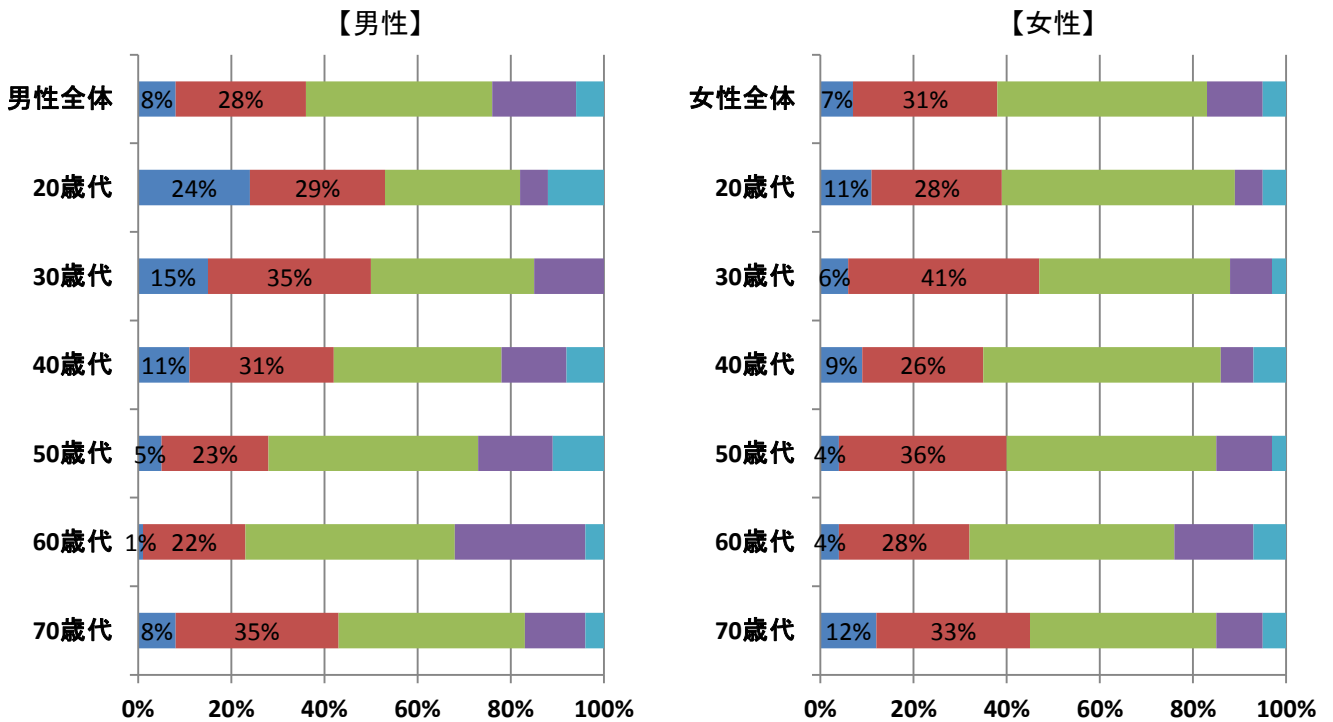
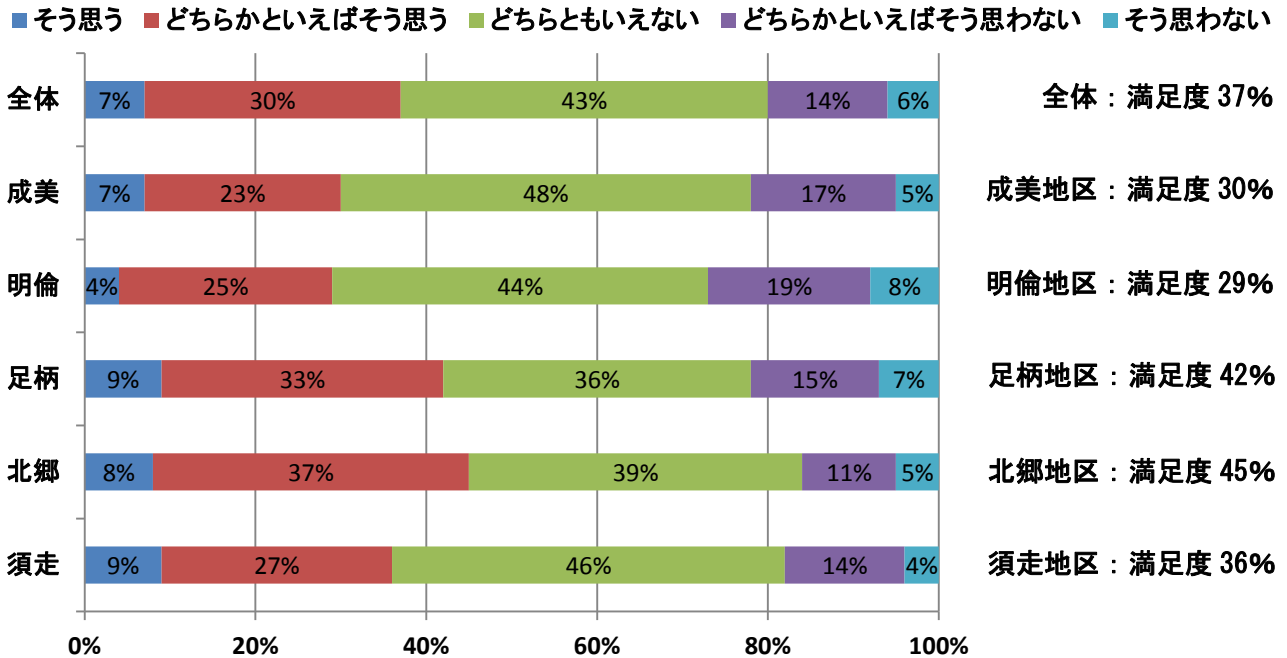


地区別の比較に大きな差はありませんが、北郷地区の満足度がやや高い結果となっています。男女(年齢)別の比較では、男女ともに50歳代・60歳代の満足度が低い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (1 6) 「高齢者が自立していきいきと暮らしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回の 34%から今回の 37%に 3%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

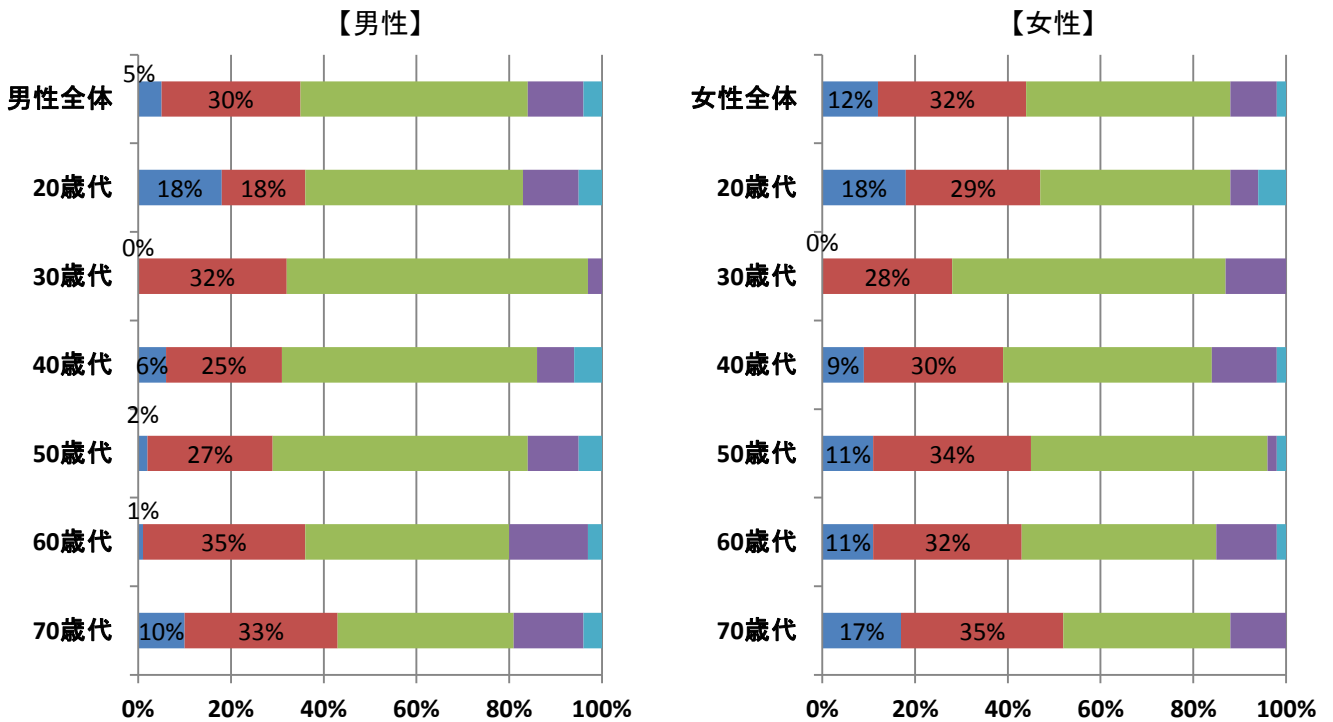
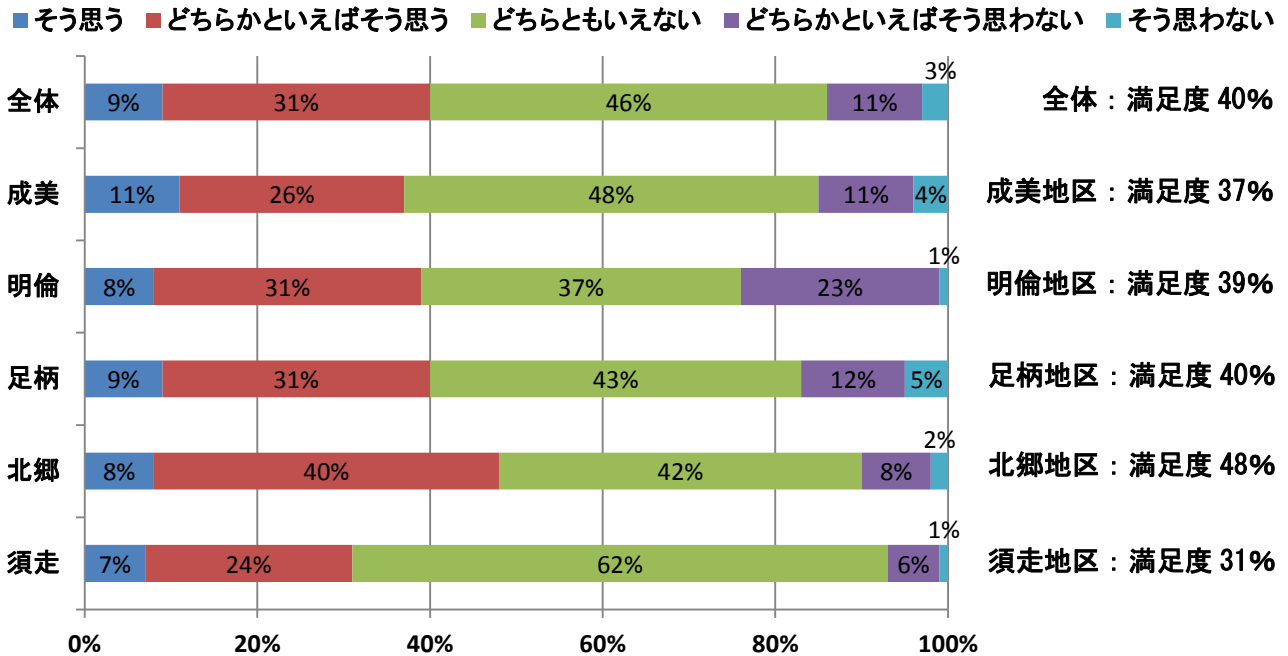


地区別の比較では、成美地区と明倫地区の満足度はやや低く、足柄地区と北郷地区の満足度はやや高めとなっています。男女（年齢）別の比較では、特に男性は 60 歳代にかけて段階的に満足度が減少し、70 歳代で上昇するという傾向を示すグラフ構成となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (1 7) 「介護が必要な状態になった場合、適切な公的サービスを受けることができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40%

上記の値は、前回の38%から今回の40%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

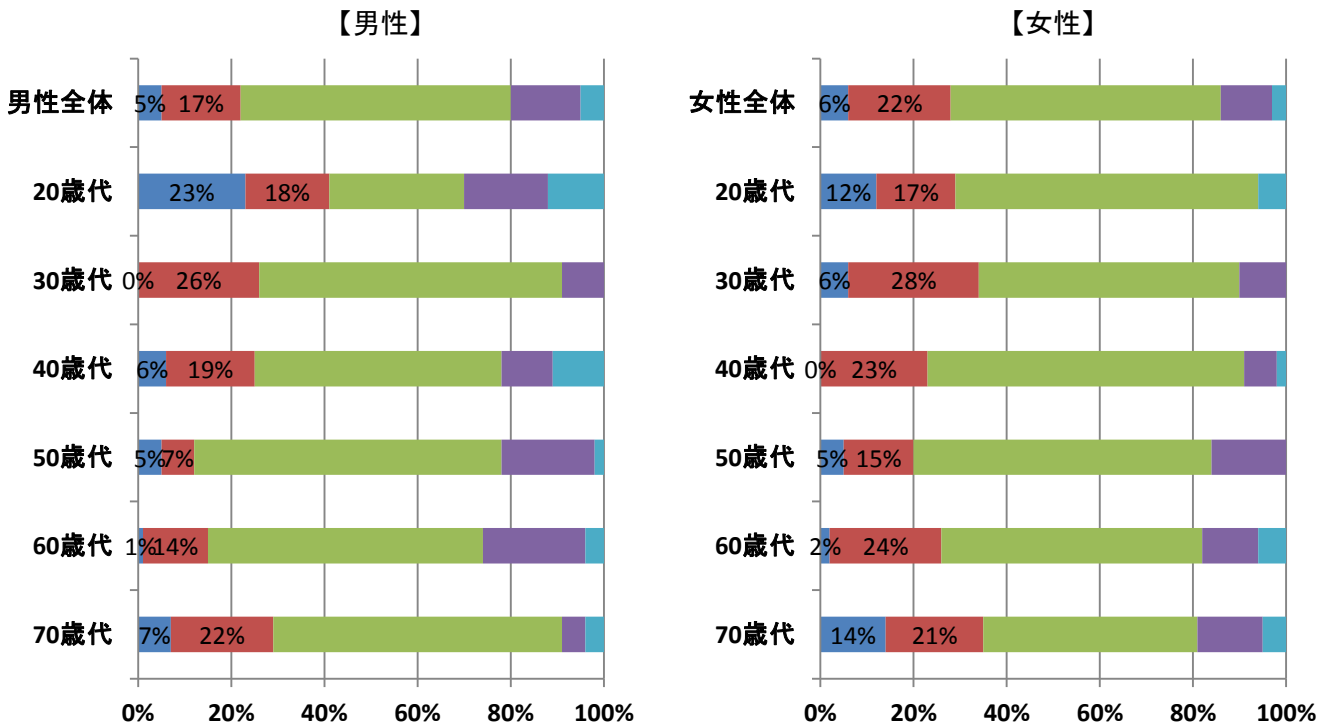
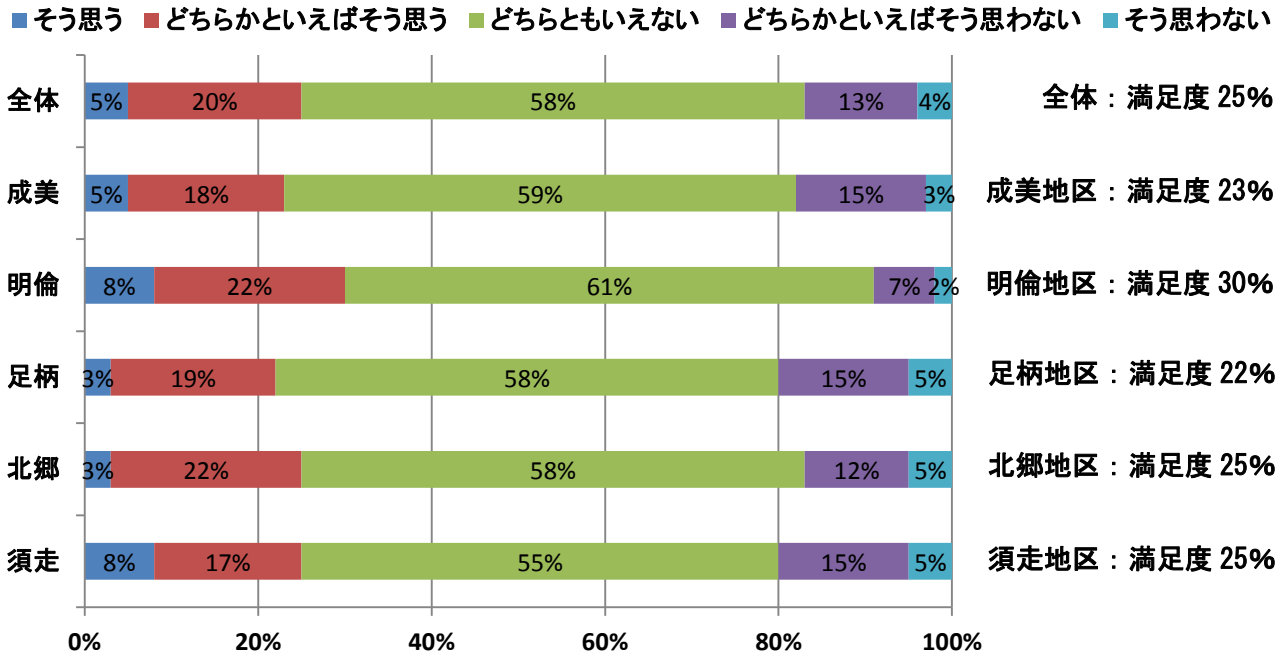


地区別の比較では、北郷地区の満足度が高く、須走地区は低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。

問8－(18) 「障がいのある人が社会参加し、自立している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 25%

上記の値は、前回の27%から今回の25%に2%減少しています。全体、地区別及び男女(年齢)別の結果は、以下のグラフのとおりです。

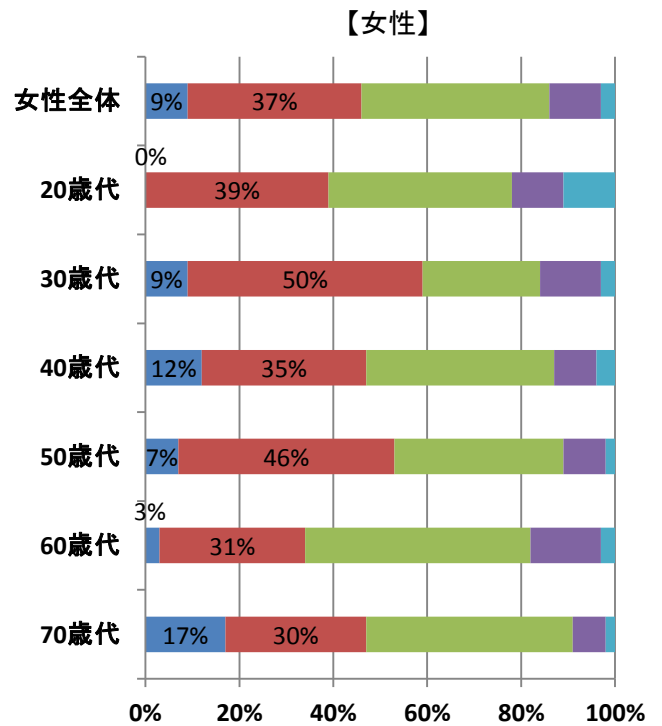
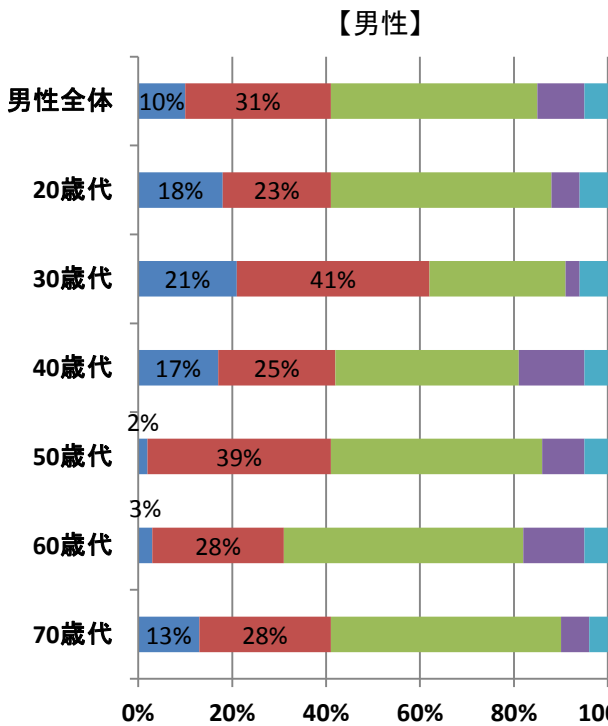
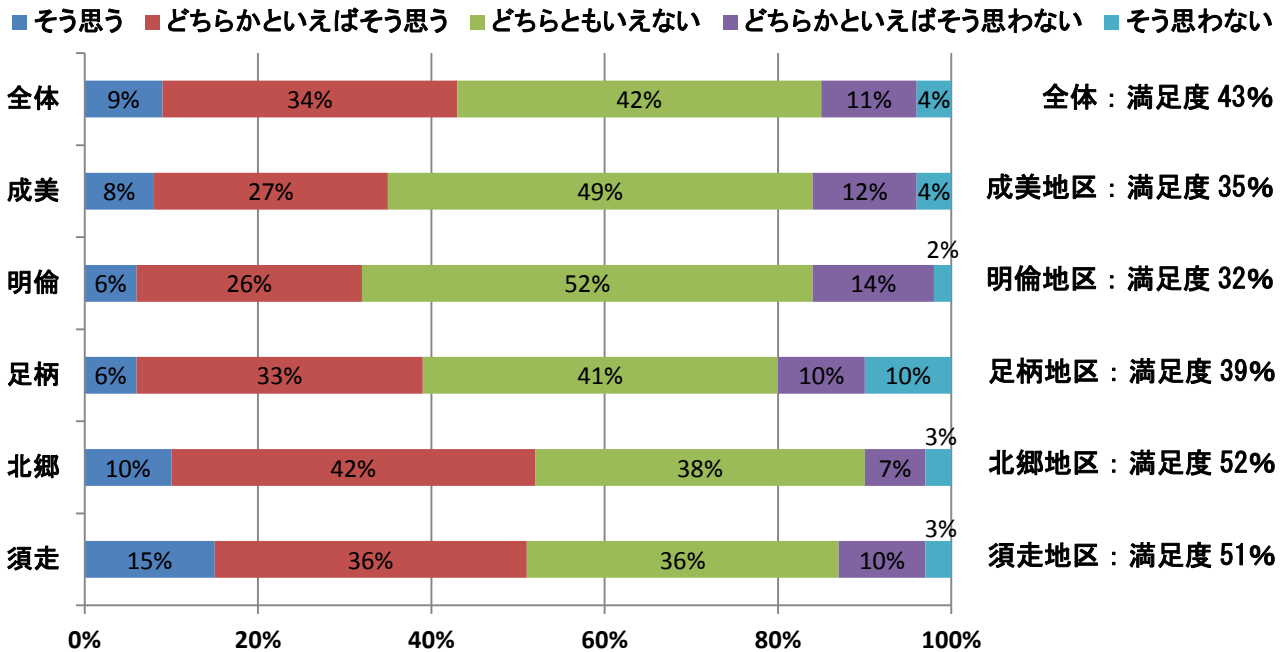


地区別の比較では、全体的に満足度は低いですが、その中でも明倫地区の満足度は、他の4地区と比べて多少高い結果となっています。男女(年齢)別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっていますが、男性よりも女性の方が満足度はやや高めです。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(19) 「安心して子どもを育てる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の44%から今回の43%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

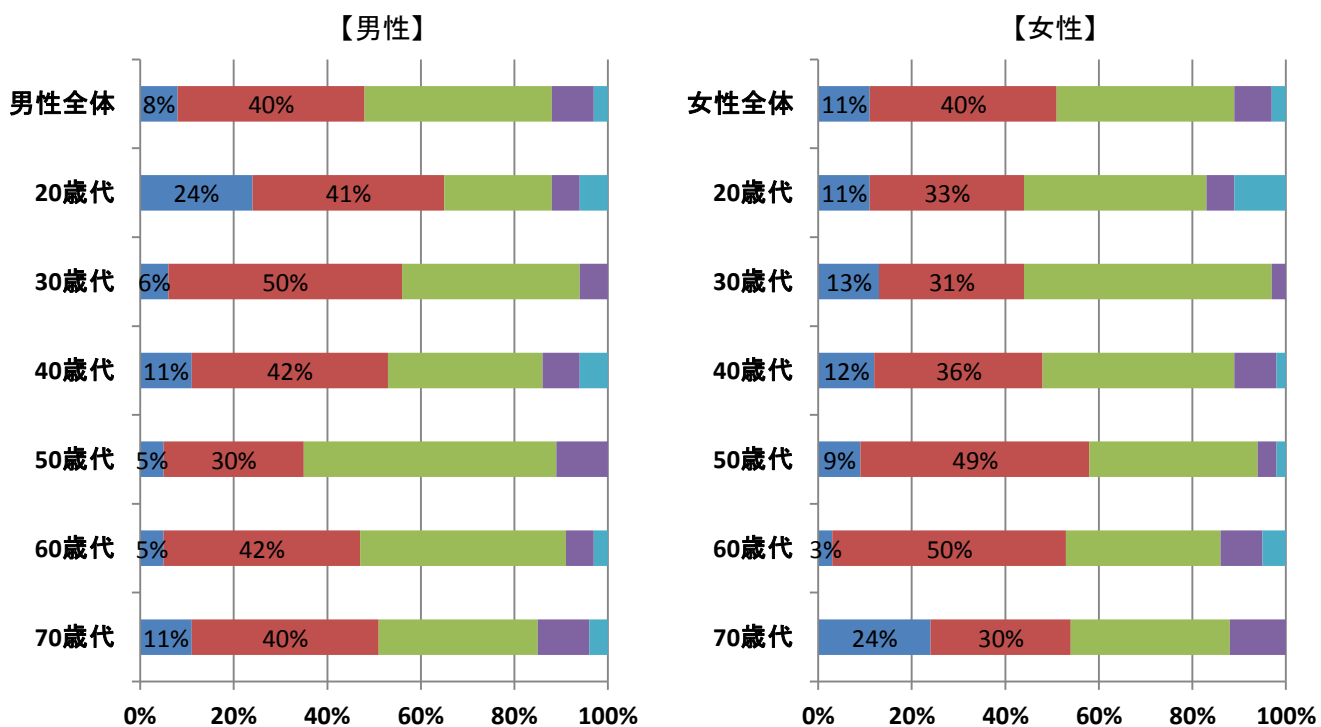
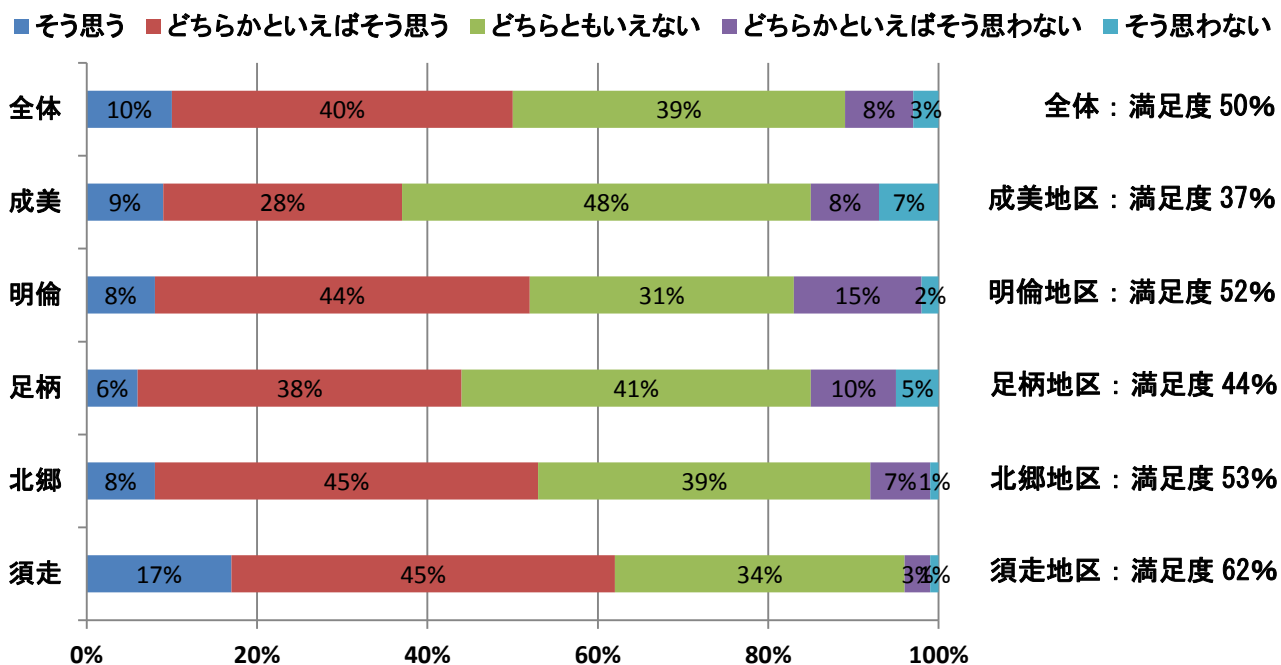


地区別の比較では、北郷地区と須走地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の満足度の方が多少高い傾向にあり、また、男女ともに30歳代の満足度が高い傾向にあります。

問8－(20) 「地域に安心できる防災の仕組みがある」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 50%

上記の値は、前回の53%から今回の50%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

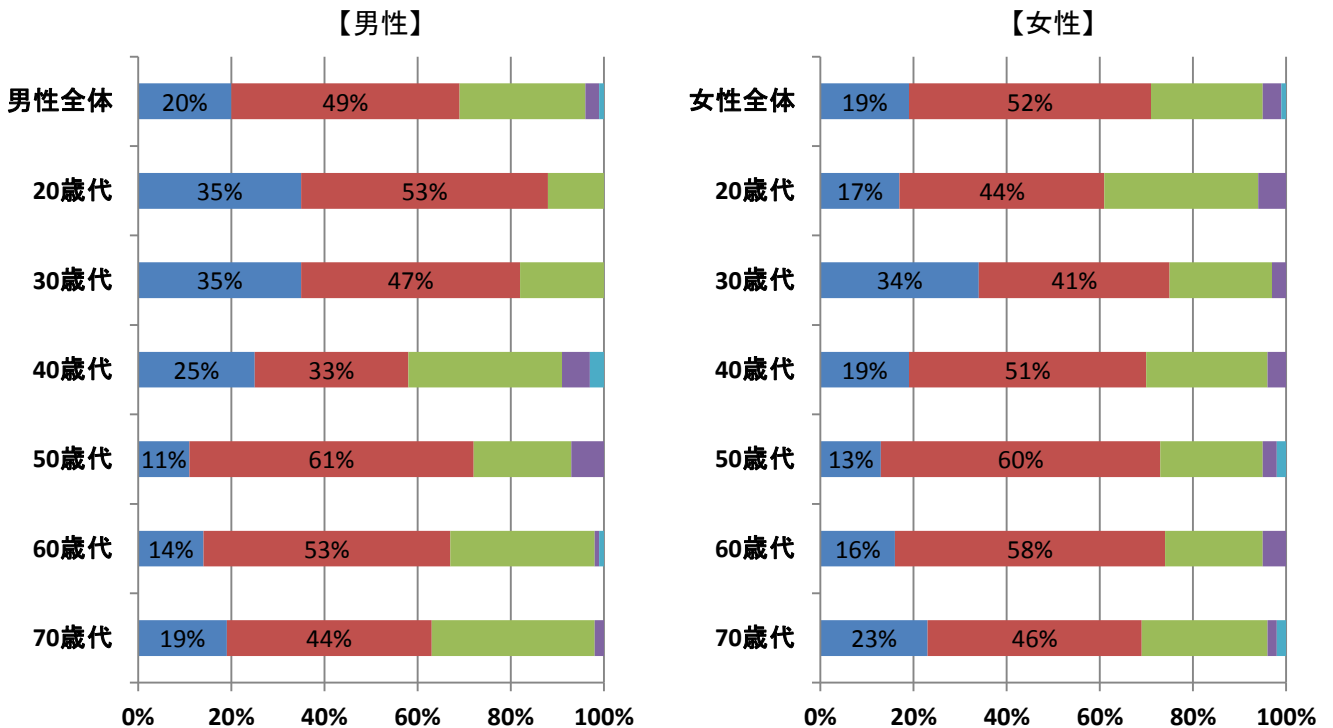
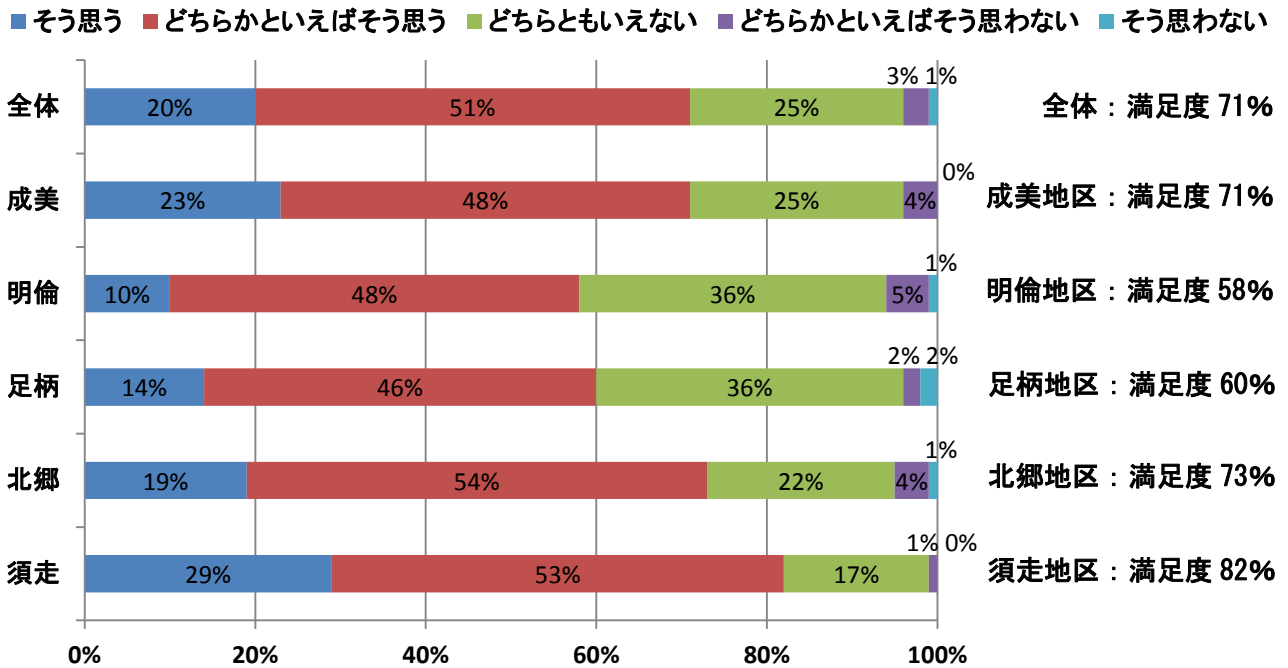


地区別の比較では、成美地区の満足度が低く、須走地区の満足度は非常に高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較はかなり対照的で、男性は若い世代で満足度が高い傾向にあるのに対し、女性は中高年の方が、満足度は高い傾向となっています。

問 8 - (2 1) 「交通事故や犯罪が少なく、安全で安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 71%

上記の値は、前回調査時と同様の 71%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



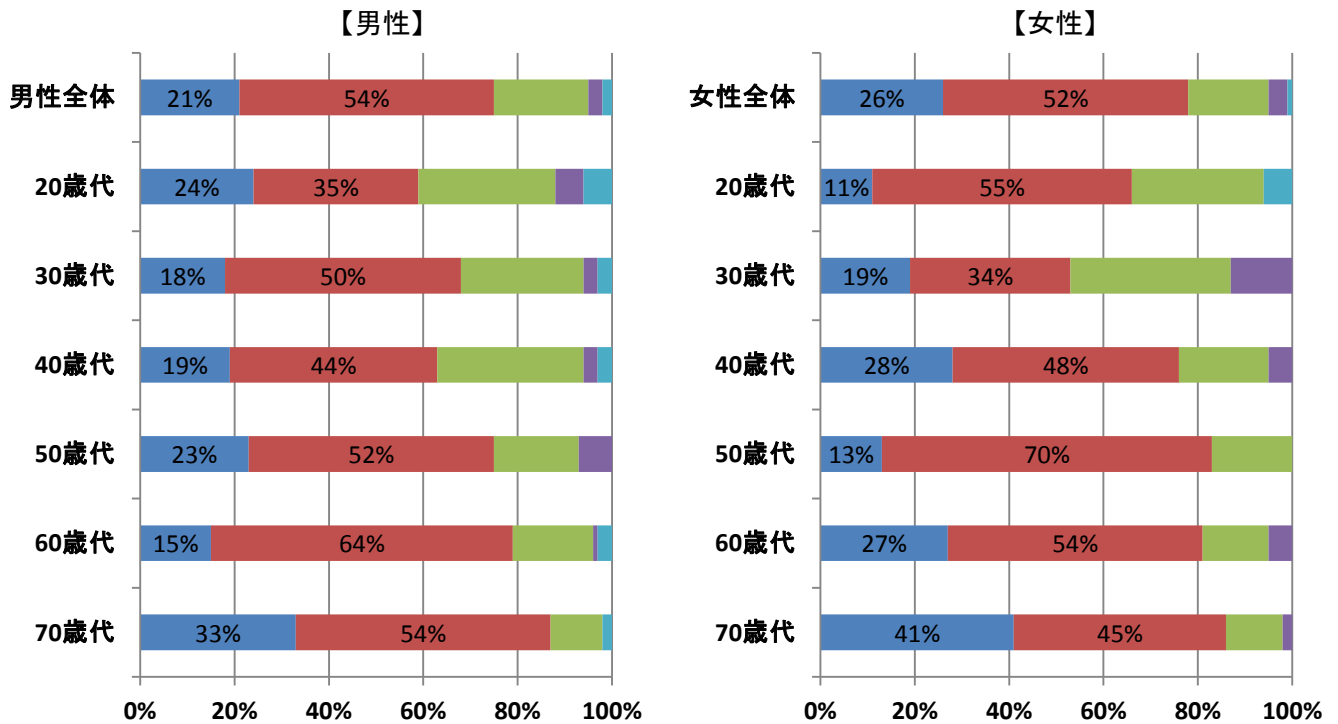
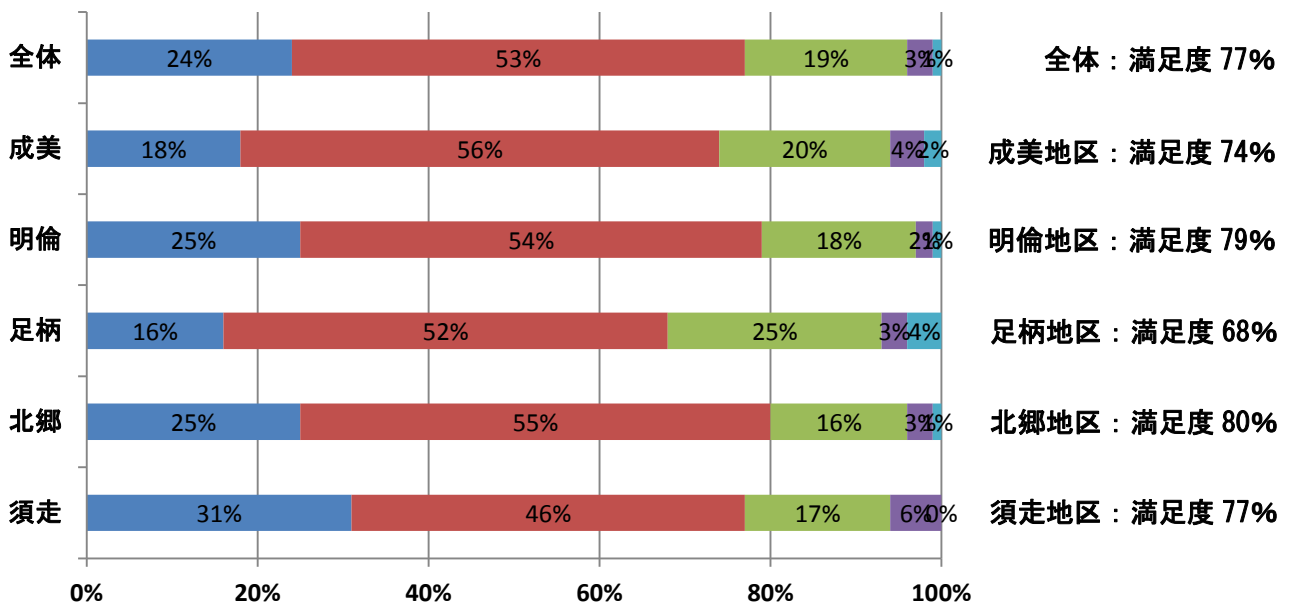
地区別の比較では、明倫地区の満足度がやや低く、須走地区の満足度が非常に高いという結果になっています。また、すべての比較において、「どちらかといえばそう思う」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(22) 「消防・救急体制が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 77%

上記の値は、前回調査時と同様の77%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

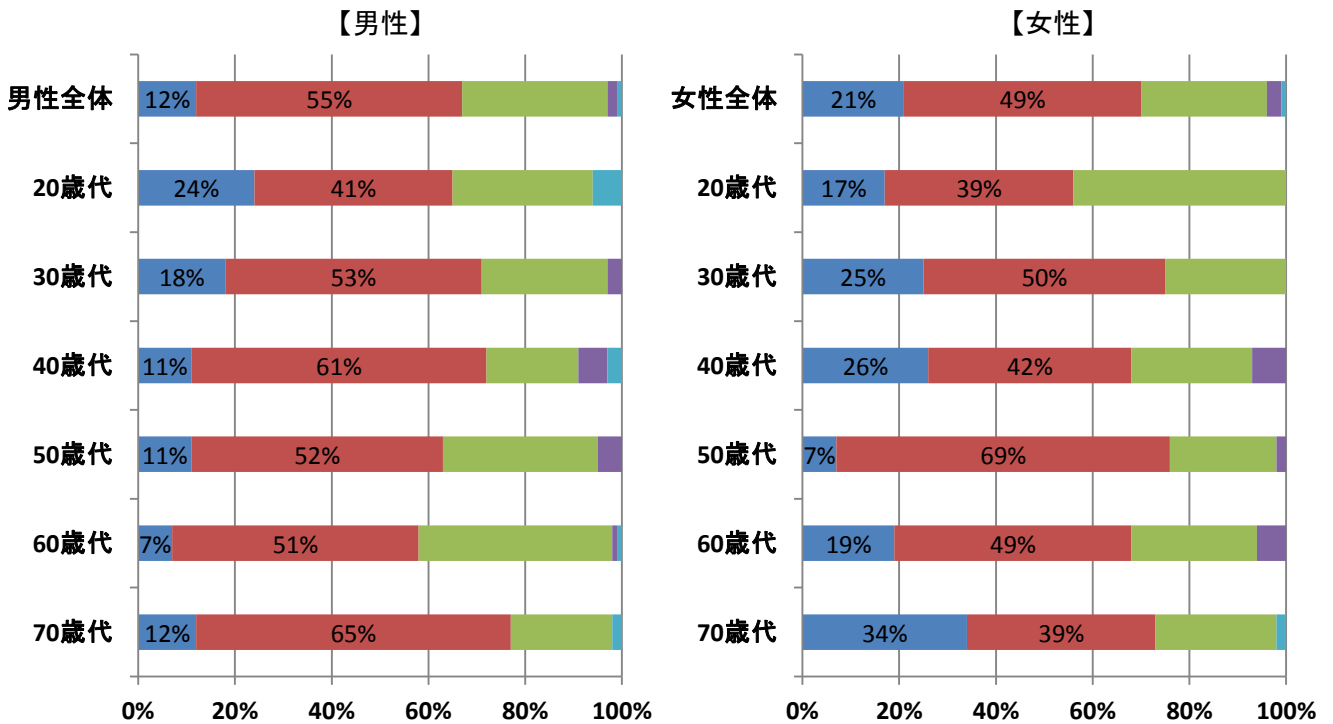
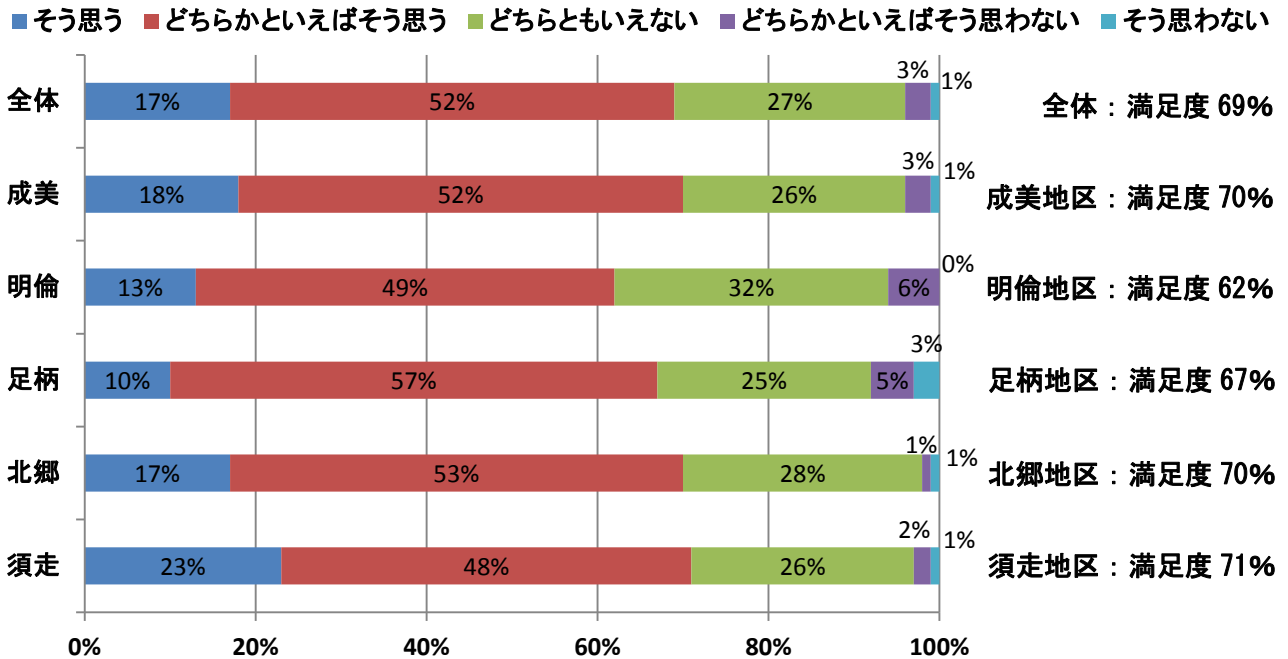


地区別の比較では、足柄地区の満足度が多少低いですが、その他の地区では80%弱の高い満足度を維持しています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに50歳代以上の町民の満足度が高い傾向となっています。

問8－(23) 「消費生活のトラブルが少なく、安心して生活ができる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 69%

上記の値は、前回調査時と同様の69%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

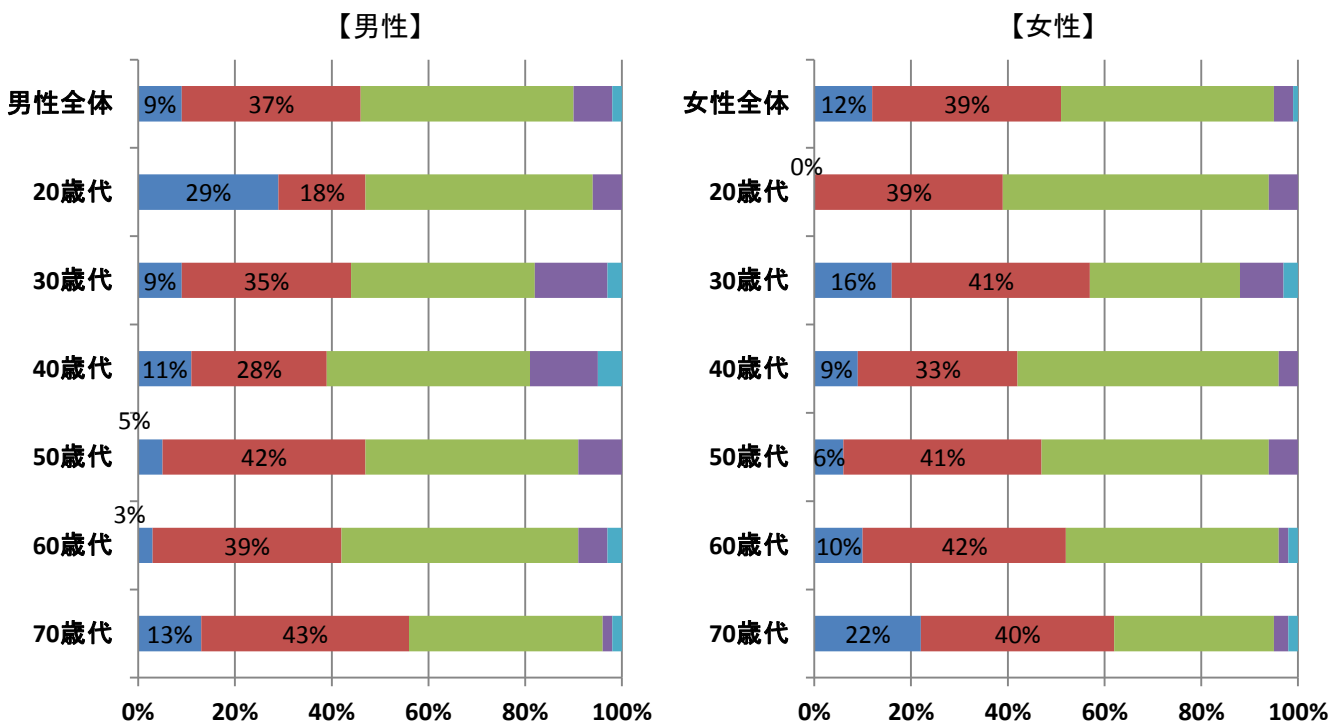
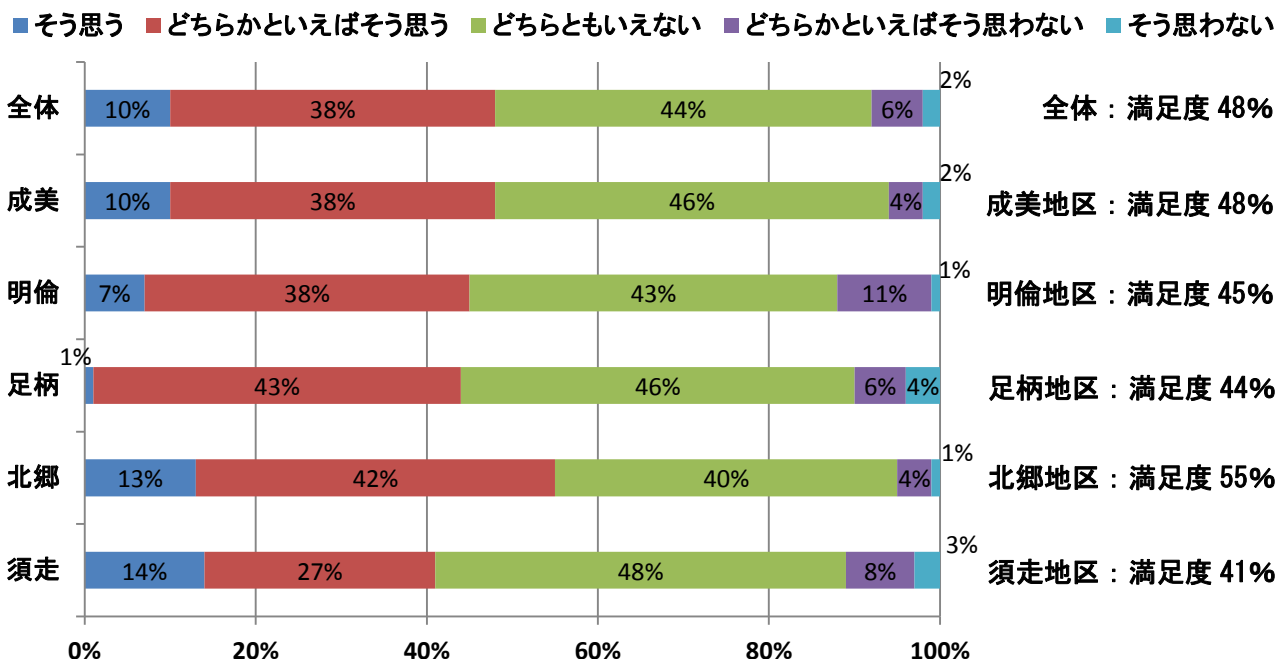


地区別の比較では、明倫地区の満足度がやや低めですが、他の4地区の満足度は概ね70%前後という結果になっています。男女（年齢）別の比較でも、60%～80%程度の高い満足度となっています。

問8－(24) 「生涯学習活動の機会や場が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

上記の値は、前回の49%から今回の48%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

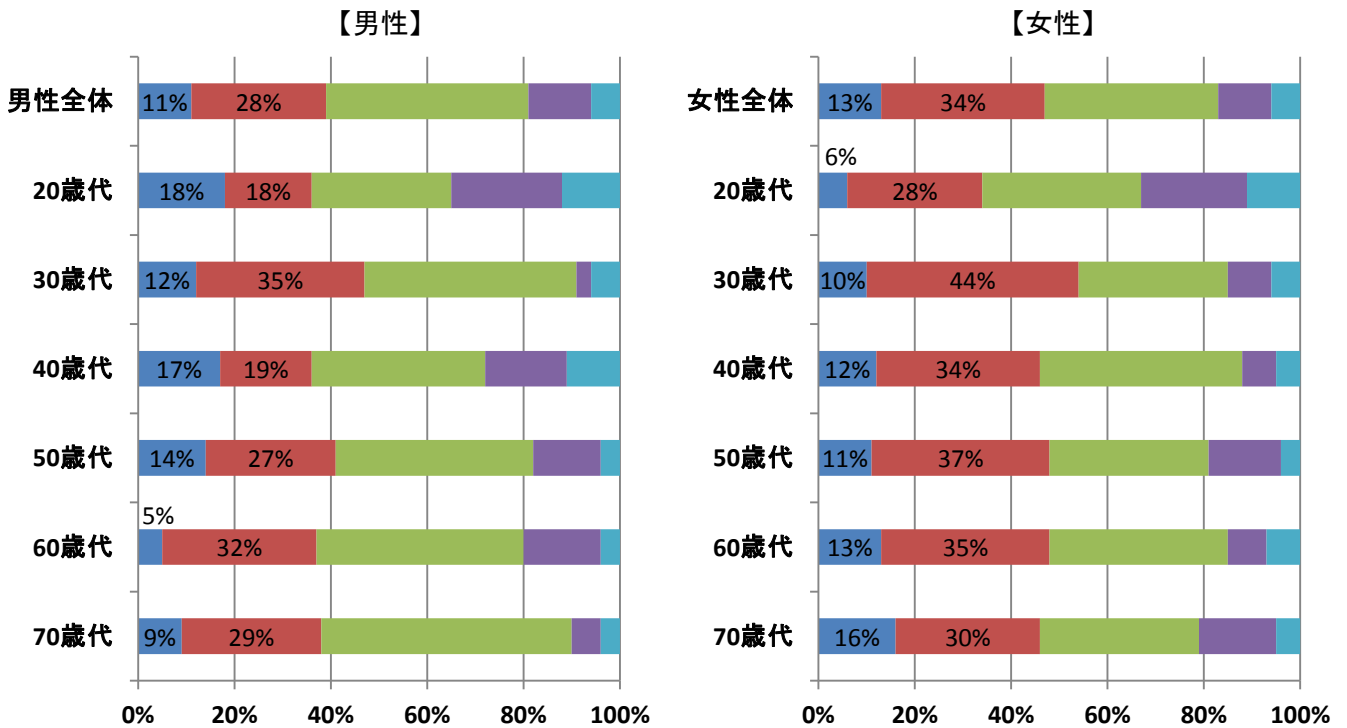
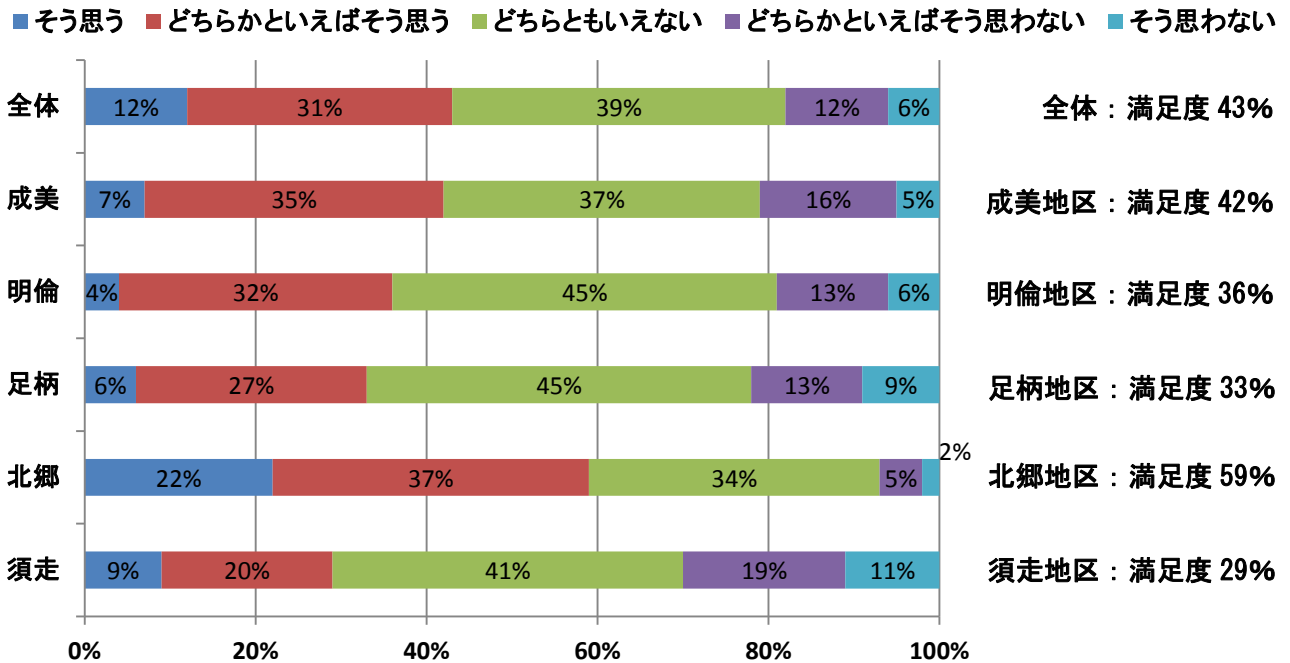


地区別の比較では、北郷地区の満足度がやや高く、須走地区の満足度がやや低い結果となっています。また、足柄地区において「そう思う」と回答する人が非常に少ない事が目立ちます。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。

問8－(25) 「図書館が便利で使いやすい」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 43%

上記の値は、前回の42%から今回の43%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

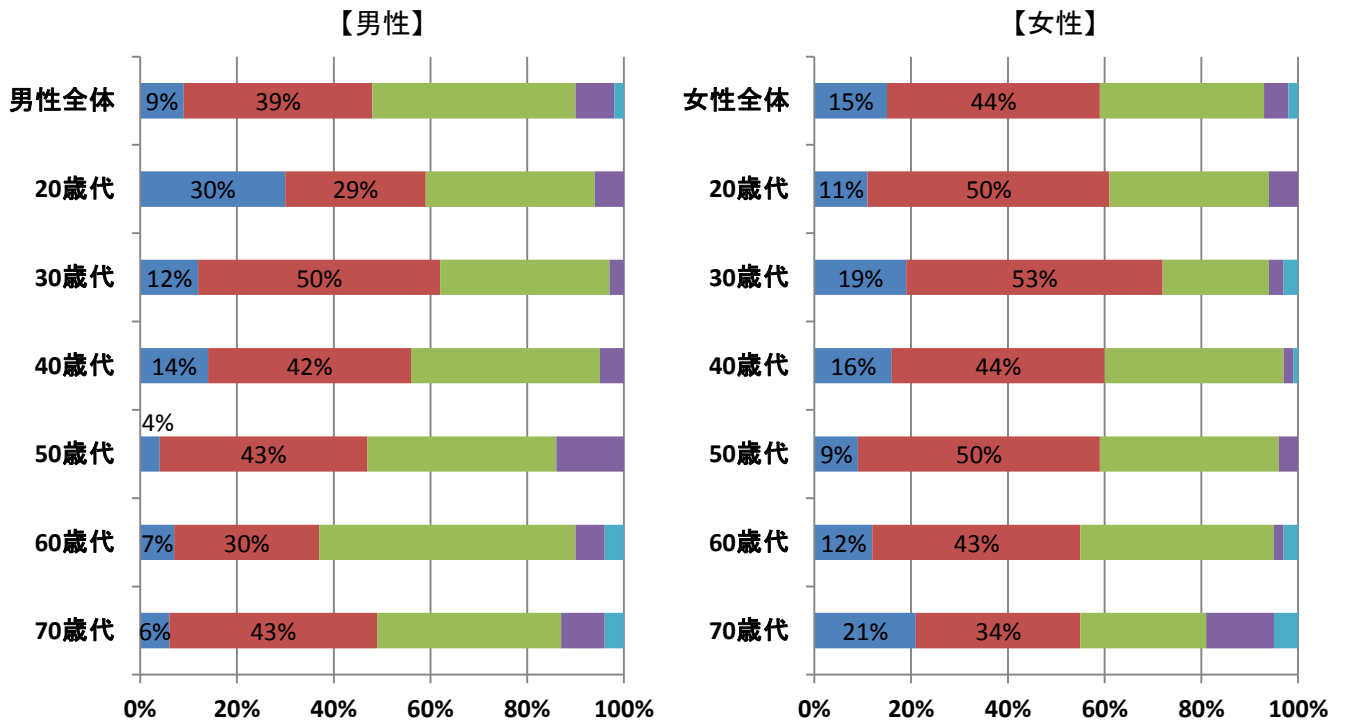
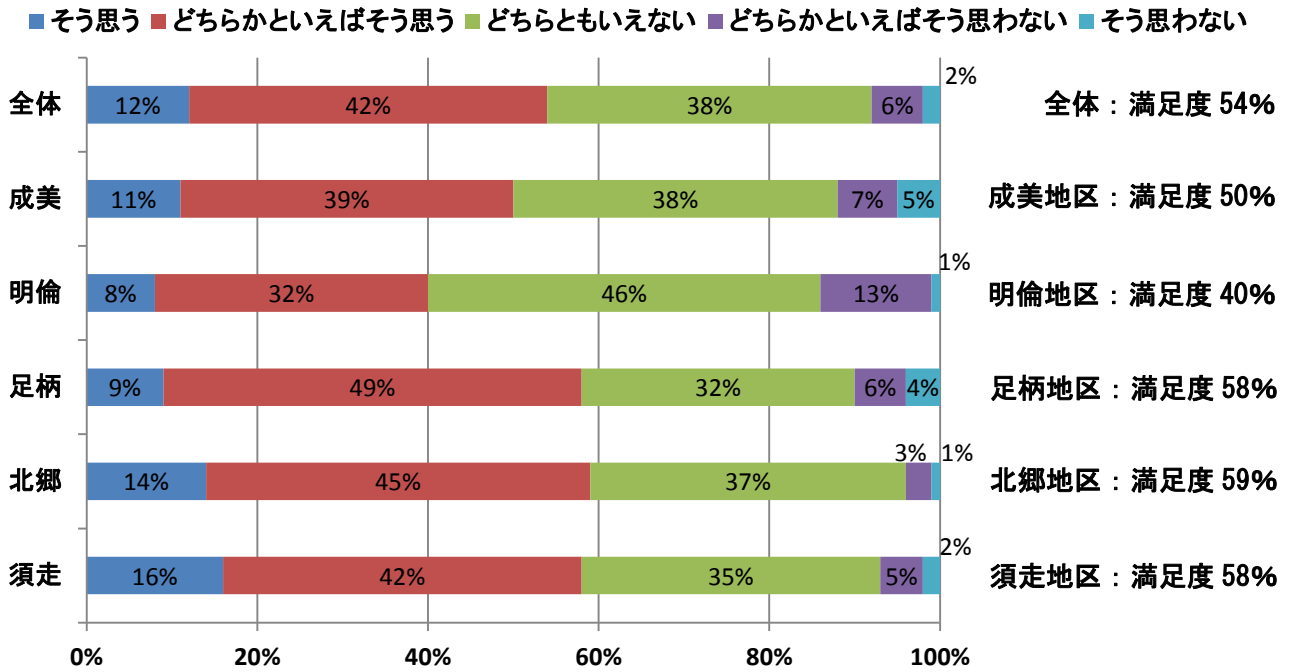


地区別の比較では、他の4地区に比べ北郷地区の満足度が非常に高い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。

問8－(26) 「伝統文化や郷土を大切にしている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 54%

上記の値は、前回調査時と同様の54%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

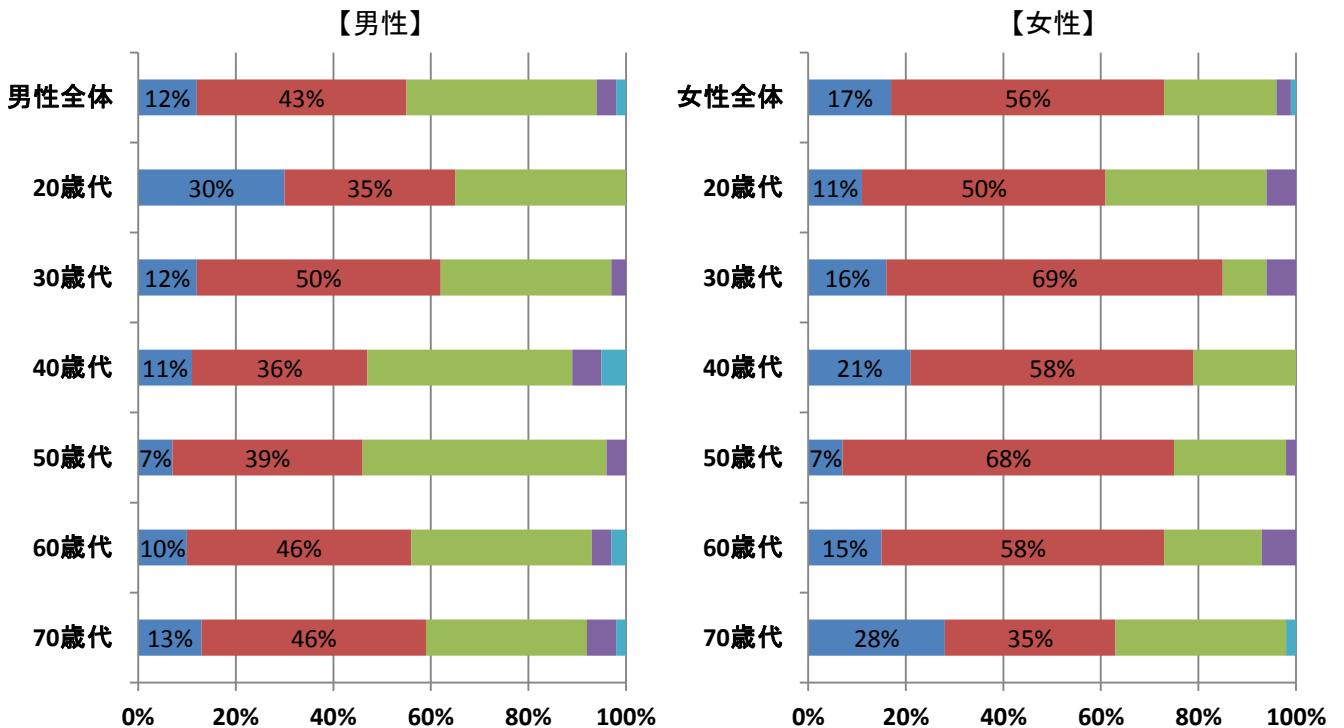
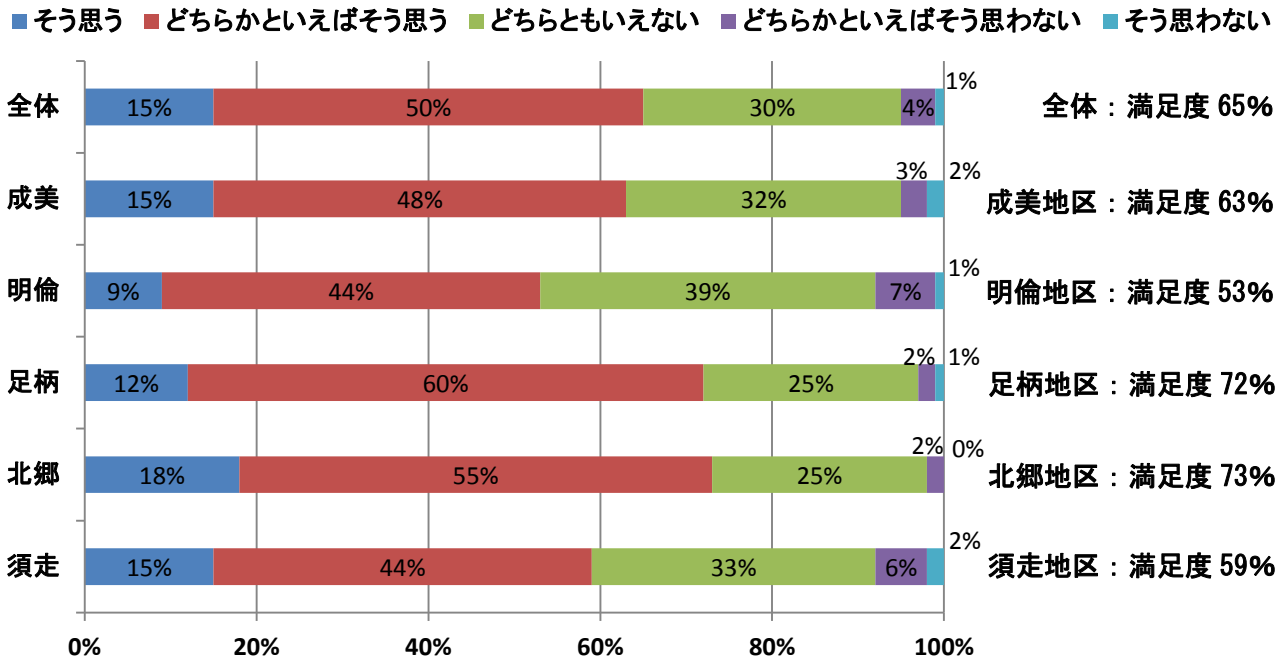


地区別の比較では、足柄地区・北郷地区・須走地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっています。また、男性よりも女性の方が、満足度はやや高い傾向にあるといえます。

問 8 - (2 7) 「次世代を担う子どもたちが健やかに成長している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 65%

上記の値は、前回調査時と同様の 65%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

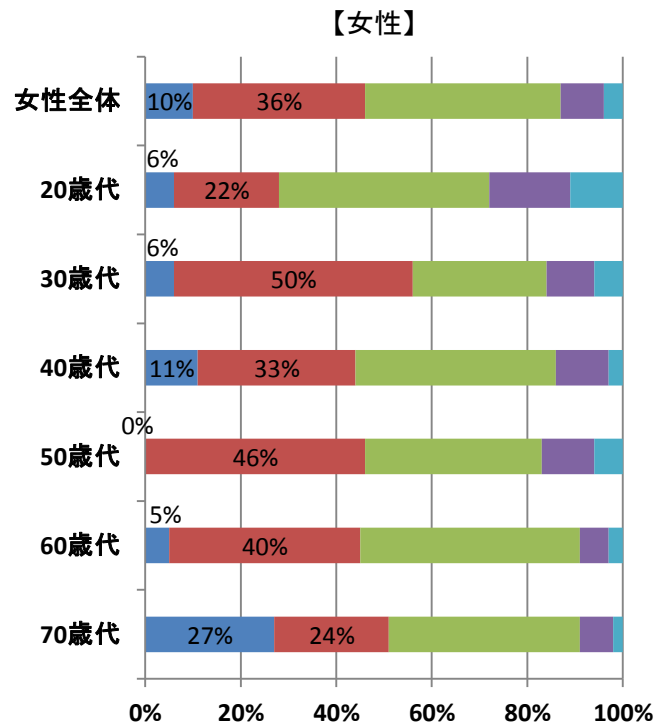
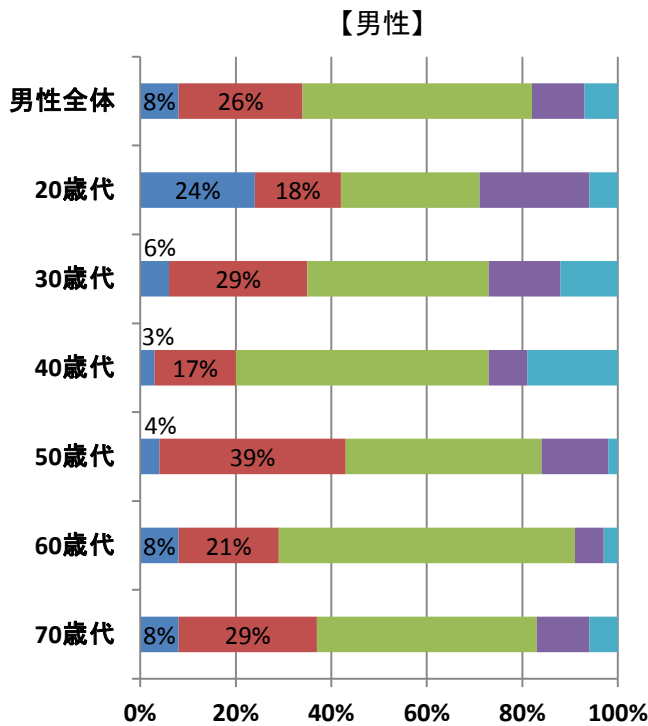
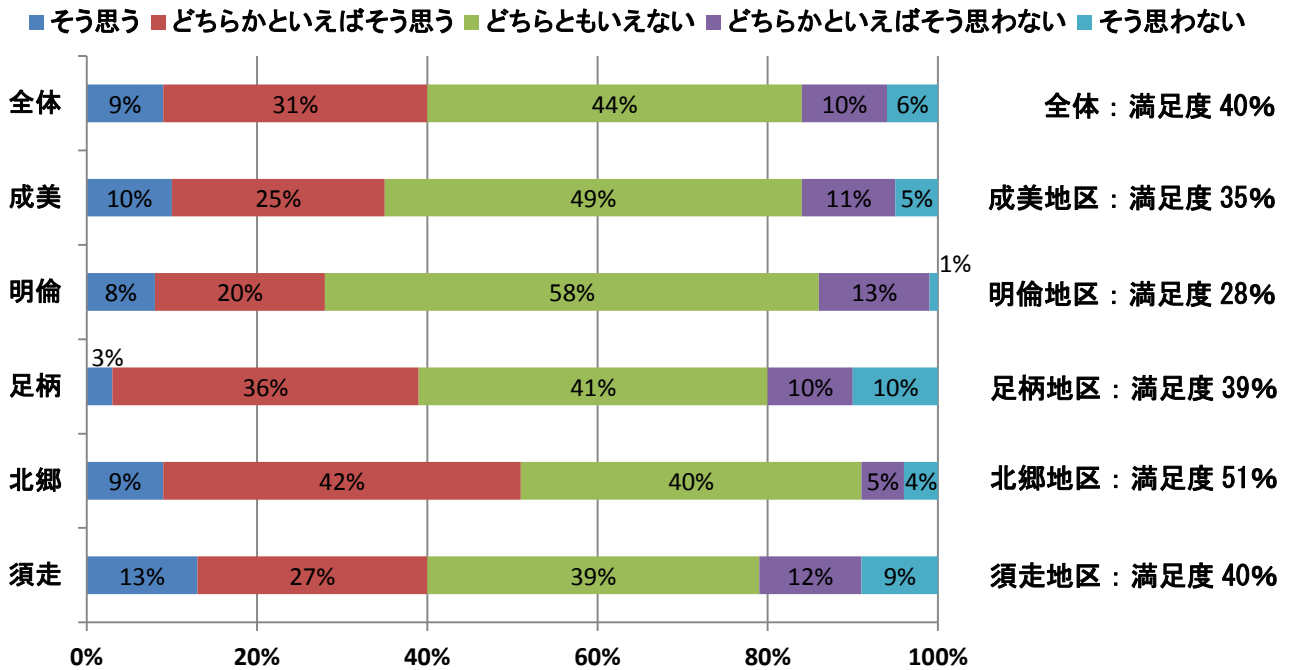


地区別の比較では、足柄地区と北郷地区の満足度が高く、明倫地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性に比べ女性の満足度がかなり高い結果となっています。特に 30 歳代及び 40 歳代女性の満足度は共に 80%前後であり、非常に高い満足度を示しているといえます。

問 8 - (2 8) 「みんなが気軽にスポーツを楽しめる環境が整っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 40%

上記の値は、前回の43%から今回の40%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

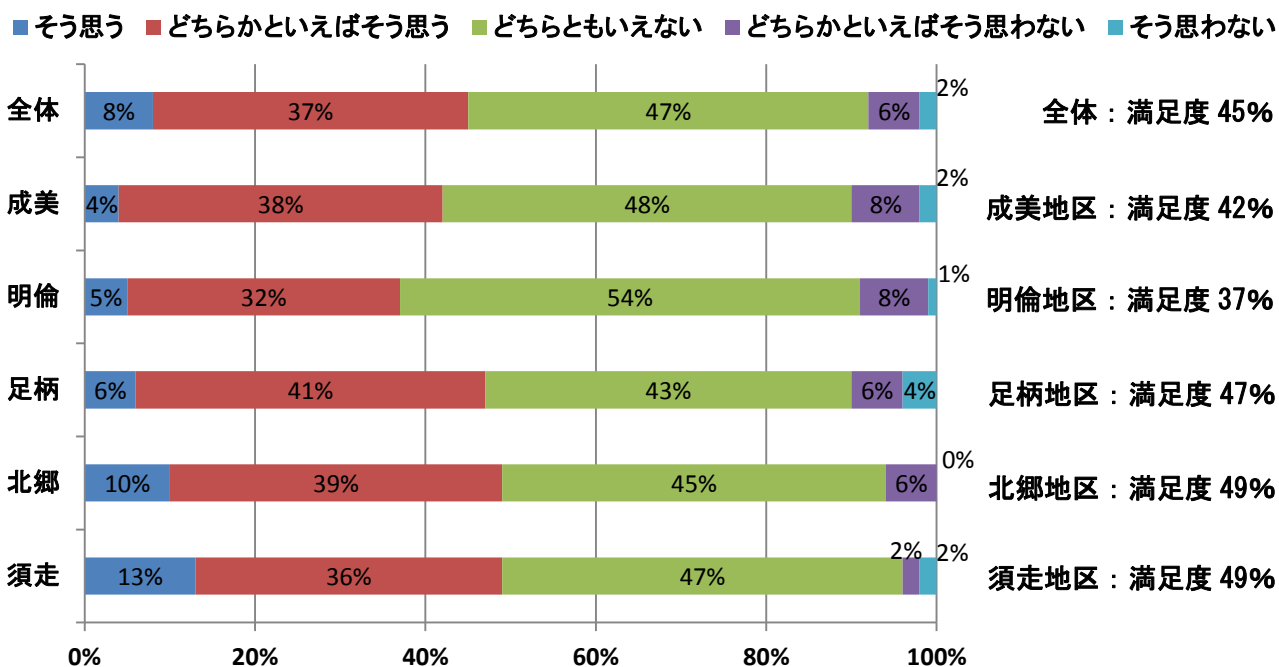


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、20歳代以外は、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあります。

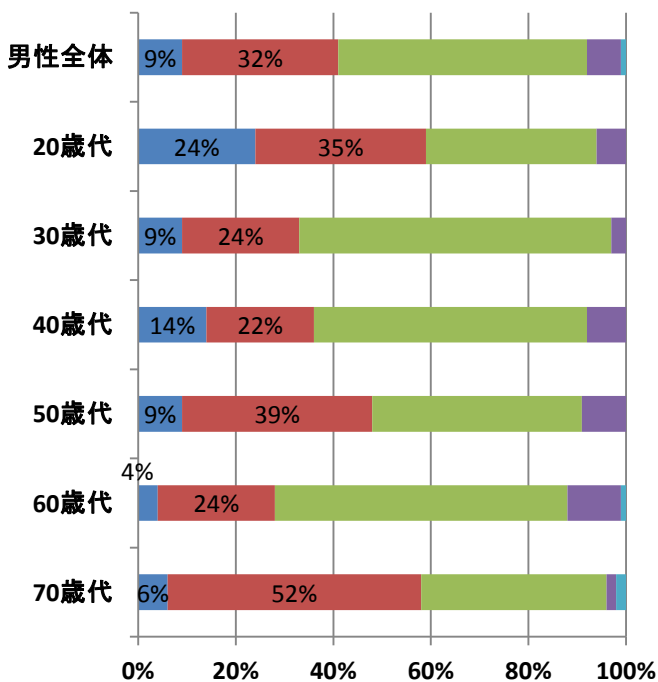
問8－(29) 「生きる力を育む学校教育が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 45%

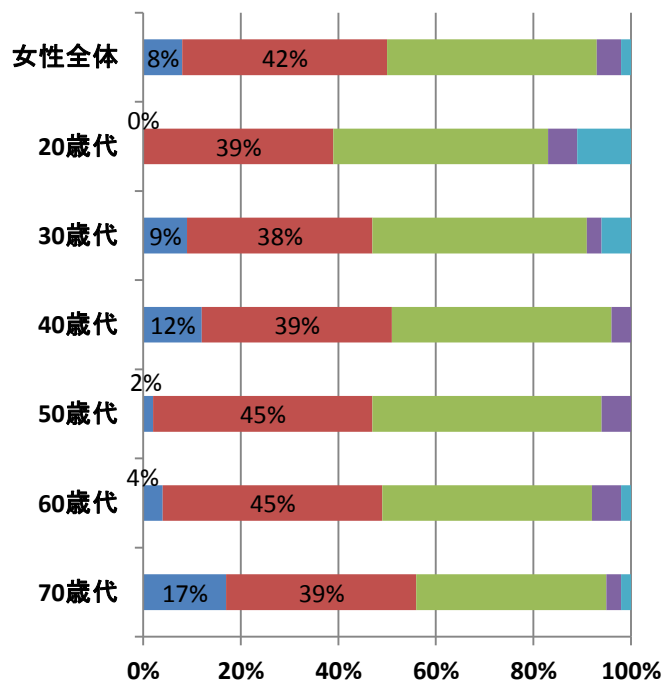
上記の値は、前回の44%から今回の45%に1%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

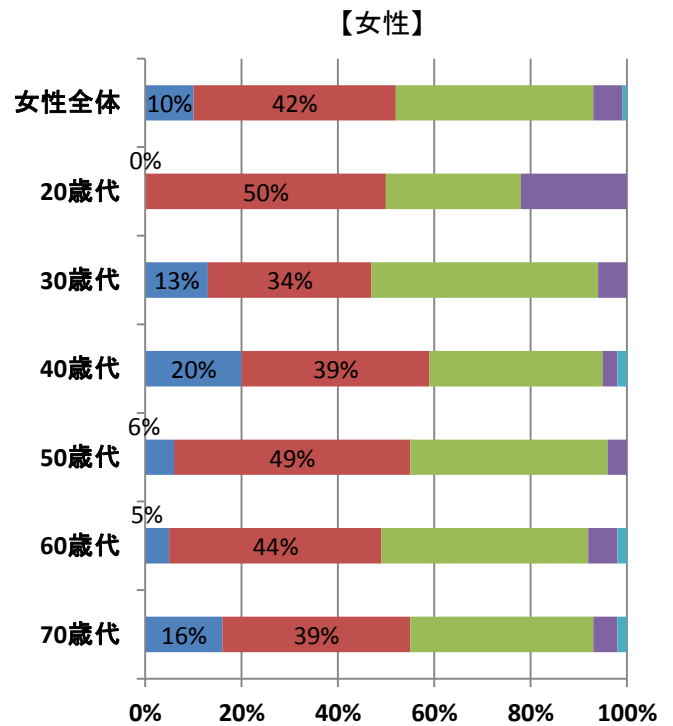
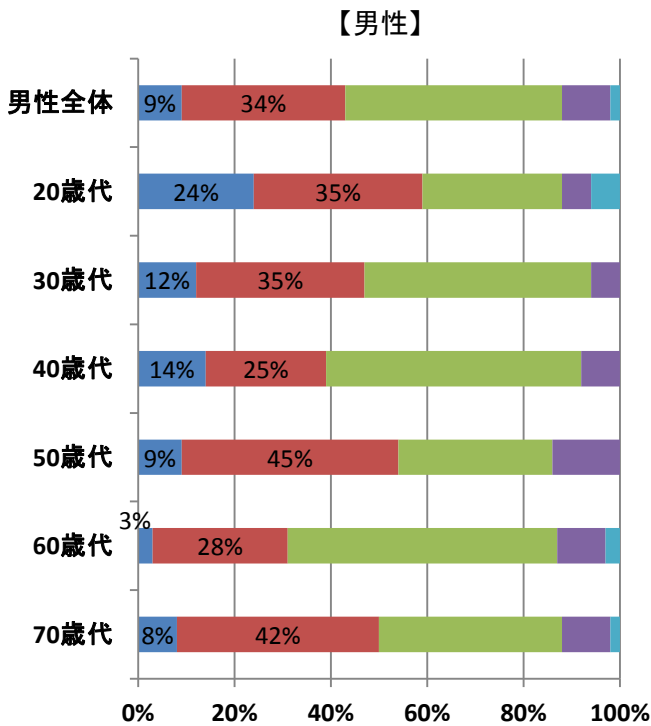
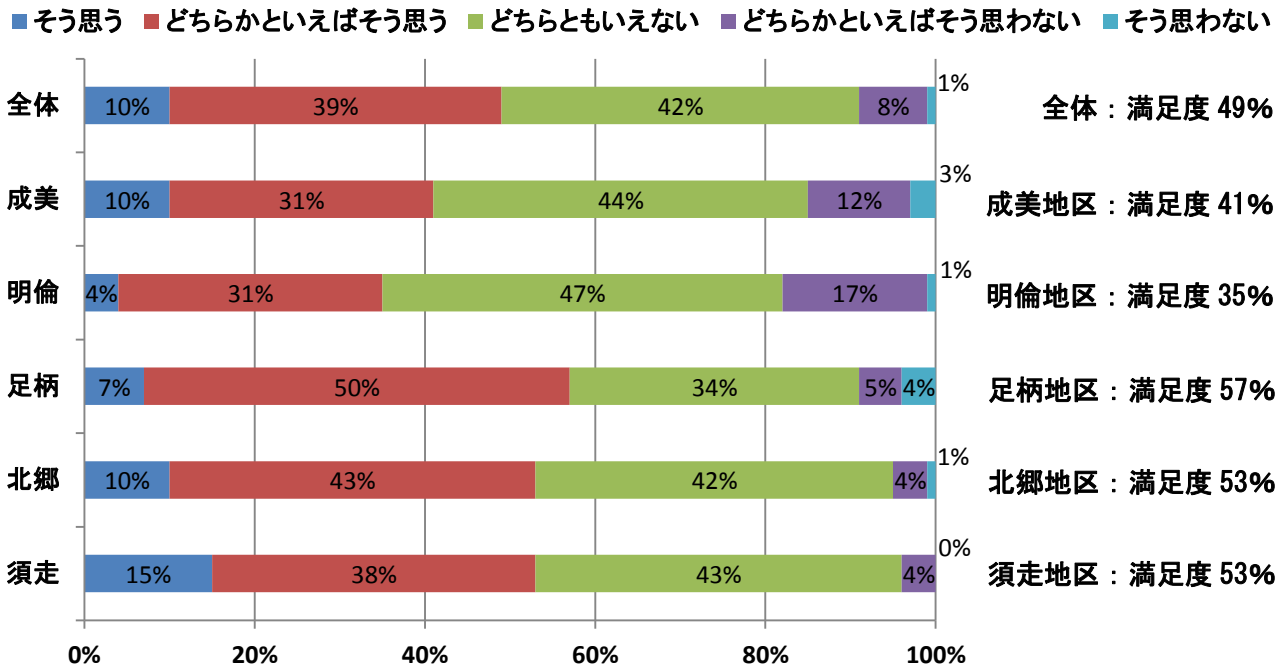


地区別の比較では、他の4地区に比べて、明倫地区の満足度がやや低いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(30) 「子どもの教育について、学校・家庭・地域の連携が取れている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 49%

上記の値は、前回の47%から今回の49%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

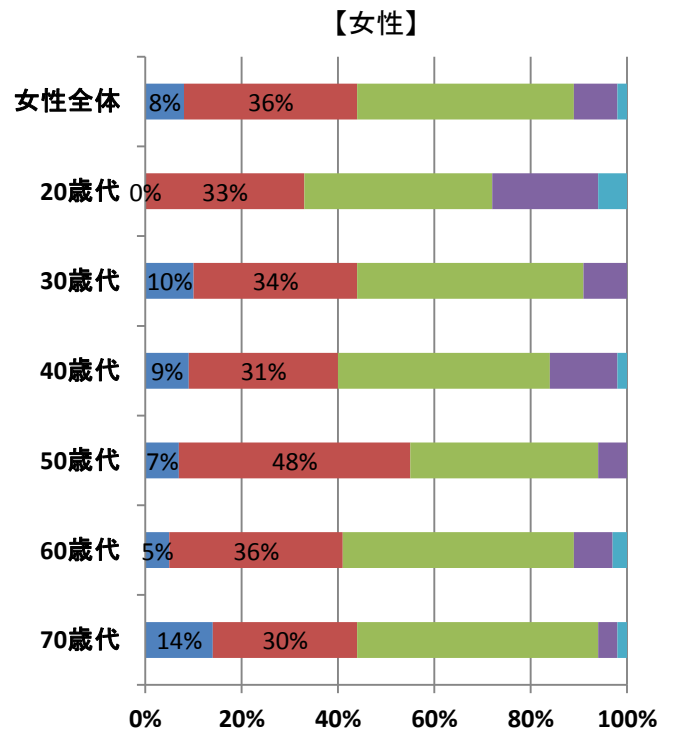
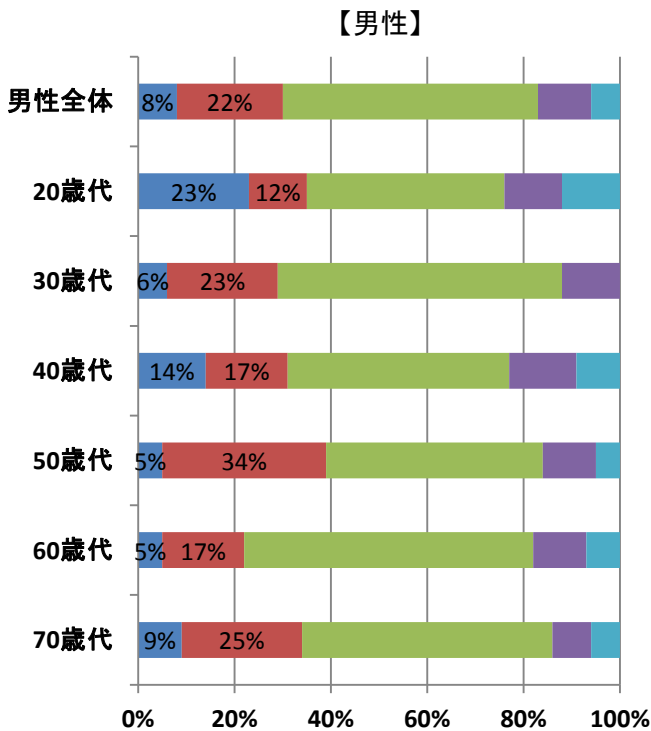
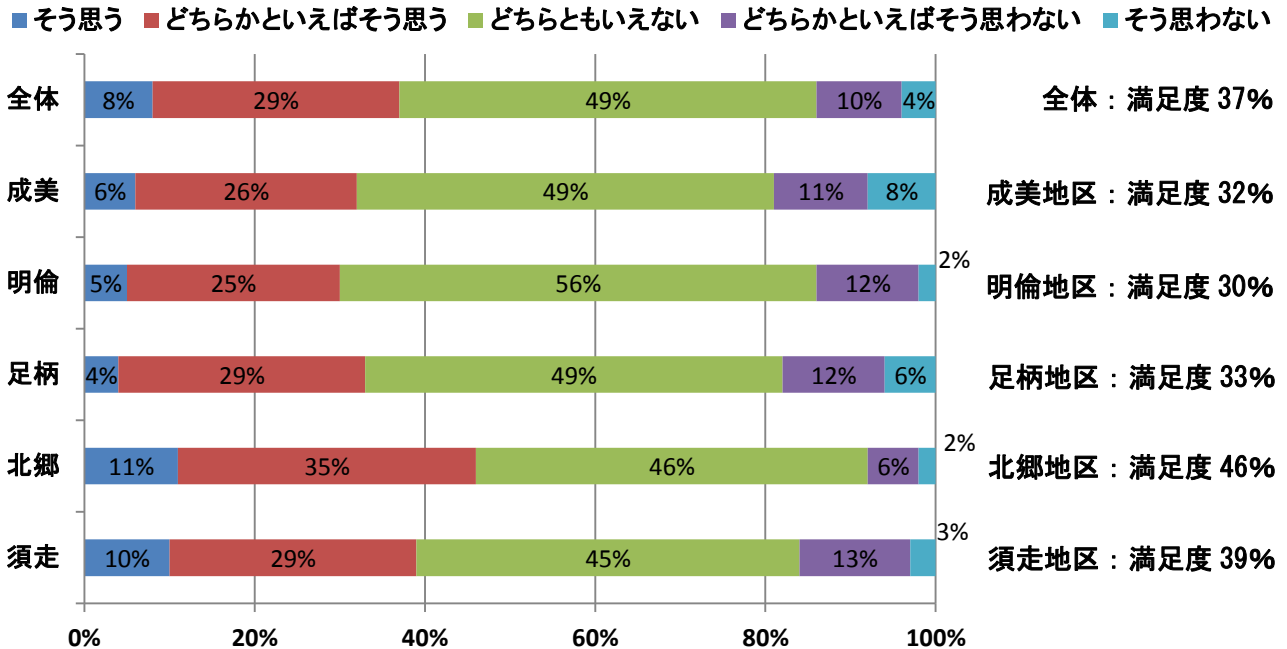


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、足柄地区の満足度がやや高い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にありますが、20歳代女性で「そう思う」を選択した人の割合は0%となっています。

問 8 - (3 1) 「地域間交流や国際交流が活発に行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回の 33%から今回の 37%に 4%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

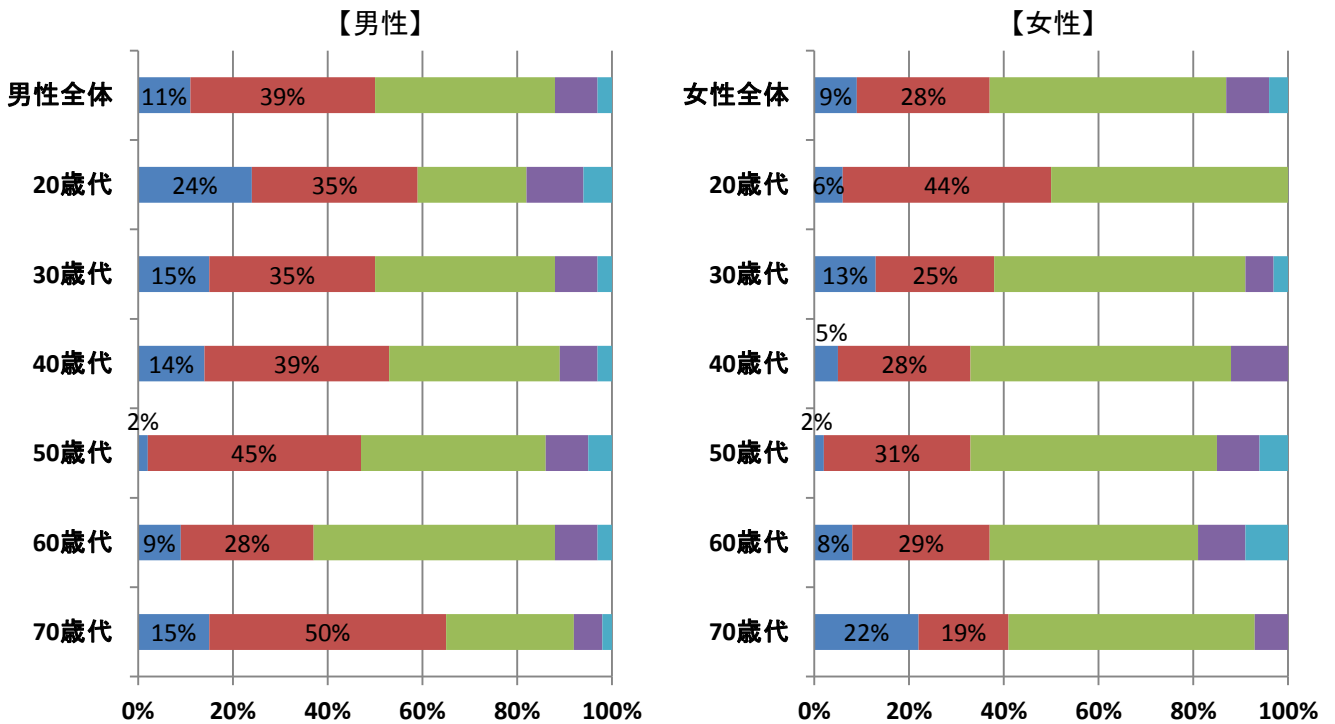
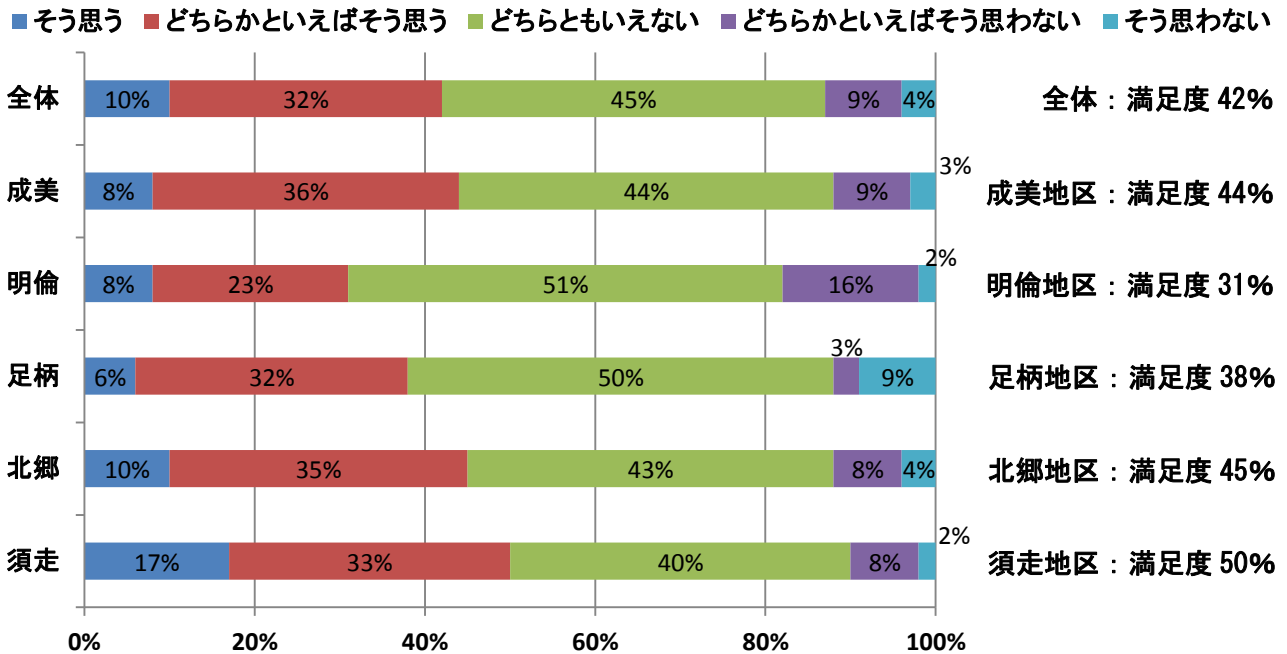


地区別の比較では、他の 4 地区に比べ、北郷地区の満足度がやや高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は高い傾向にあり、特に 50 歳代～70 歳代女性の満足度が高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(32) 「普段の生活の中で、男女が平等である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 42%

上記の値は、前回の46%から今回の42%に4%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

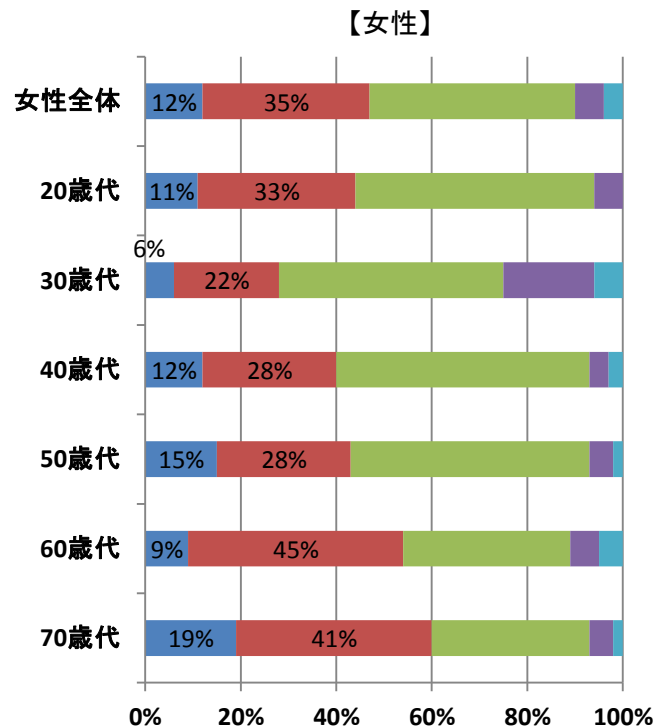
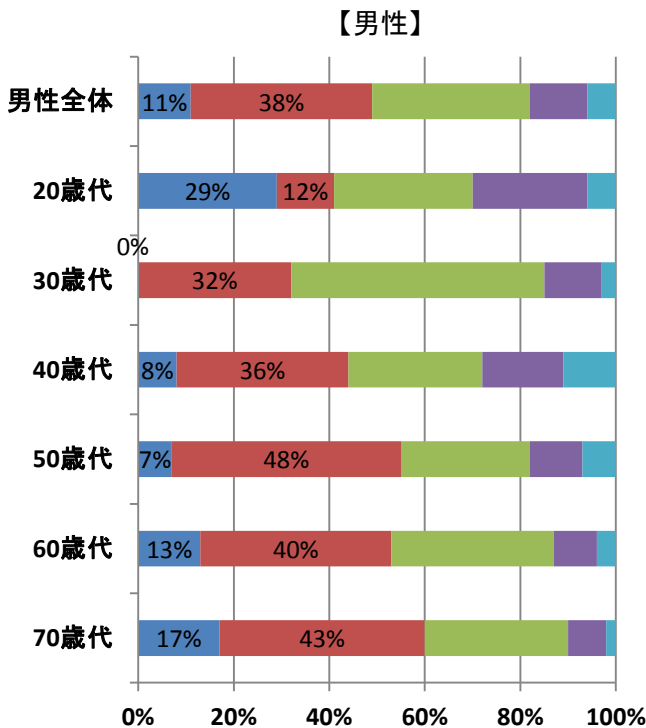
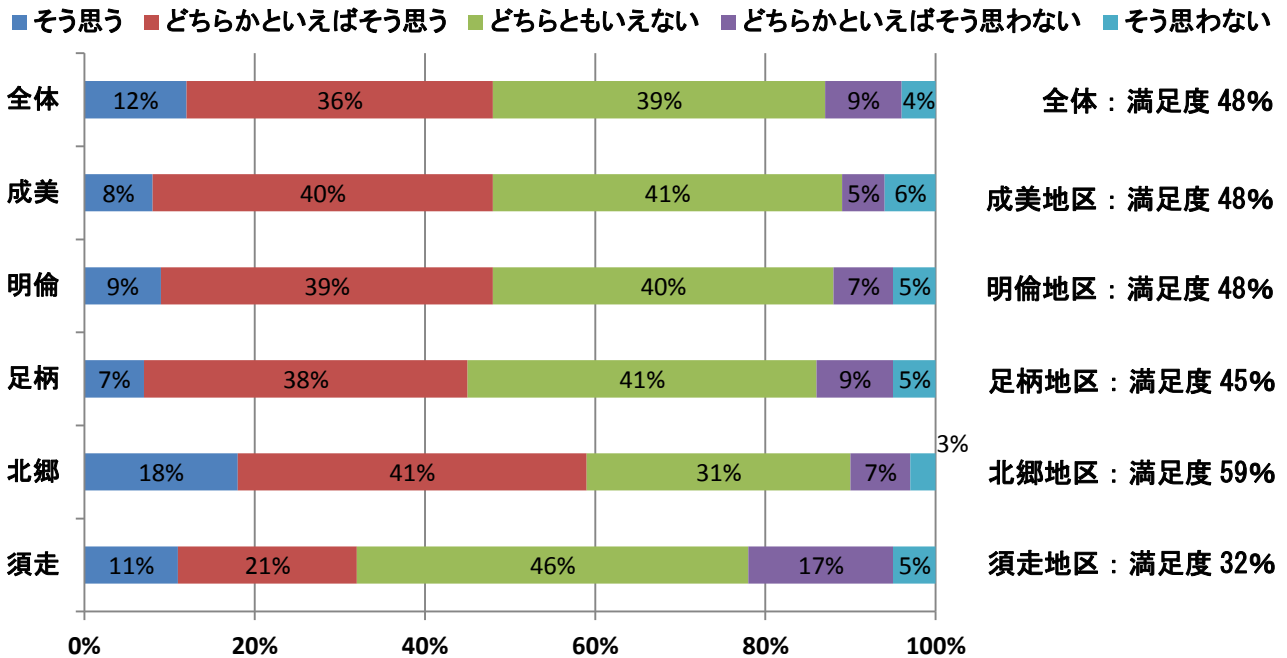


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、須走地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度は「低い」傾向にあります。また、女性においては、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(33) 「企業誘致を活発に進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 48%

上記の値は、前回の42%から今回の48%に6%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

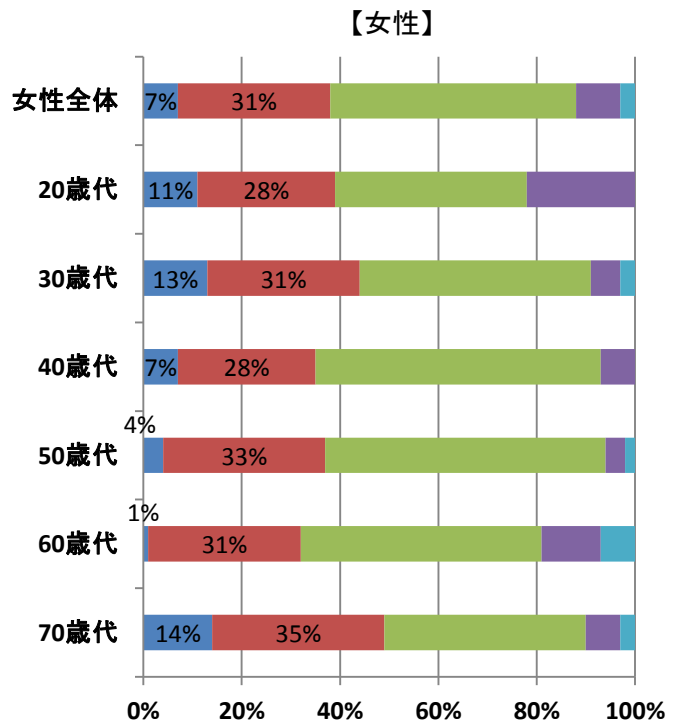
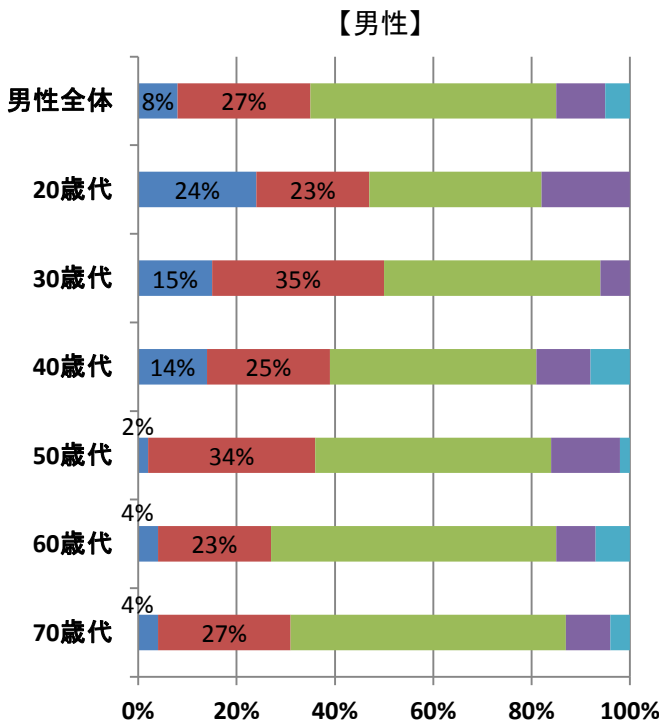
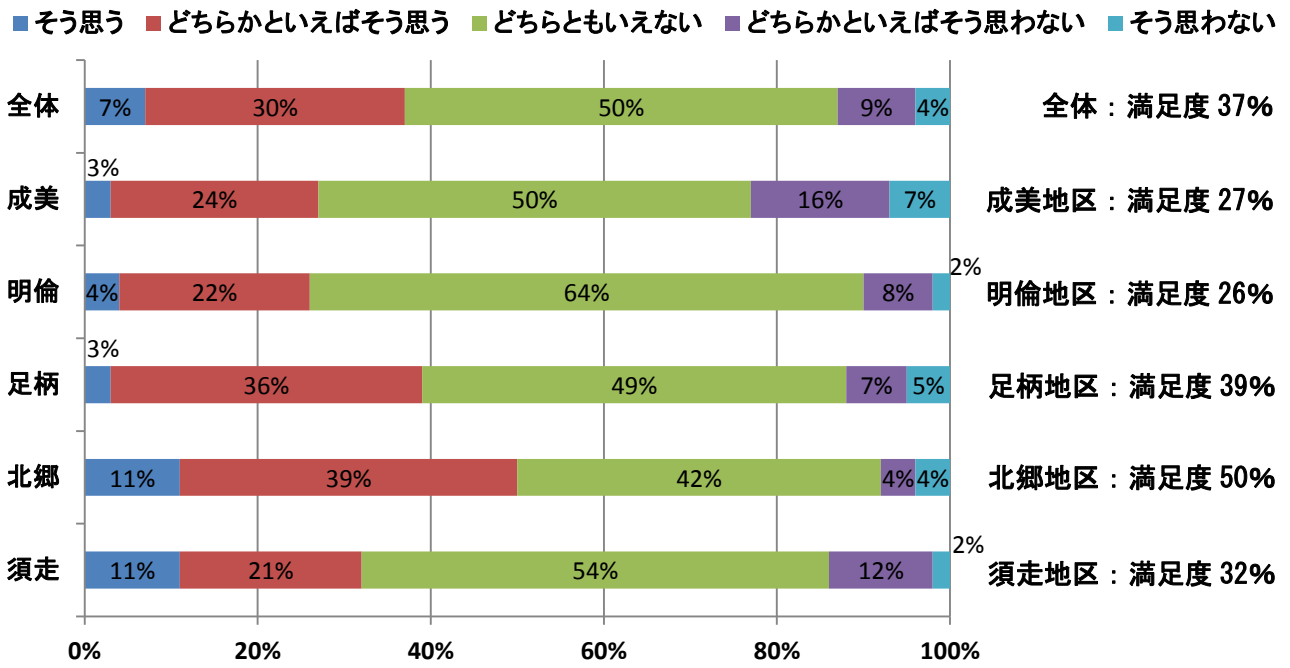


地区別の比較では、北郷地区の満足度がかなり高く、逆に須走地区の満足度がかなり低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっていて、年齢を重ねるごとに満足度は上昇していく傾向にあります。

問 8 - (3 4) 「小山町が“農業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 37%

上記の値は、前回の35%から今回の37%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

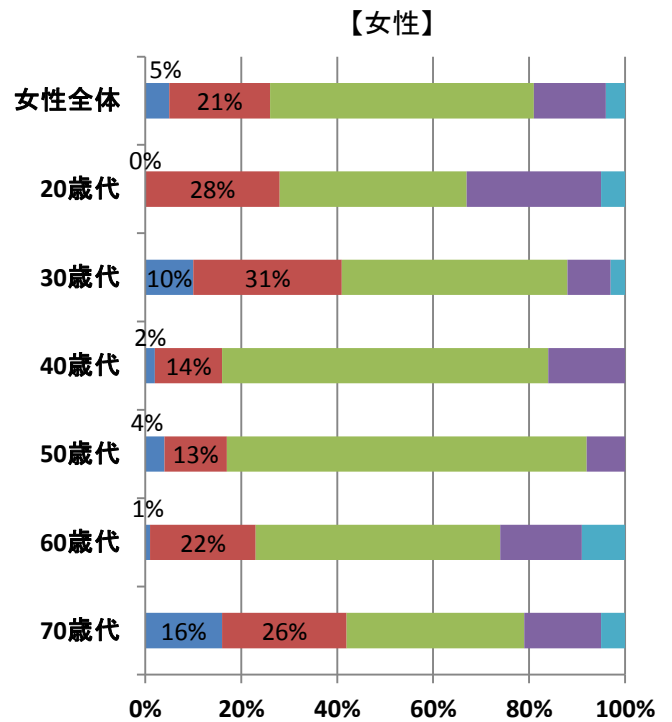
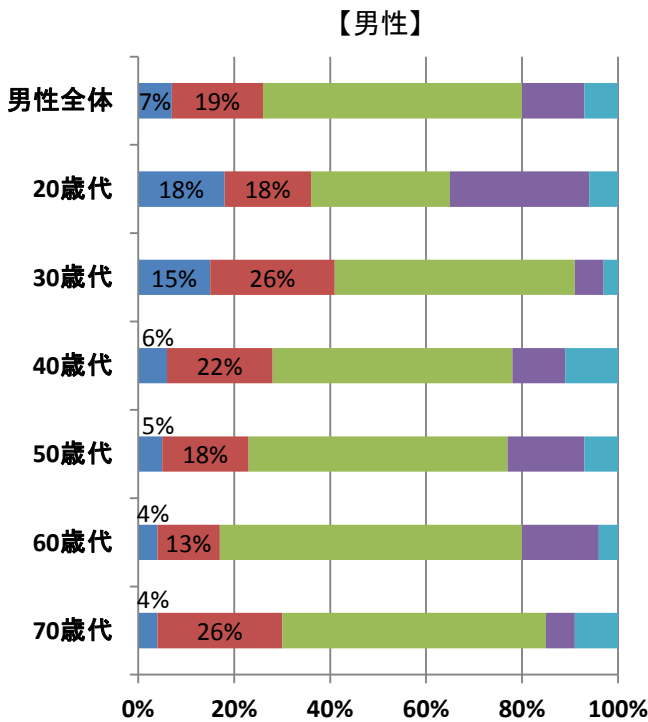
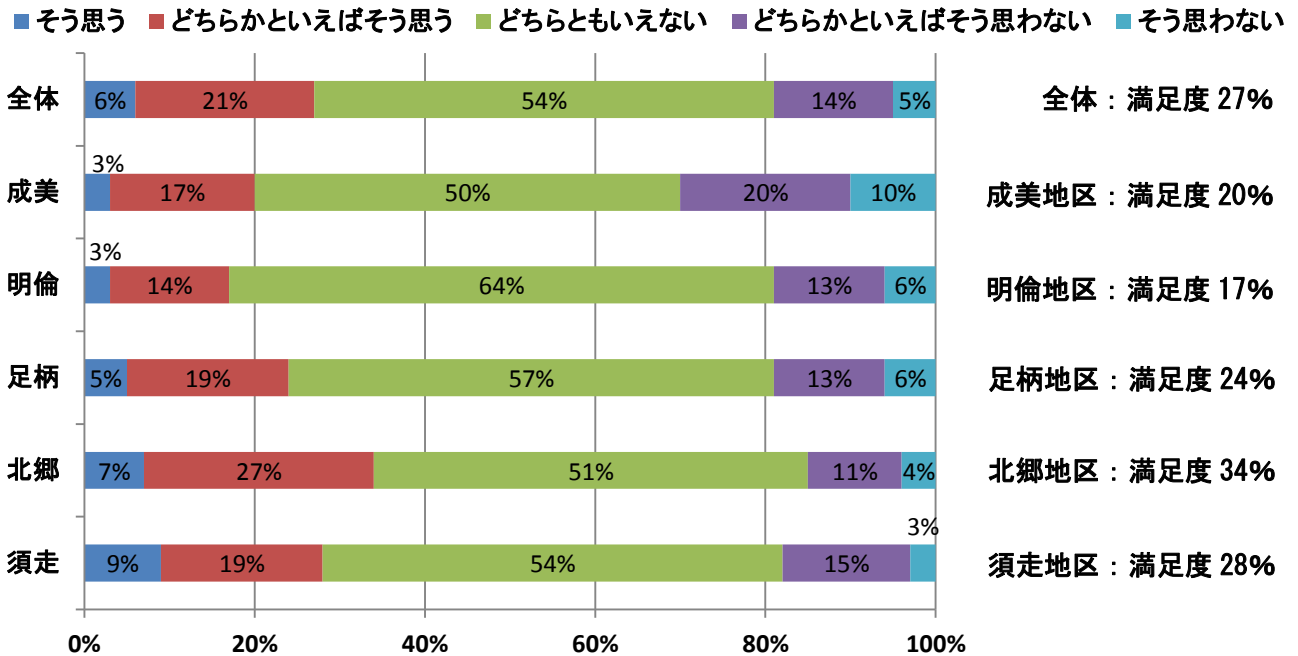


地区別の比較では、成美地区及び明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっていて、どちらも60歳代の満足度が最も低いという結果になっています。

問8－(35) 「小山町が“林業”の活性化に取り組んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 27%

上記の値は、前回の25%から今回の27%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

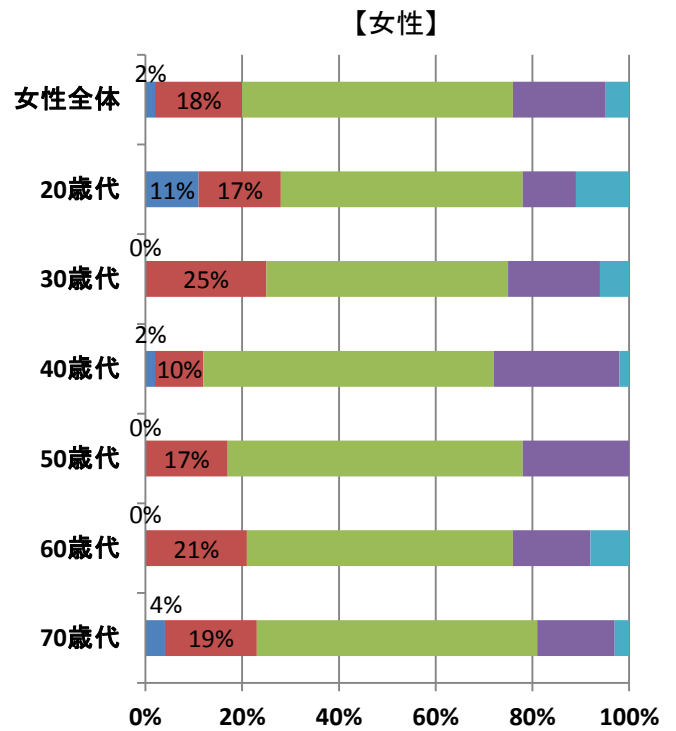
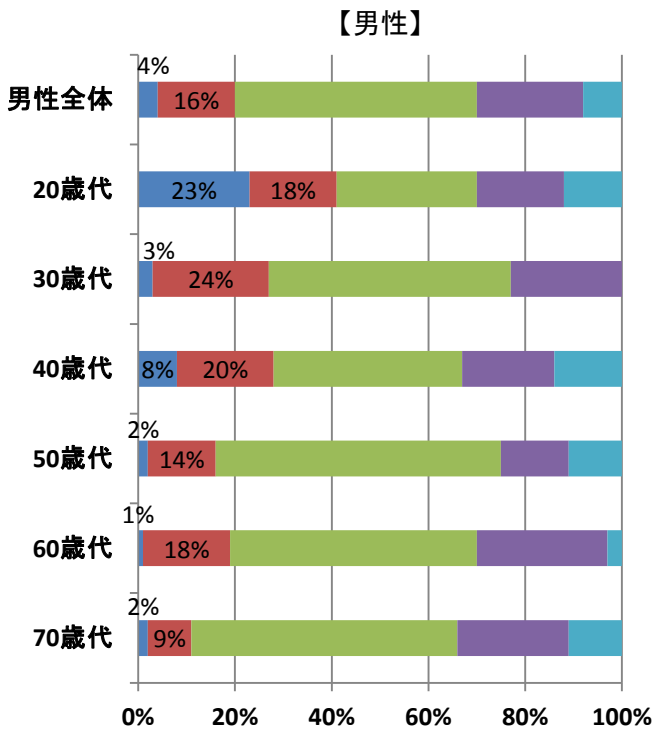
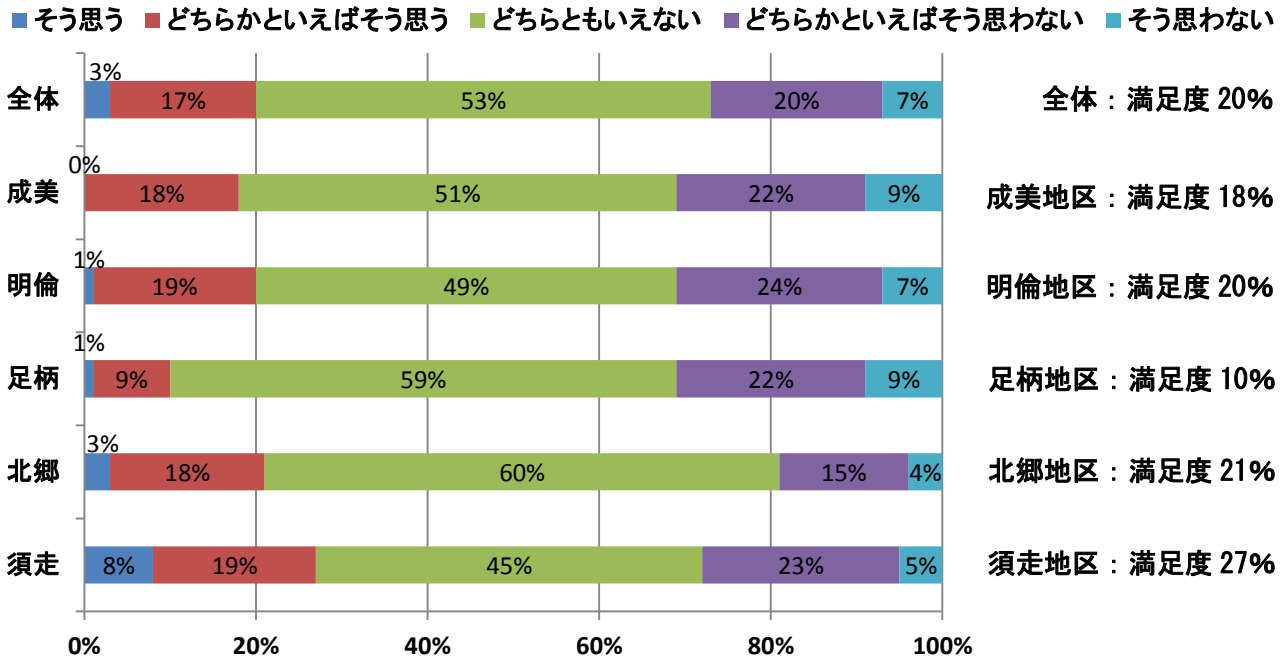


地区別の比較では、明倫地区の満足度がやや低く、北郷地区の満足度がやや高い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合がかなり高い傾向にあります。

問 8 - (3 6) 「町内の観光施設等で外国語表記が充実している」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 20%

上記の値は、前回調査時と同様の 20%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

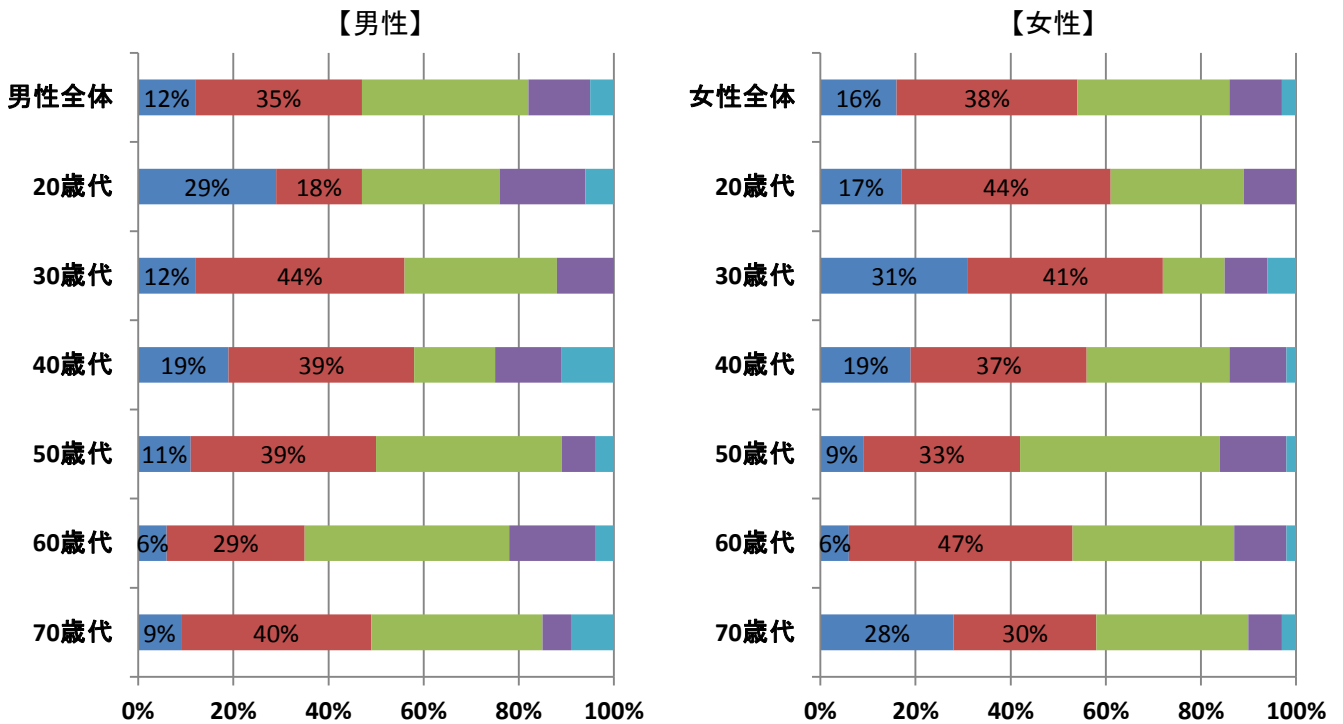
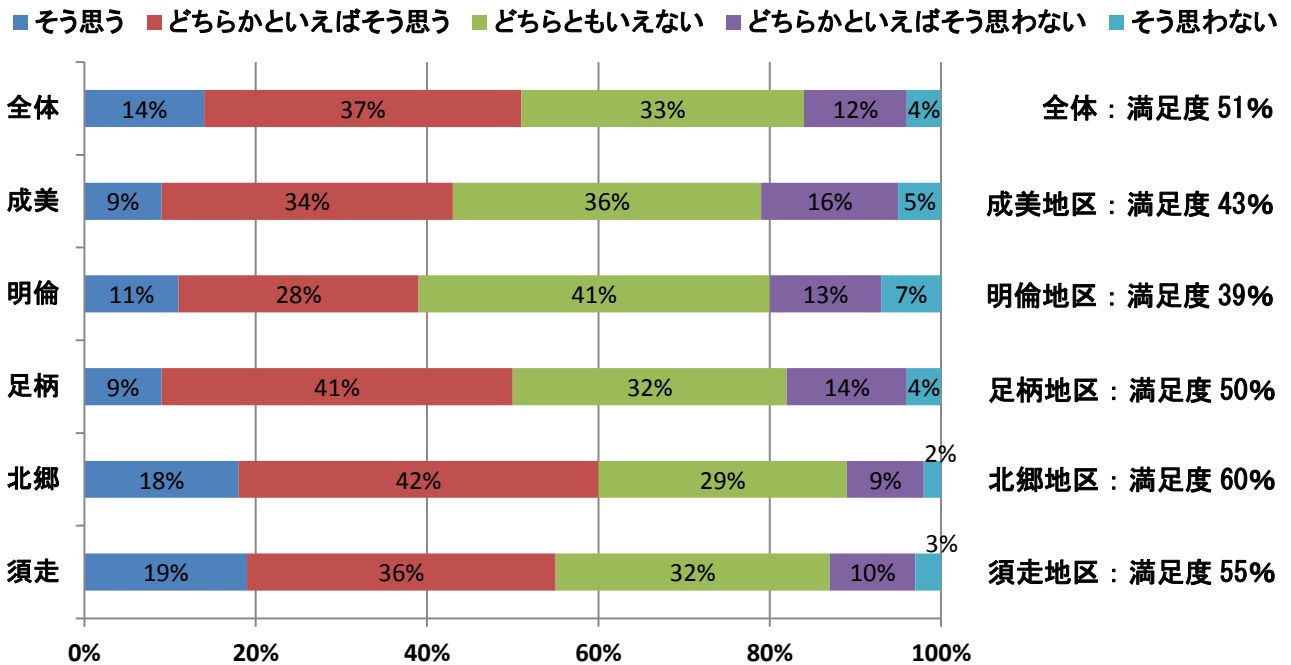


地区別の比較では、満足度は全体的に低いですが、中でも足柄地区の満足度は非常に低いです。男女（年齢）別の比較では、共に 20 歳代の満足度がやや高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(37) 「金太郎生誕の地おやま」のPRが行われている

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 51%

上記の値は、前回の47%から今回の51%に4%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

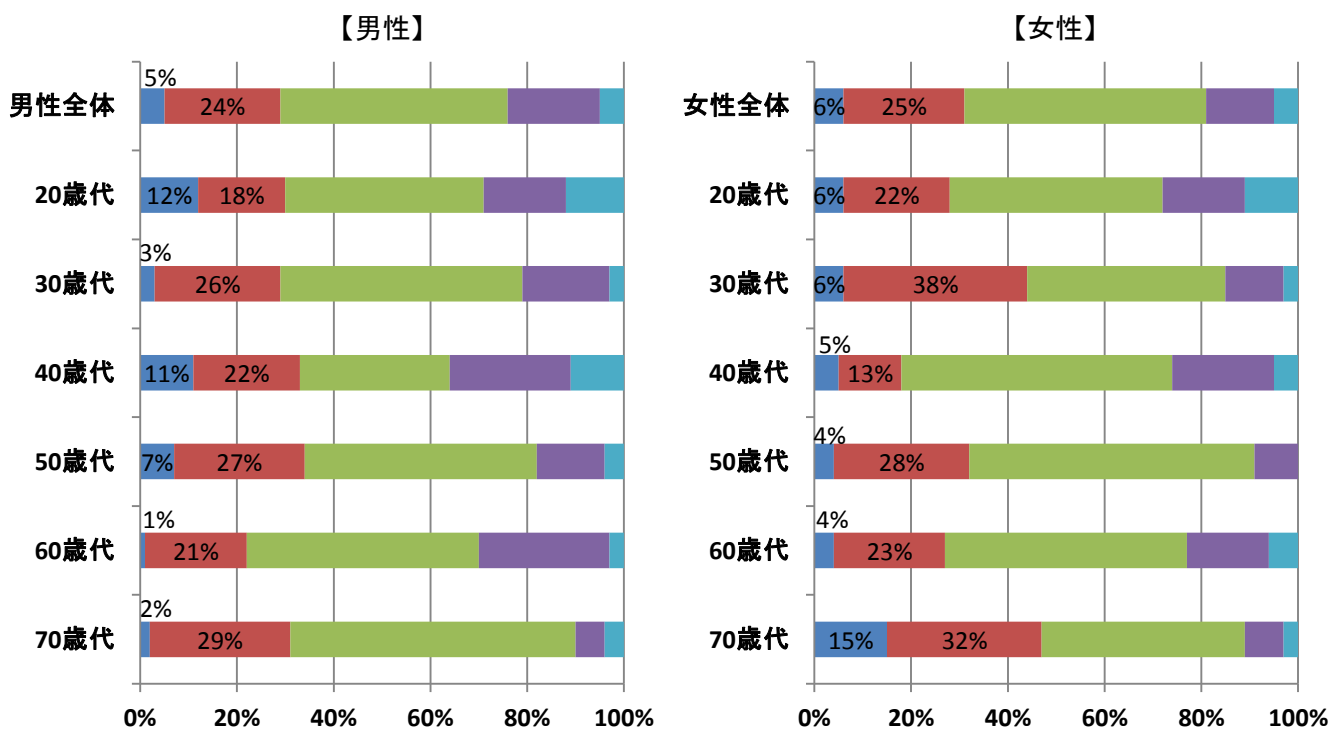
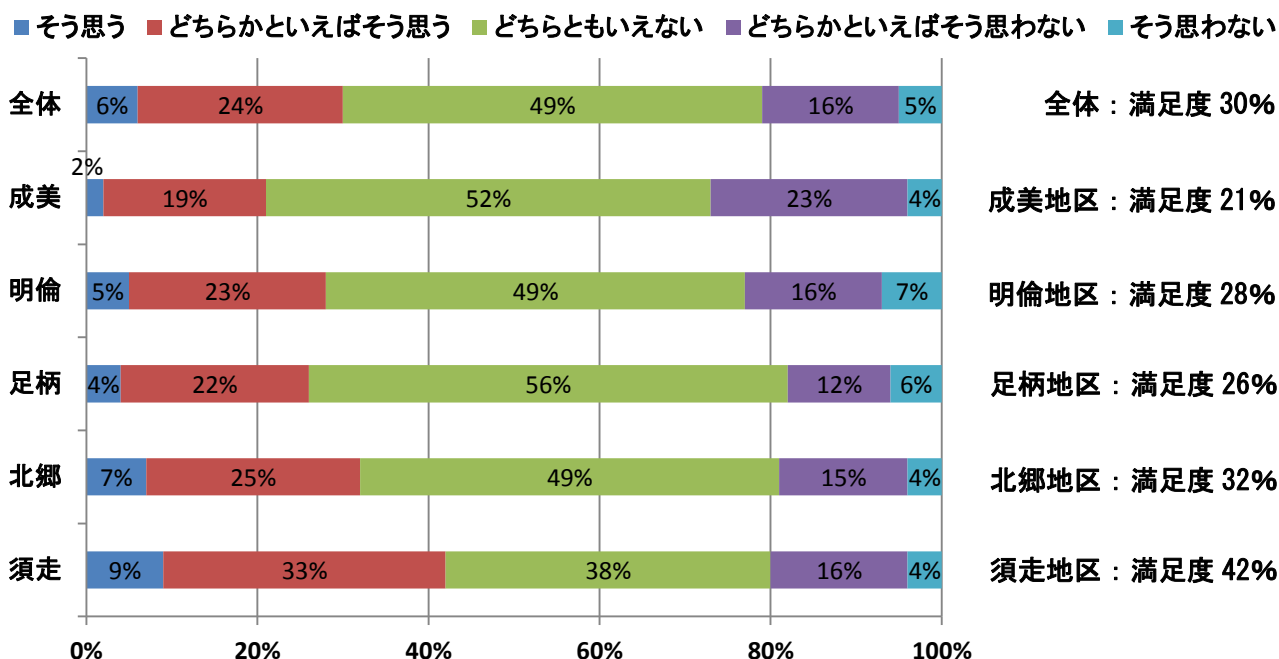


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が、満足度はやや高い傾向にあります。

問8－(38) 「富士山須走口について情報発信が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 30%

上記の値は、前回の32%から今回の30%に2%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

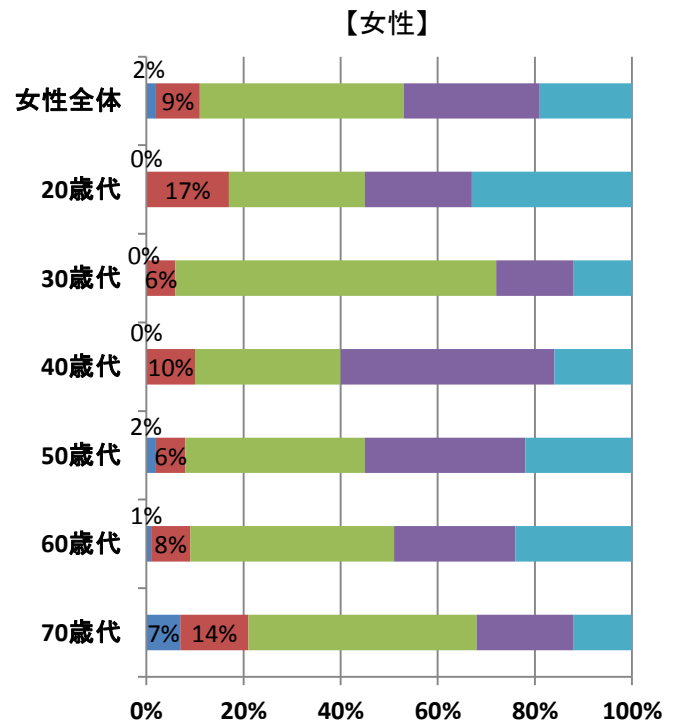
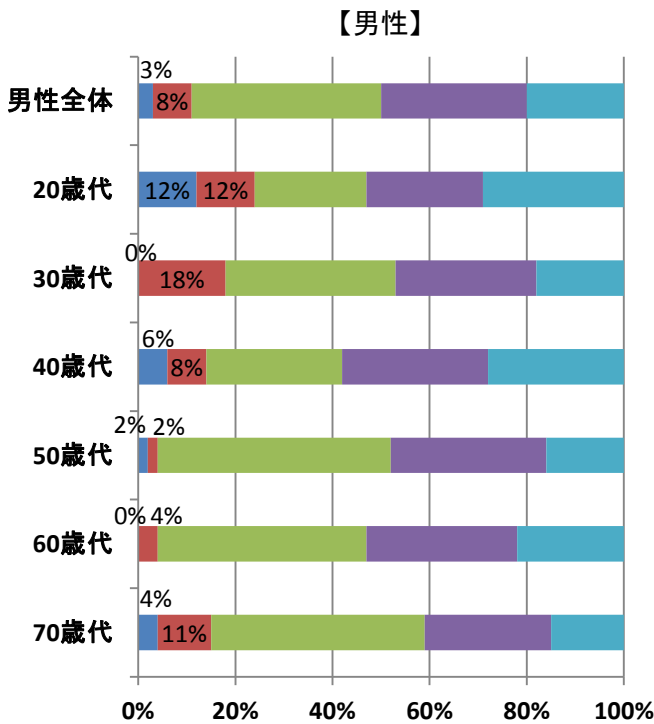
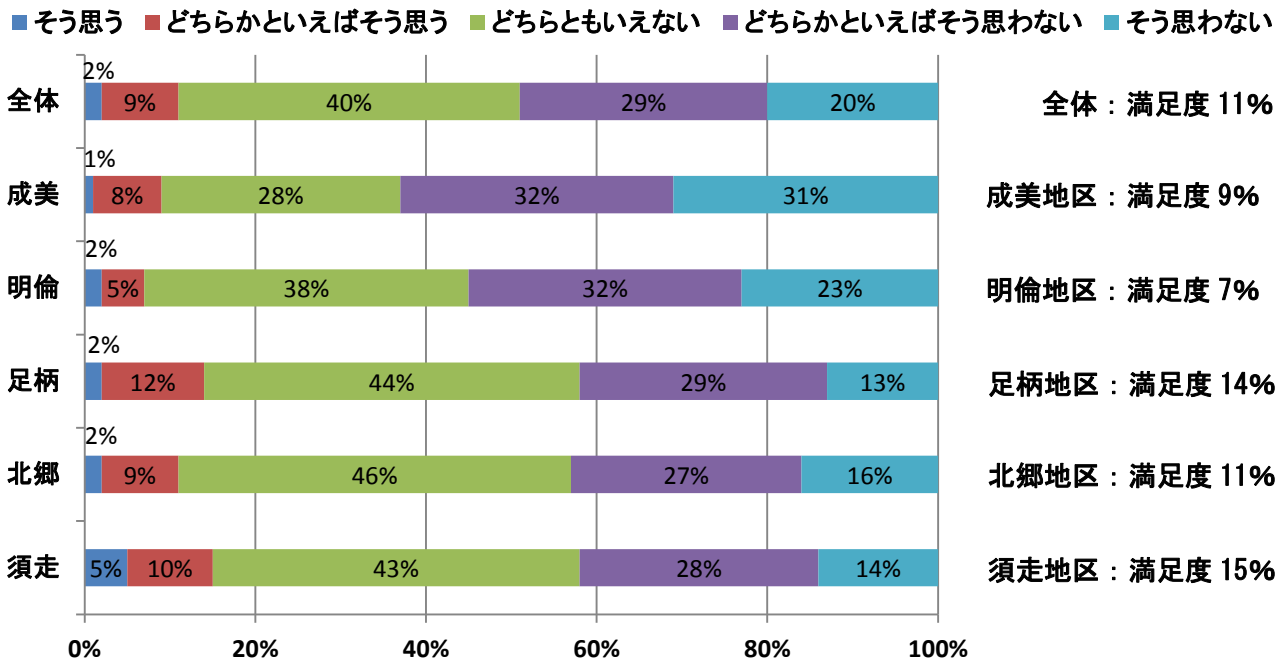


地区別の比較では、成美地区の満足度が低く、須走地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあります。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(39) 「賑わいのある商業地づくりを行っている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 11%

上記の値は、前回の9%から今回の11%に2%増加しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

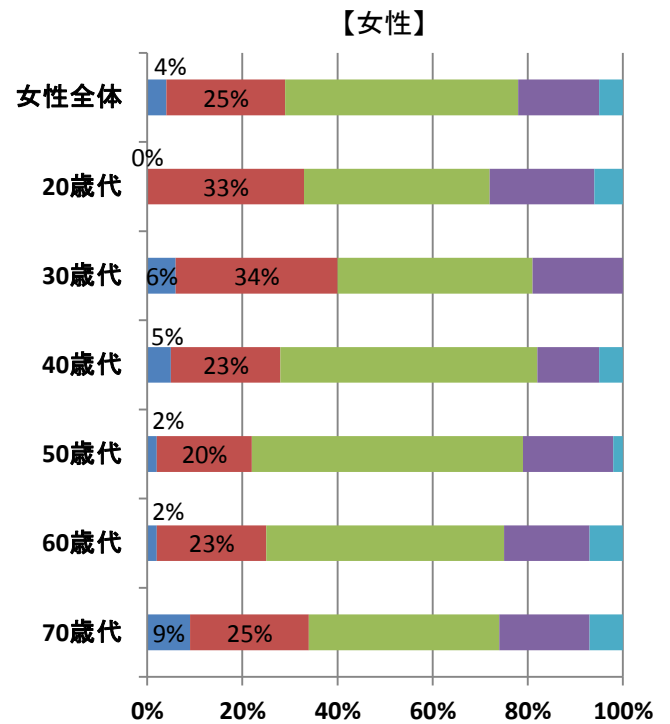
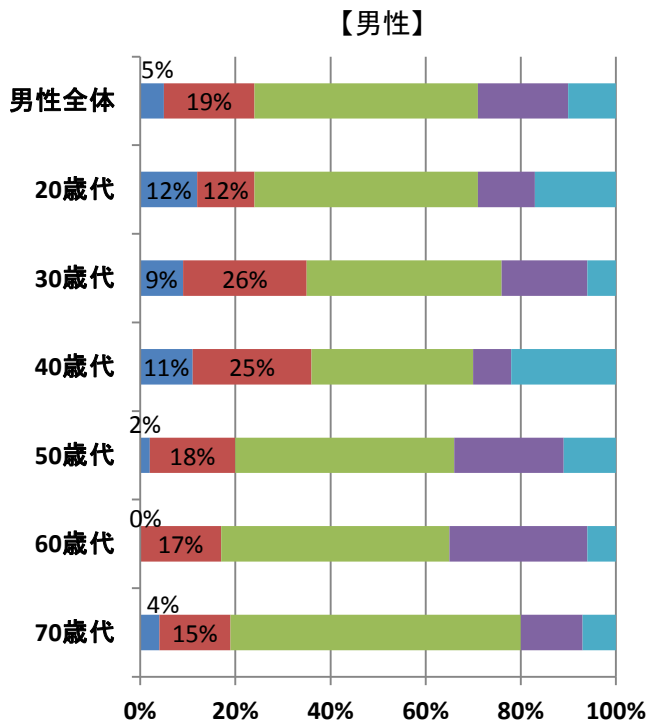
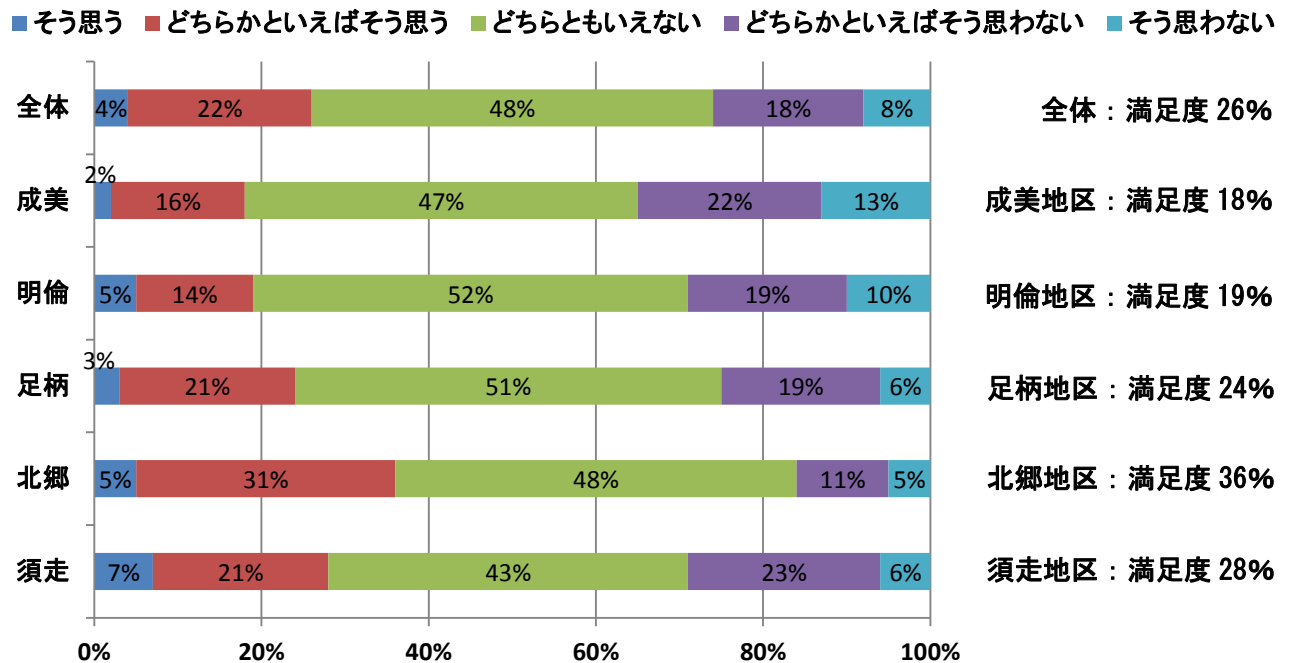


地区別の比較では、満足度は全体的に低い傾向にありますが、特に明倫地区の満足度は低いです。男女（年齢）別の比較も、全体的に低い満足度となっていますが、特に20歳代から40歳代女性は「そう思う」と回答する町民が0%という結果になっています。

問8－(40) 「周辺市町村との連携が進んでいる」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 26%

上記の値は、前回調査時と同様の26%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

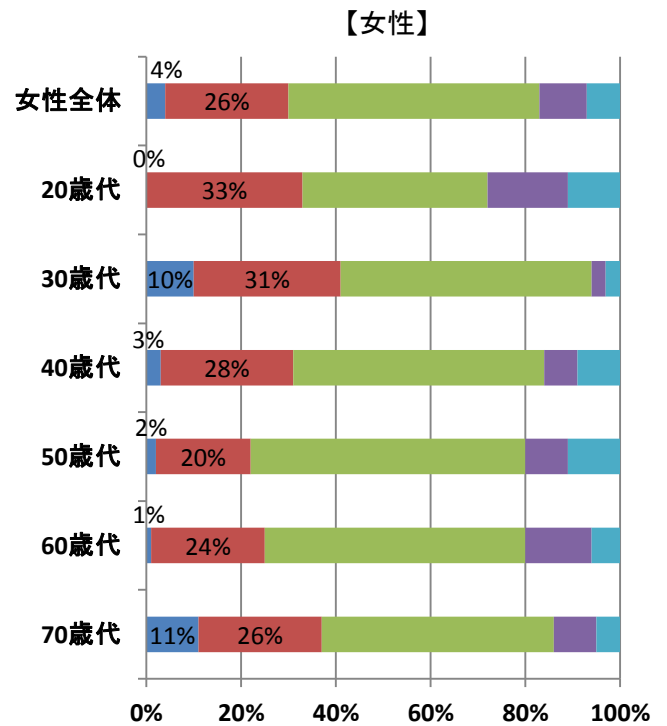
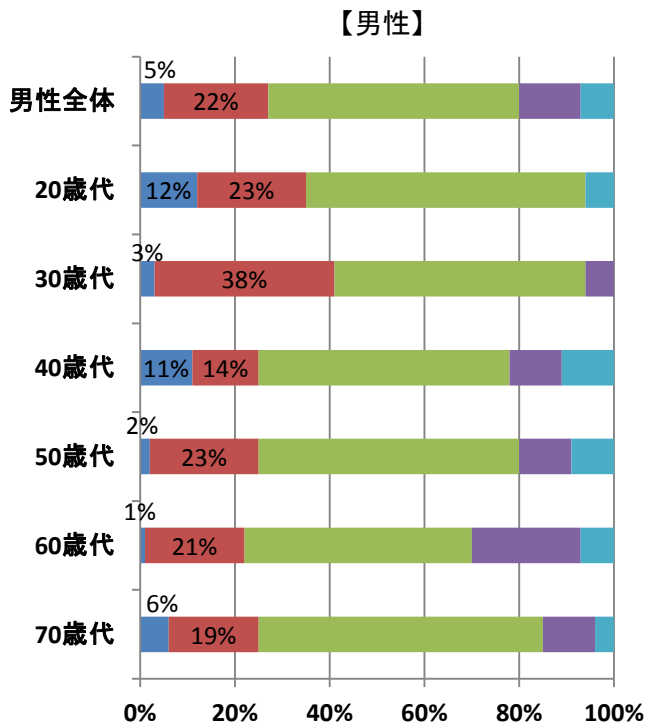
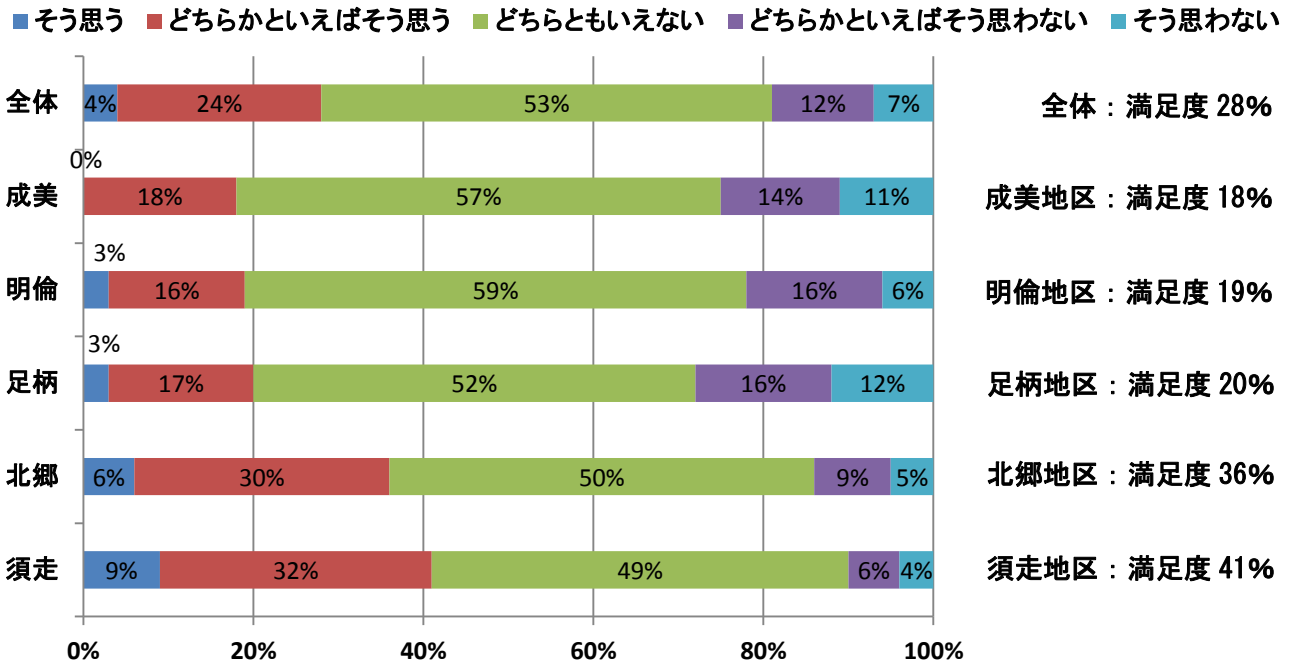


地区別の比較では、成美地区及び明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問 8 - (4 1) 「町の財政運営が健全である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 28%

上記の値は、前回の29%から今回の28%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

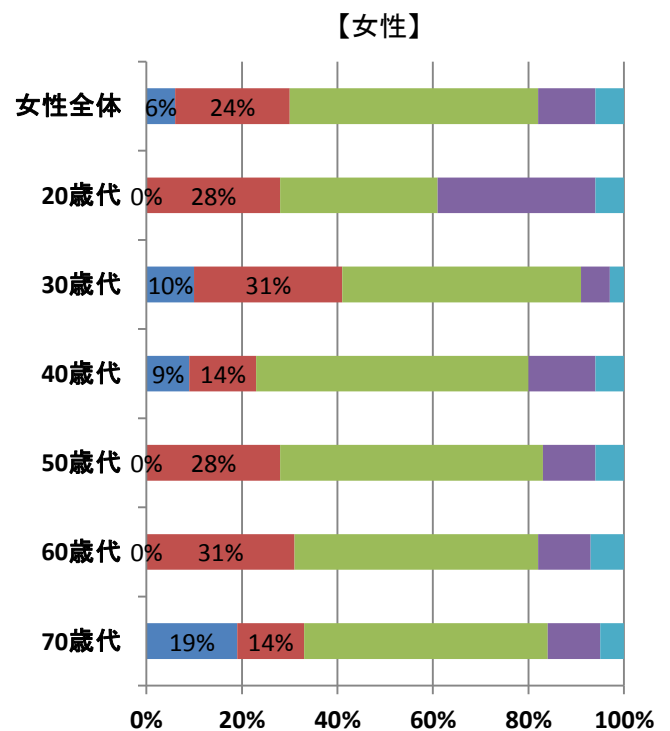
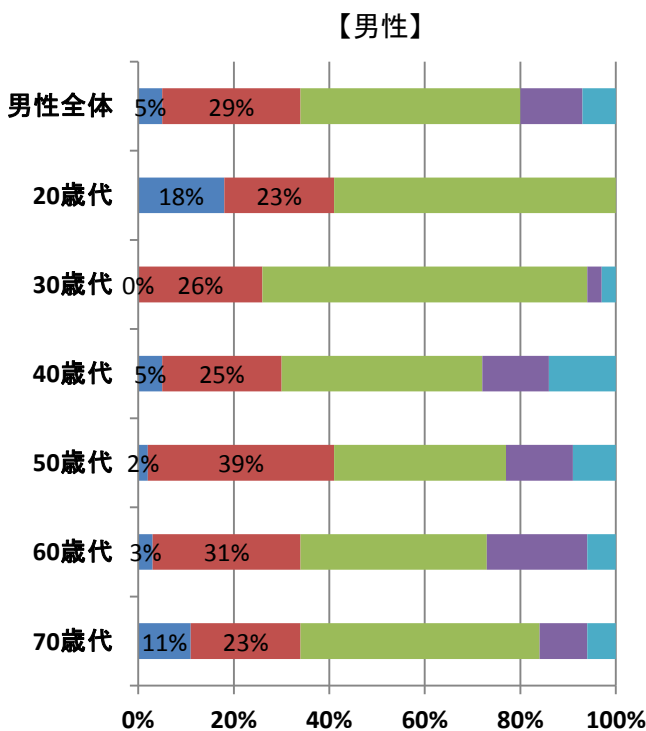
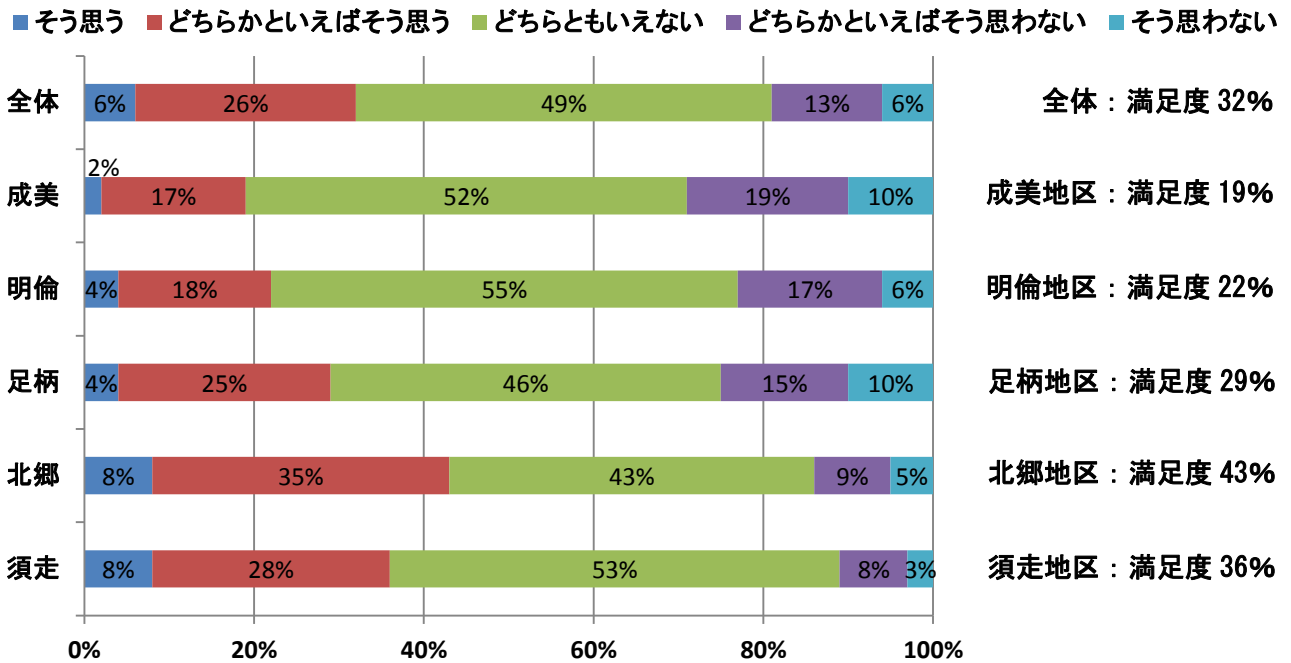


地区別の比較では、北郷地区及び須走地区の満足度が高く、成美地区・明倫地区・足柄地区の満足度が低い結果となっています。男女（年齢）別の比較では、共に似た傾向を示すグラフ構成となっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

問8－(42) 「町民のための行政運営が行われている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 32%

上記の値は、前回の35%から今回の32%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。

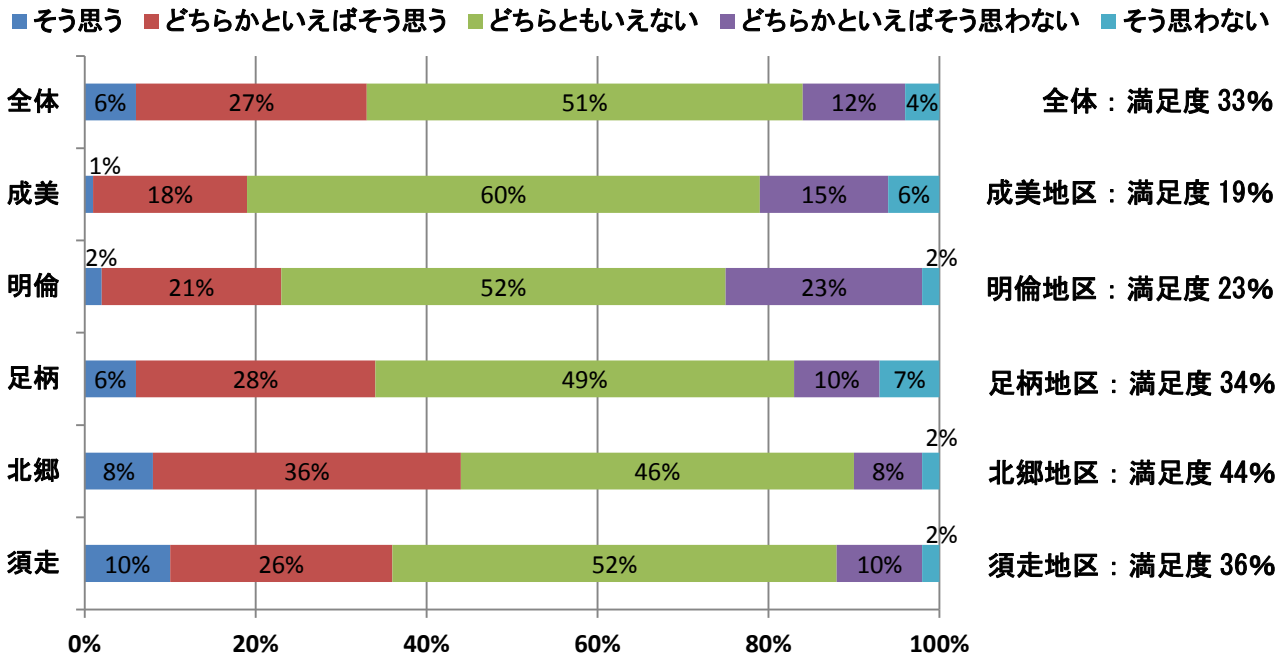


地区別の比較では、成美地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。また、すべての比較において、「どちらともいえない」を選択する人の割合が高い傾向にあります。

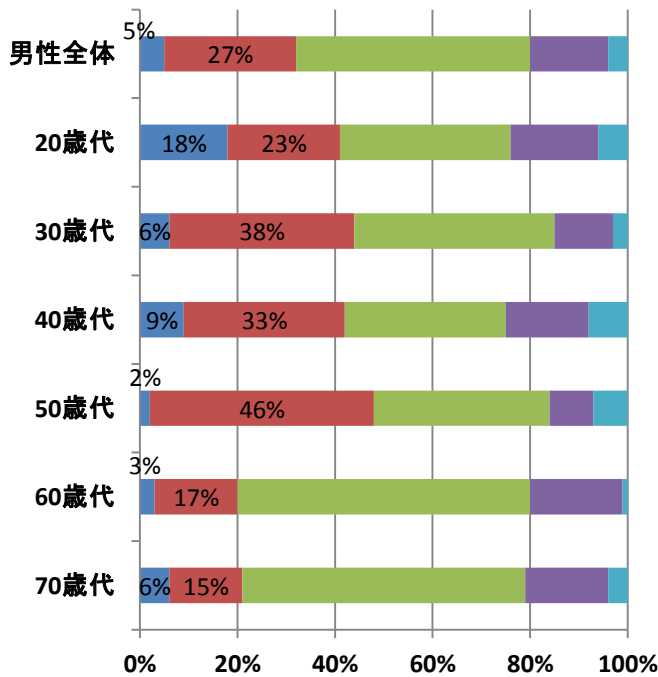
問8- (43) 「地域コミュニティが活発である」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 33%

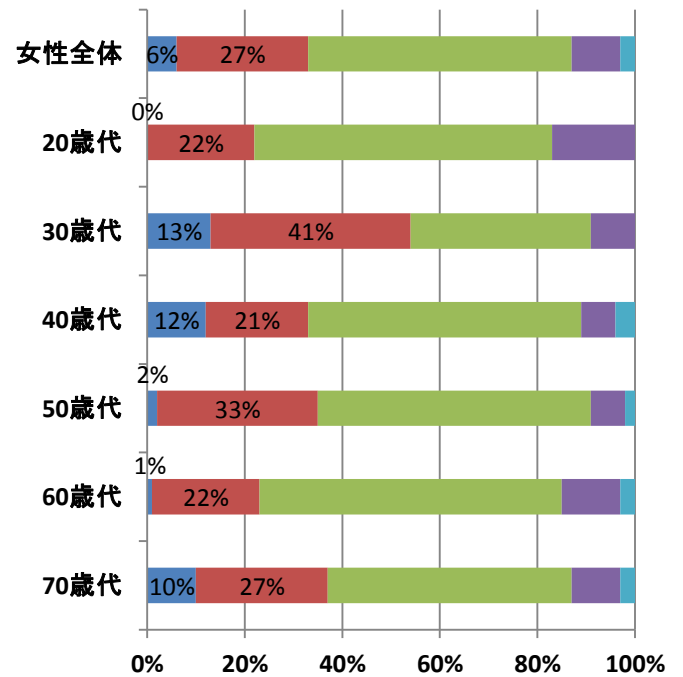
上記の値は、前回調査時と同様の 33%となっています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

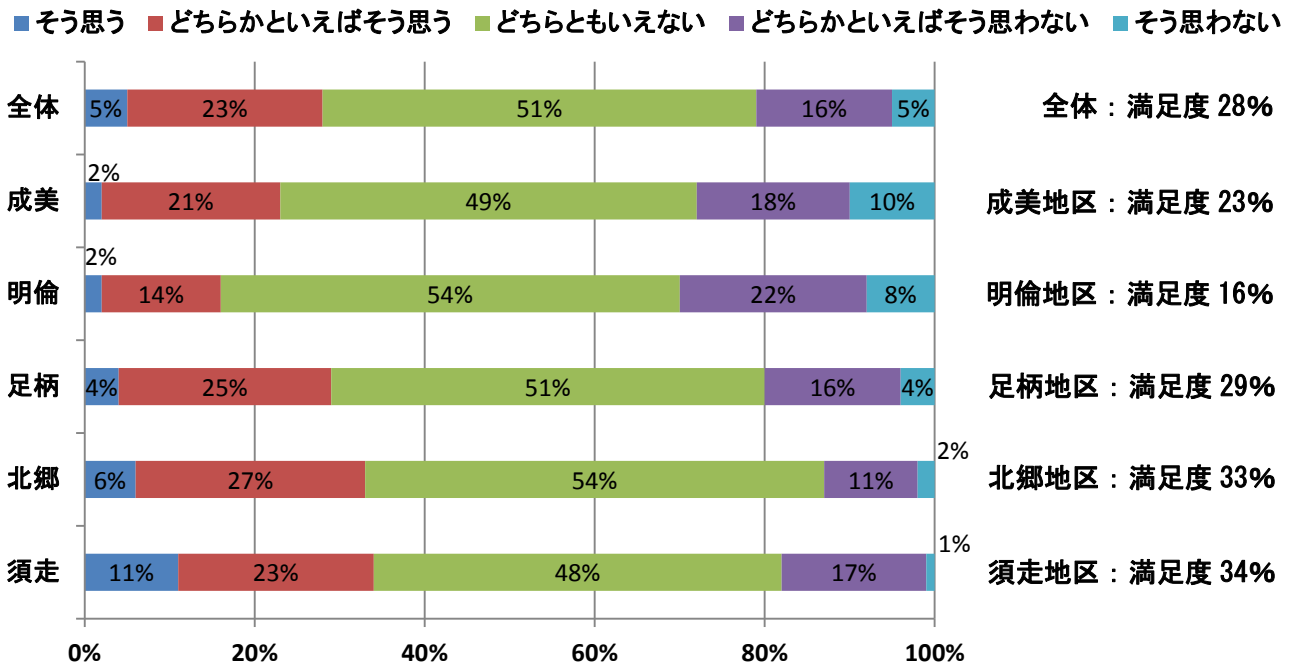


地区別の比較では、成美地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、30歳代女性の満足度が非常に高くなっています。また、男女の平均値はほぼ同じ値となっていますが、年代別で比較すると、男女でかなり差が出ています。

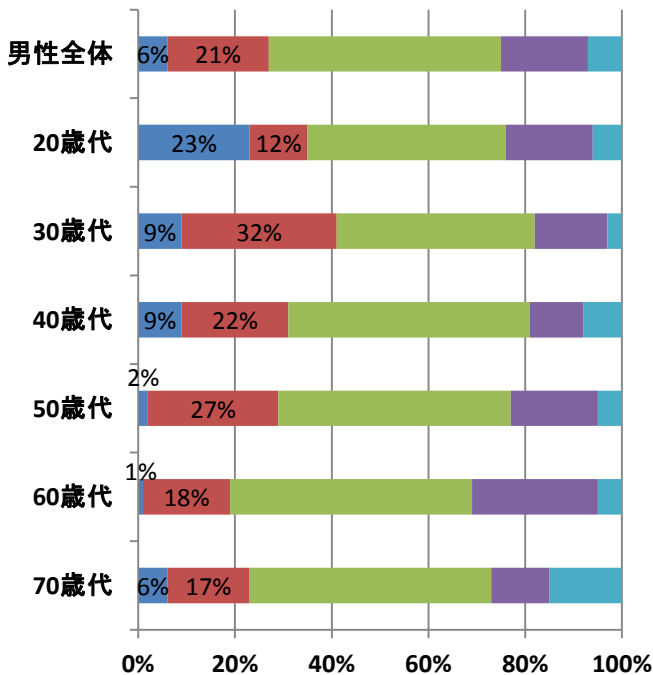
問 8 - (4 4) 「町民が参加してまちづくりを進めている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 28%

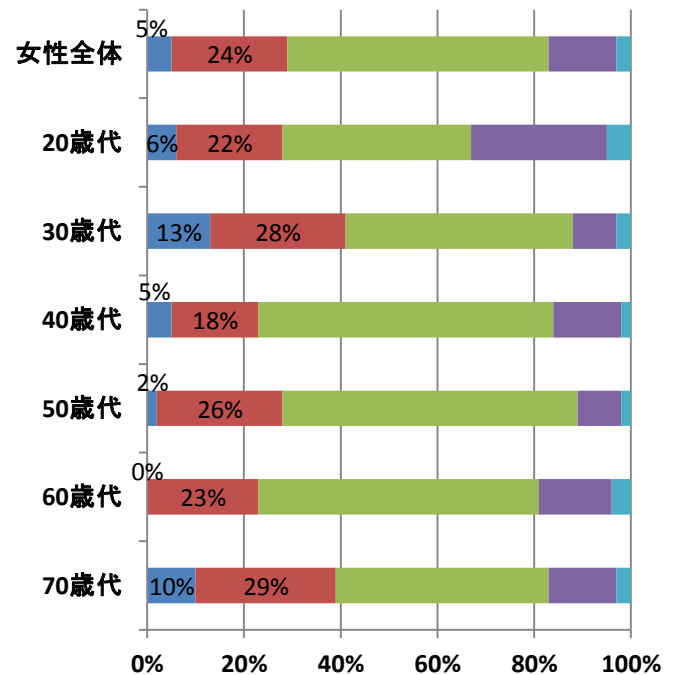
上記の値は、前回の29%から今回の28%に1%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



【男性】



【女性】

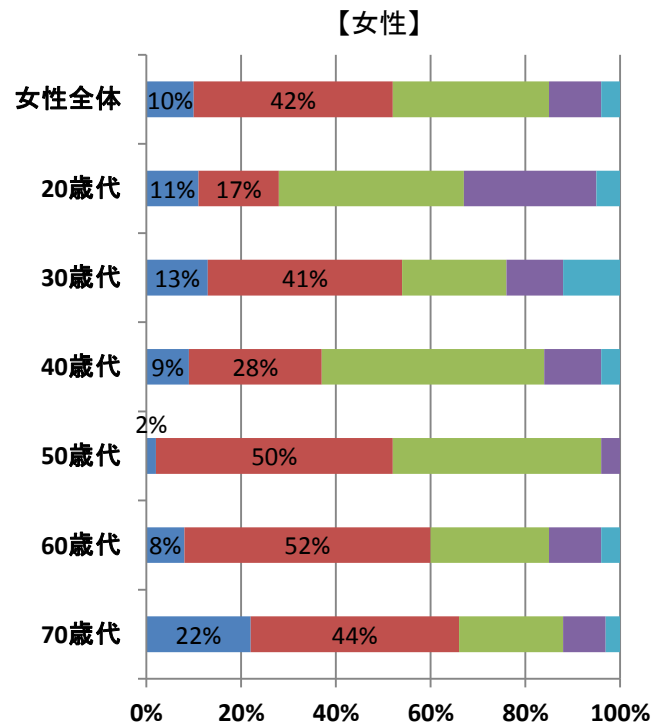
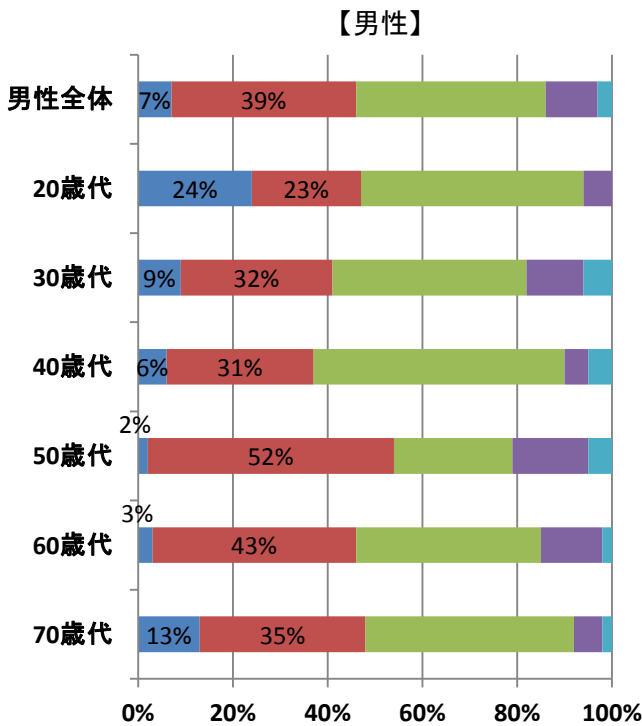
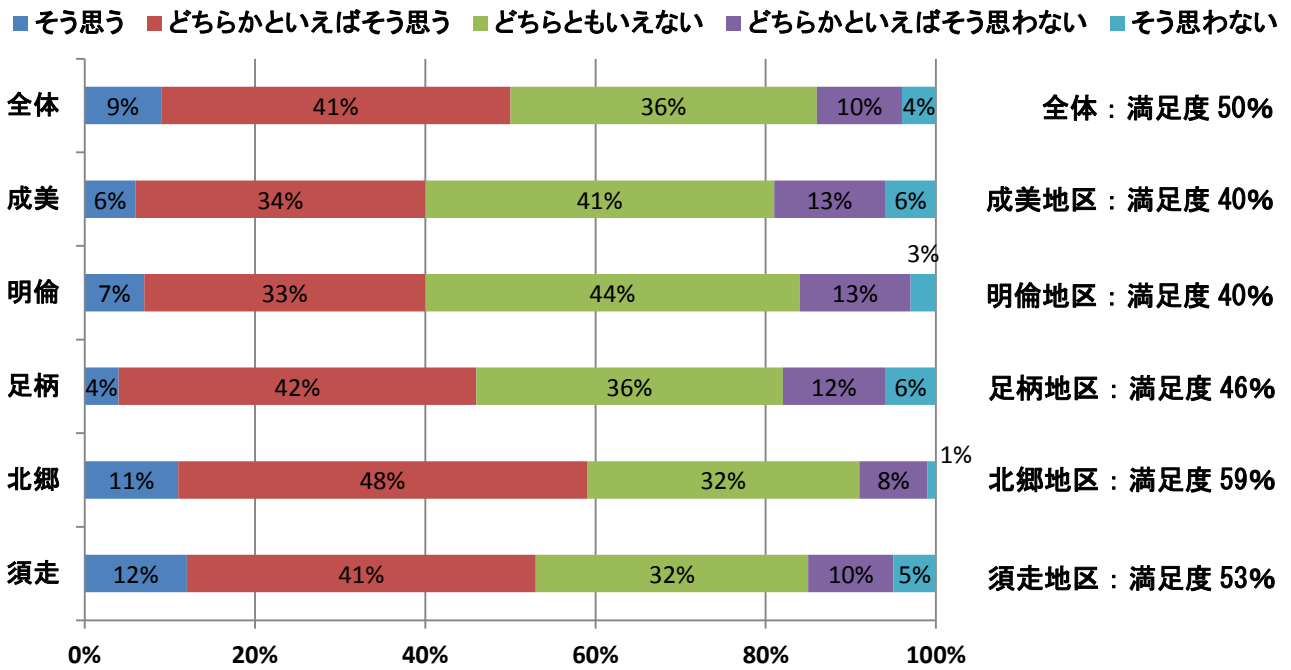


地区別の比較では、明倫地区の満足度が低く、須走地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男女ともに30歳代の満足度が高く、60歳代の満足度が低いという結果になっています。

問8 - (45) 「役場からの必要な情報が伝わっている」

今回の調査で、「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」と回答した町民の割合 ⇒ 50%

上記の値は、前回の53%から今回の50%に3%減少しています。全体、地区別及び男女（年齢）別の結果は、以下のグラフのとおりです。



地区別の比較では、成美地区及び明倫地区の満足度が低く、北郷地区の満足度が高いという結果になっています。男女（年齢）別の比較では、男性よりも女性の方が満足度はやや高い傾向にあり、特に女性の60歳代と70歳代の満足度はかなり高い結果となっています。

